

# 「光」の贈りもの

献眼で  
あなたにもできます



撮影場所：くろへ牧場まきばの風 / 撮影：柴田 竜一

歌手 Tomomi

TOYAMA  
**eye**  
EYE BANK

第21号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成26年4月から平成27年3月まで

平成26年

4月 関 昭 一 様 高岡市  
5月 西田修二様 立山町  
匿名希望 富山市  
6月 匿名希望 富山市  
7月 西能 孜 様 南砺市  
匿名希望 高岡市  
匿名希望 富山市  
8月 津島 博 様 高岡市  
9月 松本 進 様 富山市  
橋詰兼義様 魚津市  
池田紀男様 富山市  
10月 梶 智里 様 高岡市  
宮内久子様 富山市  
藤崎治子様 富山市  
匿名希望 氷見市

11月 匿名希望 高岡市  
匿名希望 射水市  
山本まさ子様 高岡市  
櫻井一郎様 南砺市

平成27年

1月 金田力ノ様 富山市  
匿名希望 上市町  
松田信子様 黒部市  
2月 大浦アキ工様 黒部市  
匿名希望 射水市  
藤瀬洋介様 富山市  
西野玲子様 富山市  
3月 匿名希望 富山市  
森 良雄様 富山市

—謹んで哀悼の意を表します—

## 厚生労働大臣感謝状伝達式



10月22日（木）、県庁特別室においてご献眼いただきました皆様に厚生労働大臣からの感謝状を伝達させていただきました。



# 富山県アイバンクの歴史

人は五感のうち、視覚87%、聴覚7%の割合で外部の情報を脳に伝えています。従って盲目ということは、人が生きていく上では大きな困難を伴うこととなります。このため、古くから目の治療法が試みられ、水晶体と角膜が原因の失明は移植により治療できるようになりました。このうち水晶体については人工レンズで対処可能ですが、人工角膜の実現は遠い先のことで、当分の間は人から人への移植しか方法が無いため、



死去された方からの眼球の提供により移植治療が行われています。そして1925年のライオンズクラブ国際大会でヘレン・ケラー女史が「暗闇と闘う盲人のための騎士になってください」と訴えたことにより角膜移植はライオンズクラブの奉仕活動のひとつとなりました。そして1944年ニューヨークに世界初のアイバンクが設立され、活動は全米に広がり、1956年にはリッチランドライオンズクラブから日本にも伝わりました。

日本においては、1957年岩手医科大学の今泉亀徹教授による角膜移植手術が刑法に触れるのではないかとの論議がきっかけとなり、翌年「角膜の移植に関する法律」が公布され、1963年に慶應義塾・順天堂両大学病院内にてアイバンクがスタートしました。以後、全国で設立の動きが始まりました。

富山県においては、1963年10月10日の「目の愛護デー」を記念して富山県善意銀行



富山県アイバンク設立発会式  
(平成4年1月13日 海老亭にて)

内に眼球預託口座が設けられました。その後、角膜移植についての正しい知識の普及、眼球提供者の事前登録、患者への眼球の斡旋業務を行うことによる県民の福祉増進を目的に故井村東司三氏はじめ、県内のライオンズクラブがアイバンク設立の動きを起し、富山県及び富山医科薬科大学（現富山大学）医学部眼科の協力で1991年に国内54のうち46番目のアイバンクとして設立され、現在「公益財団法人富山県アイバンク」として富山大学医学部内に事務局を置き、活動しています。

実績（開設以来の累計）2015年9月末現在

	富山県	全 国
献眼登録者(数)	20,166人	1,521,647人
献眼者数	371人	39,720人
角膜移植者数	603人	61,346人
強膜移植者数	101人	

ヘレン・ケラー女史写真提供元：  
社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会

## 父の献眼について思う

西能 徹

父は、ライオンズクラブで献眼活動を推進し、25年前からアイバンクに登録していました。亡くなったなら献眼をしたいとの故人の遺志を尊重して献眼をしました。

昨日23日に、公益財団法人富山県アイバンク様のお蔭で「厚生労働大臣感謝状」伝達式に出席をしました。本当にありがとうございました。アイバンク様から、「角膜手術をした2名の方に新たな光が戻った」との連絡があった時は、本当にお役に立てて良かった！父も喜んでいると思いました。



現在、角膜の提供を待っている方は、富山県内10名・全国3,000名程度です。26年度10月時点では献眼者数11名、角膜移植者数17名。富山県内で今までに340名の方に角膜移植が行われているそうです。今回の伝達式で、90歳以上の方の提供が数名おられ、年齢は全く関係ないと実感しました。

アイバンク (Eye bank) とは、角膜移植によってしか視力を回復できない患者のために、死後、眼球を提供することに本人または遺族の同意を得て、移植を待つ患者に斡旋する公的機関のこと。日本でのアイバンクは、厚生労働大臣の許可を受けて運営される「眼球あっせん業」のことで、眼球銀行ともいいます。

角膜とは、目の最も前のいわゆる茶目の前にある、透明な膜です。厚さは中央部で約0.5mm、周辺部の白目に近いところで0.7mm程度、直径は11～12mmです。目に入った光の焦点を合わせるための屈折は水晶体 (レンズ) で行っていると思われがちですが、目の屈折力の多くはこの角膜の部分で行われています。したがって、ごくわずかな変形や混濁が視力には非常に大きく影響してしまいます。

アイバンクに献眼するためには、万が一の際に、最寄りのアイバンクに連絡をすれば、アイバンクがすべて対応します。提供するための処置には約1時間程かかります。ご自宅でも、病院でも提供することができます。年齢制限もありません。近眼や老眼でも角膜は移植に用いることができますし、網膜などの疾患で眼のご不自由な方でも角膜は充分、移植に用いることができ、視力障害の方が光を取り戻すことができます。

[第一交易株式会社ホームページ 社長の今月の一言 (2014年10月24日 第154号「アイバンク」) より引用]

## いつまでも輝き続けて

川岸 敏子

私たち夫婦は歳を重ね、いつの間にか80代後半の歳になった私たち夫婦は、家族をはじめ多くの方々に支えられ、今があることを思いながら、近い将来に訪れるはずのそれぞれの人生の終焉を話し合うことで『終活』を始めていました。そんな折、ライオンズクラブメンバーとして、献眼活動に取り組んでいる息子から、アイバンク登録の話を聞き、年齢を気にしたもの、高齢でも可能であるとのことで、誰かのお役に立つことならば、と夫婦で賛同しアイバンク登録をしたのが今年の秋でした。

今年の8月2日は日曜でしたが、朝からの日差しは猛暑日を予感させていました。

散歩に行くと言って、中央通り（富山市）のアーケードに向かった夫は、その数分後に路上で倒れ、救急搬送された病院で86歳の生涯を閉じました。急性心不全…。

あまりに呆気ない夫との別れで、実感もない悲しみの中、休日にもかかわらず駆けつけていただいた眼科のお医者さんによる短時間の角膜摘出処置が行われ、「きれいな角膜でしたヨ」と告げられました。早速に亡き夫の枕元へ行き、前となんら変わらない臉をそっと撫でながら、しばらく安堵の涙を流しました。

やり場のない悲しみの中にも、故人の人生最後の小さな奉仕の想いが「献眼」という行為となり、目の不自由な方のために、お役に立てること、そして何より、亡き夫の想いと角膜が生き続けるよう、祈るばかりでした。

故人は陶芸や写真撮影を趣味として、美しい風景もたくさん残しましたが、後日、おふたりの方が移植を受けられたことを知り、その方々を通じて亡き夫の目が今もどこか



で輝きながら、新たな景色を眺めている情景を思いながら、おふたりの新たな人生への再出発の一助になれたことが幸いであり、今の私の心の癒しとさえ感じるようになりました。

最後に、おふたりの瞳がいつまでも未永く、輝き続けられることをお祈りいたします。

合掌

## 対 談

今回は、ライオンズクラブ国際協会334-D地区ガバナー田中俊夫氏にお話をお伺いいたしました。



大黒理事長：富山県アイバンクは、来年、設立25周年を迎えます。四半世紀活動を続け、献眼して頂ける方が増えつつありますが、県内の目から光を失っておられる方の希望を、全部果たせない状況です。そして、富山県アイバンク設立母体の富山県ライオンズクラブの皆さんの献眼へのご理解はどうなんでしょうか。

田中ガバナー：社会情勢が変化し、ライオンズクラブの若い方たちの考え方は昔と違ってきている部分があります。私が入会した1980年当時と比べると、アイバンクに対する認識不足は否めません。一部のメンバーの中には、もう協力しなくてもいいのではないかという間違っただけの考え方の人もいます。

大黒理事長：アイバンクの独り立ちとは、これを第一のアクティビティとした、世界のライオンズクラブの目的意識から外れる事になります。全国54のアイバンクで、ライオンズクラブが直接関わっているのは約9割、大学病院等の場合は解りませんが、これらに対しても多少に拘らずライオンズクラブが関与しています。我々は、ライオンズクラブの100%支援で経営が成立している訳です。アイバンク設立理念がスタート時に比べ、何か希薄になったのでしょうか。これは大変残念な事ですから、私達も努力を重ねますが、ガバナーからもぜひクラブメンバー各位に働きかけをお願い致します。

田中ガバナー：頑張ってください。初心に戻って働きかけを致しましょう。

大黒理事長：ぜひ宜しくお願い致します。私達も頑張るつもりです。今年度は各クラブメンバーの100%献眼を合言葉になさってるようですが、大変ありがたい事だと喜んでおります。

ただ、ご本人が願っておられても、ご家族ご親族のご理解を頂くのが重要です。これらも含めての運動を重ねなくてはならないと考えております。

田中ガバナー：一番大事なのは、一般の方々にご理解頂かなければなりません。多くの方を巻き込んで、感動ある奉仕活動に繋げていくには、ホームページの活用も効果的です。ライオンズクラブでは会員の投稿なども積極的に紹介しているので、アイバンクからの活動も私共のホームページに載せたらどうでしょうか。

大黒理事長：ぜひお願い致します。ライオンズスピリッツから博愛の精神を富山県民だけでなく、北陸三県にまで浸透させてゆきたいものです。

田中ガバナー：ライオンズクラブのスローガンでは、富山・石川・福井が一つの地域だという一体感をアピールしています。北陸は一つなんだと。アイバンクも同様に、北陸三県を含めた大きな献眼の輪を繋げて行ってほしいですね。

大黒理事長：今後とも、アイバンクへのご支援のほどよろしくお願い致します。

(聴き手 理事長 大黒幸雄)

## 富山大学附属病院眼科の先生方のご紹介

診療については、角膜疾患（角膜炎、角膜混濁、角膜穿孔、水ほう性角膜症、円錐角膜）、緑内障、網膜硝体疾患（網膜剥離、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、黄斑前膜、黄斑円孔、加齢黄斑変性、近視性血管新生黄斑症など）、ぶどう膜炎、涙道・眼窩疾患（鼻涙管閉塞、涙嚢炎）、眼瞼・眼形成、斜視、弱視などの小児眼科疾患ほか眼科領域の疾患すべてを対象としています。



教授  
林 篤志先生  
専門：網膜硝子体、  
角膜、  
白内障



診療准教授  
柳沢秀一郎先生  
専門：網膜硝子体



診療准教授  
東條 直貴先生  
専門：緑内障、  
白内障



診療准教授  
柚木 達也先生  
専門：眼瞼、眼窩、  
形成、  
白内障



診療講師  
上田 朋子先生  
専門：網膜硝子体、  
白内障



助教  
宮腰 晃央先生  
専門：角膜前眼部、  
白内障



助教  
中村 友子先生  
専門：ぶどう膜炎、  
眼科一般



助教  
藤田 和也先生  
専門：斜視弱視、  
小児眼科、  
白内障、  
眼科一般



診療助手  
矢合 隆昭先生  
専門：網膜硝子体、  
緑内障、  
眼科一般



医員  
宮越 茉莉先生  
専門：眼科一般



医員  
三原 美晴先生  
専門：斜視弱視、  
小児眼科



医員  
武田 祥子先生  
専門：眼科一般



医員  
尾崎真由美先生  
専門：眼科一般



研修医  
阿部 慎也先生

富山大学附属病院（眼科外来）

〒930-0194 富山市杉谷2630番地 TEL.076-434-2281(代表)

## 院内コーディネーター紹介

### 富山労災病院

病院長 木谷 隆一

手術室 松本 正代



左から 松本 正代さん 吉田喜代美さん 炭田 恵さん

当院は、平成10年に院内移植コーディネーターが配置され、平成24年より脳死下臓器提供病院として移植チームの整備を進めてきました。

現在は、移植コーディネーター3名が県知事から委嘱を受け、富山県内院内移植コーディネーター連絡会や研修に参加し、移植に関する情報を得て知識を深め

ると共に、移植に関する相談、支援する役割を担っています。脳死下臓器提供病院として対応できるよう臓器提供マニュアルの整備、富山県移植コーディネーター支援のもとシミュレーション研修等を行い移植に対する職員の関心を高めています。

また当院では、ドナーカードの保持に関する情報やアイバンク登録情報が入院時に得られるようにし、患者さんの意思が確認できるようにしています。

平成25～26年の献眼事例は2例でした。1例は90歳代のがんターミナルの患者さんで、本人、ご家族の意思により、急ではありましたが無事献眼できました。もう1例は、夜間の死亡ではありましたが臓器提供マニュアルに則り、担当医・担当看護師のアイバンクへの連絡によりスムーズにでき、ご家族の意思に添うことができました。

その他の事例として、若い時に脊髄損傷となり、人の役に立ちたいと腎臓、眼球提供の意思を持った患者さんがおられましたが、感染症のために残念ながらご希望に添えなかった事があります。事例は多くありませんが、院内移植コーディネーターとしての関わりの中から、その役割の重要性を学んでいます。

また臓器移植やアイバンク活動への啓発活動等も重要と考えます。献眼、臓器提供への理解を深めるためにも連絡会や研修会で得た情報や学びを職員に伝達し、患者さんやご家族の思いを大切に、尊い意志を支援できるよう努めていきたいと思っております。

## 院内コーディネーター紹介

### 公立南砺中央病院

病院長 三浦 利則

透析室 看護師長 高田婦美子



高田婦美子さん

私が、院内コーディネーターの委嘱を受けたのは、平成25年度に透析室へ異動になってからで、今年度で3年目に入ります。

当院での眼球提供は、前身の城端厚生病院の時代に1例と4年ほど前に自宅に帰られてから1例あったと聞いていますが、私

自身が対応したことはまだありません。

献眼の申し出があった場合に、円滑に連絡が進むようにまずはマニュアルを見直し、会議の場で紹介しましたが、院内コーディネーターの存在を知らない職員が多いことを痛感しました。そこで自分自身が何をすべきか考えていた時に、アイバンクの方から院内でのイベント時に啓蒙活動をさせて欲しいとの声をかけていただき、昨年11月の介護の日のイベント時に病院に来ていただきました。また、今年5月の看護の日に院外で行った『一日まちの保健室』にも来ていただき、スーパーマーケットの店頭でパンフレットや風船を配っていただきました。[継続は力なり] 今後もアイバンクの方にご協力いただき、年2回のイベント時の啓蒙参加を継続していきたいと考えています。

土地柄なのか、まだまだ臓器提供への関心は薄いように思いますが、まずは職員間へ院内コーディネーターの存在や役割・活動内容を周知していきたいと思っています。そしてそのことが院外への臓器提供の啓蒙活動に繋がっていけばと思います。



2015年5月9日 南砺市・アルビス福光店において公立南砺中央病院看護の日イベントでのアイバンク啓蒙活動

## 献眼登録者が増えるように

富山セントラルライオンズクラブ  
2014～2015年 会長 和田 弘

2014年10月の当クラブ第2例会に、公益財団法人富山県アイバンクよりコーディネーターの入江真理さんをゲストスピーカーとしてお迎えし、献眼の状況についてのスピーチをしていただきました。

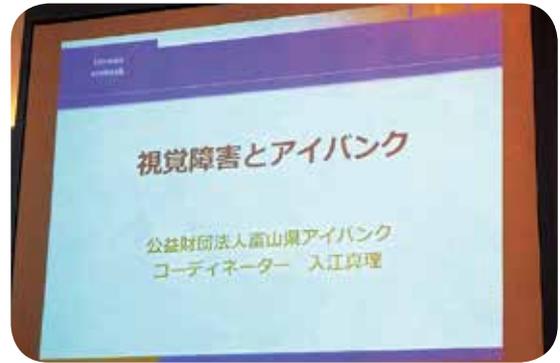
その中で、献眼の意思表示をしていますが、ご家族がそのことを知らなかったり忘れていたり、病院で確認をする体制が整っていなかったり等、まだまだ献眼についての理解が深まっていないことを知りました。

今年度、当クラブでは、新規にクラブメンバー5名を献眼登録させていただき、ようやくクラブメンバー登録率50%を超えることが出来ました。

他のクラブにおいては登録率100%と、全員が登録していることも聞いています。

当クラブも、一人ひとりが奉仕の精神を発揮し、全員登録を目指すことにより献眼登録者が増えるように、これからも声かけをしていきたいと思えます。

角膜移植をすることにより光を取り戻す方を、一人でも増やしましょう！



2014年10月28日、例会において

移植を受けられた方からのお手紙

此の度、富大附属病院で角膜の移植手術を受けさせていただきました。

角膜がとことん悪化して急な手術でしたが、丁度献眼されていた角膜のおかげで無事移植手術をさせていただきました。本当に有がたく、心から感謝申し上げます。家族も大変喜んでおります。今週中に退院できる予定になっております。

余分になりますが、私の家族もライオンズクラブの一員として、献眼登録を致しております。大変良い事をしてるのだなど、内心誇りに思はせていただきました。

本当に有りがとうございました。

(女性)

## 光と愛とウィ・サーブ

滑川ライオンズクラブ

2014～2015年 会長 本田 繁

平成10年に滑川ライオンズクラブに入会して17年になります。その間、当クラブにおいては環境保全・四献推進委員会が中心となり、私自身も委員会に所属するなどして献血・献眼活動を推進してきましたが、過日、地区ガバナー諮問委員会にて配布された資料を見て愕然としました。それにはクラブ単位でのアイバンク登録者数と比率が書かれており、滑川ライオンズクラブは3割にも満たない状況でした。昨年も富山県アイバンク理事長の大黒幸雄さん、同じく組織移植コーディネーターの入江真理さんを講師としてお招きし、会員に対する周知と協力を得たつもりでしたが、とても残念に思います。

(公財)日本アイバンク協会のデータによると登録者数は昭和58年の79,000人余をピークに平成25年の10,800人余まで減少し続け、待機患者数は平成9年の5,800人余をピークに平成25年では2,200人余まで減少してきているとはいえ、毎年の献眼者数が1,000人に満たない昨今の状況を考えれば「光と愛」を心底から待ち望んでおられる皆様に対しては、より多くの登録者が必要であることが理解できました。

そこで滑川ライオンズクラブでは本年5月の献血活動の際に献眼活動も同時に実施することにいたしました。愛する家族の献眼に対しては残された家族の心の機敏は確かにあります。また今回活動してみて感じたことは、未だ多くの皆さんが献眼に対して誤った認識を持っておられることも分かりました。まずは当クラブ内での登録状況を改善し、対外的には、より多くの皆様の理解を得られるよう、さらにPR活動を推進し、献眼を心待ちにしておられる方々に対し、「光と愛」をウィ・サーブの風に乗せてお届けできるよう頑張ります。



2015年5月10日 滑川市・PLANT-3において献血活動の際に献眼啓発活動

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成26年4月～平成27年3月

## ☆一般（個人）

大黒 幸雄	300,000	野田 俊勝	5,000	田之下和美	3,000
高瀬 清春	110,000	堀 壽夫	5,000	寺澤 和美	3,000
匿名希望	100,000	松井 優子	5,000	中川史永子	3,000
野村 謹吉	50,000	山尾 佳史	5,000	長瀬美智子	3,000
河島 早苗	30,000	山中義正・千津子・路代	5,000	中西 広一	3,000
宮本 茂樹	30,000	山元 廣	5,000	中村 孝子	3,000
吉田 隆	30,000	米田 進	5,000	中村 正根	3,000
泉 豊子	20,000	朝倉 一美	3,000	七澤 政時	3,000
豊田 耕一	20,000	我妻 眞美	3,000	布谷 省三	3,000
西野 澄	20,000	跡治 幸子	3,000	野澤 喜一	3,000
宮岸 武雄	16,000	網 美保	3,000	蓮田カヲル	3,000
中野 忠雄	15,000	幾島かをる	3,000	浜川眞理	3,000
伊賀 肇	10,000	石黒 寛	3,000	林 朝夫	3,000
筏井 晴夫	10,000	和泉 弘司	3,000	林 巖	3,000
永川 武文	10,000	伊藤美也子	3,000	彦田 甚一	3,000
老子きぬい	10,000	稲場トシ子	3,000	廣瀬 静	3,000
大浦 均	10,000	碓井 栄勝	3,000	藤瀬 昭彦	3,000
神嶋 利夫	10,000	碓井 宏	3,000	堀 ヤエ子	3,000
作村佐智子	10,000	宇波喜久男	3,000	堀井 敏夫	3,000
佐藤 善政	10,000	大川 健二	3,000	松倉 義子	3,000
武田 宏 (上市)	10,000	奥村 豊明	3,000	松島 重雄	3,000
野村 健造	10,000	尾山 和子	3,000	南 正子	3,000
畠山 志郎	10,000	角谷 幸代	3,000	三村 幸一	3,000
花鳥 榮一	10,000	鹿島うら子	3,000	宮島さだ子	3,000
松本のり子	10,000	金戸 律子	3,000	村上すず子	3,000
水谷 貴子	10,000	狩野 和朗	3,000	目澤 益子	3,000
森田 忠雄	10,000	北野 敏雄	3,000	元野 清光	3,000
匿名希望	10,000	木山 隆	3,000	森川 慎一	3,000
藤巻 篤子	9,000	齊木 敏夫	3,000	矢木 義人	3,000
百澤千賀子	9,000	境 里子	3,000	柳瀬 貞夫	3,000
志鷹 明美	8,000	佐竹 幸江	3,000	山崎 和子	3,000
井上 政雄	6,000	澤田 壽朗	3,000	山田 和枝	3,000
佐藤 瑞恵	6,000	島崎 君枝	3,000	吉田 卓矢	3,000
滝本 浩子	6,000	下関 幸子	3,000	米澤 務	3,000
福井 博	6,000	菅原 峻司	3,000	匿名希望	3,000
山本 辰男	6,000	炭谷 洋子	3,000	匿名希望	2,015
石川 恵子	5,000	千龍義信・かな子	3,000	荒井 清勝	1,000
大井山淑美	5,000	高木 和夫	3,000	飯野 茂昭	1,000
黒川 哲夫	5,000	高林 咲子	3,000	今村 義和	1,000
杉岡 洋子	5,000	武田 宏 (山田湯)	3,000	宇隨 久	1,000
竹田 市次	5,000	谷川 弘	3,000	坂林 義夫	1,000
寺本 龍昭	5,000	谷野 克巳	3,000	筒井 町子	1,000

## ☆一般（法人・団体）

医療法人社団紫蘭会	1,000,000	防災電設株式会社	100,000
一般社団法人富山県ビルメンテナンス協会	500,000	株式会社メガネハウス	50,000
株式会社北陸電設	200,000	シオンホール花みずき	10,000
株式会社マルチョウ神戸屋	200,000	富山コピー販売株式会社	10,000
城外喜男氏ホールインワン記念コンパ	105,000	とよだ眼科クリニック	10,000
永栄会	100,000	株式会社ニュージャパン・トラベル	10,000
株式会社サブラ	100,000	株式会社松田自動車	10,000

## ☆ライオンズクラブ関係

1R1ZC就任チャリティゴルフ大会	156,000	富山高志ライオンズクラブ	50,000
1R2Zガバナー公式訪問	50,000	富山セントラルライオンズクラブ	10,000
1R2ZC就任記念チャリティゴルフ大会	55,120	富山いきいきライオンズクラブ	100,000
1R3Zゴルフ愛好会	88,360	入善ライオンズクラブ・雨竜ライオンズクラブ	200,000
2R2Zガバナー公式訪問	100,000	魚津ライオンズクラブ	100,000
2R3Zガバナー公式訪問	50,000	高岡ライオンズクラブ	30,000
2R3Z合同例会	20,000	高岡古城ライオンズクラブ	100,000
富山みなとライオンズクラブ	15,000	高岡アラートライオンズクラブ	100,000
富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000	新湊ライオンズクラブ	120,000
富山南ライオンズクラブ	200,000	砺波ライオンズクラブ	30,000

□ 賛助会員 平成26年4月～平成27年3月

個人会員

相澤 吉彦	大江 功一郎	清河 高之	澤田 訓正	飛鳥 邦彦	林 篤志	宮崎 隆幸
秋本 政亮	大崎 利明	清河 衛	篠田 和男	富山 剛	稗苗 清吉	宮野 高司
朝倉 高行	大沢 範洋	熊野 弘	清水 英子	豊田 葉子	久田 茂光	室生 新二
浅野 博	太田 茂	熊本 新一	下坂 芳宏	虎谷 武道	廣瀬 和夫	森 弘
油本 茂	大田 妙子	黒崎 春久	菅野 寛二	鳥崎 真人	廣瀬 利行	森田 嘉樹
安藤 建二	大坪 健	慶野 耕一	杉本喜久子	鳥山 博	廣野登志子	八木 洋
飯塚 龍志	大庭 知子	高縁 勲	高岸 和男	中井 紘明	藤記 尚子	屋根 慎二
池崎 策夫	岡本 賢三	高縁 勉	高須 貞夫	中尾 順一	藤田 和也	山口 聖慈
石川 雅朗	岡本 武勇	小坂 愛香	高林 敏	長岡 昭男	藤塚由紀子	山口 正人
石崎 敬治	奥原喜代司	小坂 章	高平 伸	中川 正人	藤巻 篤子	山崎 泰邦
石田ひとみ	桶屋 博明	後藤 倫	高柳 昇	長勢 知子	星山 慎一	山崎与四之
井田久美子	尾崎 誠	小林 聖子	竹腰治一郎	長田 雅子	保里真理子	山下 泉
市岡 義望	小沢 正康	米屋 慎一	竹本 福志	中西 栄二	堀内 康男	山下 誠
一川 順彦	小津ゆかり	小柳 博美	館 奈保子	中村 孝子	本元 幸俊	山下 陽子
伊東 景治	片山 寿夫	神谷 尚機	田中 義人	波岡 一子	増井 修	山本 明彦
伊藤興一郎	加藤 樹永	斉藤 譲一	田中 良則	西野 義隆	松倉 和也	柚木 達也
伊東 紀一	金井 澄子	斉藤 周子	谷口 敬敏	新田 正昭	松倉 正機	吉崎 剛
伊藤 光雄	金山 明	境 伸	谷口 正明	野崎 唯吉	松崎 孝治	吉崎 実
入井 孝博	鎌谷 克彦	佐賀野昭一郎	谷口 保孝	野尻津喜夫	松田 憲昌	吉澤 富雄
植田 芳樹	紙谷 晃一	作村佐智子	谷村 一成	野尻登美子	松原 博紀	吉田 重治
梅川 哲也	狩野 俊哉	佐近 肇	辻 靖雄	能瀬 和雄	松本 憲治	吉田 讓
梅田 清一	川上 祐子	佐々 裕成	土田 豊	野村 賢政	丸田 清春	米田 博
浦野 孝一	川端 康夫	佐々木和明	寺井 仁	長谷川修博	道原 英克	米原 稔一
大愛富美子	川本 敏和	佐々木祐二	寺崎 達二	畠山 明	三井 適夫	若森 征雄
大浦 清重	川本 元充	笹倉 秀樹	寺嶋 勉	浜多 等志	三井田一博	渡邊 一三
大浦 均	刑部 郁子	澤泉 弘	東條 直貴	濱田 昌子	宮腰 晃央	綿屋 和美

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所	有限会社平野石油店
株式会社押田建築設計事務所	株式会社広野
株式会社北日本工芸	富源商事株式会社
久保毅税理士事務所	株式会社藤井産業
株式会社黒東アメニティ公社	伏木海陸運送株式会社
有限会社笹島商事	伏木貨物自動車株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	北陸エンジニアプラスチック株式会社
株式会社すがの印刷	北陸バンドー株式会社
株式会社セイアグリーシステム	有限会社北高運輸
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
東光運輸株式会社	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
株式会社富山県義肢製作所	株式会社丸八
富山スガキ株式会社	ミユキ化成株式会社
医療法人光ヶ丘病院	ヤマ自動車
平田眼科医院	

☆ライオンズクラブ関係

富山セントラルライオンズクラブ	滑川有恒ライオンズクラブ
富山昭和ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

# 募金ありがとうございました。平成26年4月～平成27年3月

☆一般

カモの会	77,700	高岡市民病院 売店	6,480
ポプラ高岡泉ヶ丘店	29,572	オレンジマート モア店	4,493
ますだ眼科医院	19,593	宮岸株式会社富山支店	4,211
片山眼科医院	17,868	新富旅行株式会社	4,210
株式会社セイアグリーシステム	14,613	富山赤十字病院眼科	4,111
ポプラ中屋店	11,351	水新建設株式会社	3,306
クリス音楽院	10,000	青山ゼミ	2,311
飛見医院	7,773	ランチ&ヘルシーケーキのお店 ユース丸	2,247
日本命理学会・四柱推命	7,666	くすくすダイニング	1,925
ポプラ戸出春日店	7,110	狩野眼科医院	1,744
富山県アイバンク理事会懇親会	7,000	新鮮市場・ヴァローレ庄川店	1,419
福尾眼科医院	6,594	いきいきとやま・第27回健康と長寿の祭典	200

☆ライオンズクラブ関係

入善ライオンズクラブ	11,579	氷見ライオンズクラブ	46,000
高岡志貴野ライオンズクラブ	5,225	小杉ライオンズクラブ	12,924



## 平成27年度年賀寄附金配分事業による配分を受けました

日本郵便株式会社より、平成27年度年賀寄附金配分事業の配分を受け、「角膜移植用特殊医療機器並びに摘出・移植医療機器用の高圧蒸気滅菌器の整備事業」の整備をおこないました。角膜移植手術と同時に白内障手術をおこなう際、この機器をもちいます。ご献眼の際等に使用した機器は、高圧蒸気滅菌器にて滅菌をおこないます。

本当にありがとうございました。



# 公益財団法人富山県アイバンク 平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレットを、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。  
啓発ポスター2,200部を印刷し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。  
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。  
本年度の献眼登録者数は、322名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が38名あり、28名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	居住地
4月	80歳代	男性	高岡市
5月	50歳代	男性	立山町
	70歳代	男性	富山市
6月	70歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	南砺市
7月	90歳代	女性	高岡市
	50歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	居住地
8月	70歳代	男性	高岡市
9月	60歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	魚津市
	70歳代	男性	富山市
10月	30歳代	女性	高岡市
	80歳代	女性	富山市
	80歳代	女性	富山市

献眼月	年齢	性別	居住地
10月	70歳代	男性	氷見市
	80歳代	男性	高岡市
11月	60歳代	男性	射水市
	90歳代	女性	高岡市
	80歳代	男性	南砺市
	90歳代	女性	富山市
1月	70歳代	男性	上市町

献眼月	年齢	性別	居住地
1月	80歳代	女性	黒部市
2月	90歳代	女性	黒部市
	60歳代	女性	射水市
	40歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	富山市
3月	80歳代	女性	富山市
	60歳代	男性	富山市

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。
- 提供眼球的検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、45名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、37名の方に強膜移植が行われた。
- 10月23日、富山県庁特別室において、平成25年9月から平成26年7月までの献眼者19名に対して、厚生労働大臣感謝状伝達式を開催した。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3) 普及啓発事業

#### ① 医療従事者への啓発活動

- 院内移植コーディネーター連絡会（5月、7月、9月、12月、1月、3月）に参加し、院内移植コーディネーターの啓発活動を行った。
- 病院症例検討会を行った。  
富山県立中央病院（4月～3月） 厚生連高岡病院（4月～3月）  
高岡市民病院（4月、5月、7月、9月、11月、1～3月）
- 院内移植委員会等に参加した。  
市立砺波総合病院 臓器・組織の移植に関する委員会（4月～7月、9月～3月）  
6月26日 富山県立中央病院臓器提供委員会 7月24日 富山大学附属病院平成26年度第2回臓器移植に関する委員会  
8月6日 富山大学附属病院臓器移植に関する委員会第1回あっせん事業体制整備WG会議 8月18日 高岡市民病院臓器提供委員会  
9月26日 平成26年度脳死下臓器提供に関わる関連団体の連絡会議 11月6日 富山大学附属病院移植医療に関する院内研修会  
11月19日 厚生連高岡病院平成26年第2回臓器提供委員会 12月9日 厚生連高岡病院脳死下提供シミュレーション  
1月20日 富山市民病院脳死下提供シミュレーション 2月3日 富山労災病院脳死下提供シミュレーション
- 啓発活動の一環としての講演を行った。
- グリーンケアとしてのエンゼルメイク  
7月28日 富山福祉短期大学 看護学科 1月13日 富山福祉短期大学 社会福祉学科 介護福祉専攻
- 献眼啓発講演  
4月18日 厚生連高岡病院師長会 9月18日 高岡市民病院臓器移植講演会  
3月4日 金沢医科大学氷見市民病院移植講演会
- 院内移植コーディネーター配置病院に、アイバンクマニュアルを配布・設置した。

#### ② 一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動  
5月17日 ライオンズクラブ国際協会334-D地区年次大会にて啓発写真等の展示並びに登録パンフレットを配布  
6月8日 アルプラザ小杉店にて登録パンフレットを配布  
6月14日 ショッピングタウン北の森にて登録パンフレットを配布  
7月27日 ハッピータウン氷見ショッピングセンターにて登録パンフレットを配布  
8月3日 金沢医科大学氷見市民病院第3回夏休み親子ふれあい医療フェスティバルにて登録パンフレットを配布  
8月9日 ふるさと商工まつりin射水にて登録パンフレットを配布  
9月12日 入善まちなか交流施設うるおい館にて登録パンフレットを配布  
10月5日 アルプラザ小杉店にて登録パンフレットを配布  
10月13日 かがやき未来交流会にて登録パンフレットを配布

- 10月13日 エブリバディススポーツデイ2014にて登録パンフレットを配布
- 10月19日 新湊カニかに新鮮白えび祭りにて登録パンフレットを配布
- 10月25日 富山ライオンズクラブ公開例会「しあわせ運べるように」にて登録パンフレットを配布
- 11月11日 公立南砺中央病院介護の日ふれあいフェスティバルにて登録パンフレットを配布
- 11月11日 バロー石坂店にて登録パンフレットを配布
- 11月23日 ハッピータウン氷見ショッピングセンターにて登録パンフレットを配布
- 11月27～28日 いきいきとやま・第27回健康と長寿の祭典にて登録パンフレットを配布
- 2月1日 アルプラザ小杉店にて登録パンフレットを配布
- 2月21日 第15回入善ラーメンまつりにて登録パンフレットを配布
- 3月18日 射水市役所新湊庁舎にて登録パンフレットを配布
- 3月22日 ハッピータウン氷見ショッピングセンターにて登録パンフレットを配布

●啓発活動の一環としての講演

- 8月20日 富山みなとライオンズクラブ例会にて講演
- 9月17日 小杉ライオンズクラブ例会にて講演
- 10月28日 富山セントラルライオンズクラブ例会にて講演
- 12月2日 富山いきいきライオンズクラブ例会にて講演
- 2月4日 氷見ライオンズクラブ例会にて講演
- 2月4日 高岡アラートライオンズクラブ例会にて講演
- 3月17日 富山ライオンズクラブ例会にて講演

(4)その他

- 4月1日 セミナー「アイバンクの発展におけるベストプラクティス」に参加
- 4月15日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席
- 4月26日 第25回とやま眼科学術講演会に参加
- 6月29日 第70回富山眼科集談会にてミニ発表
- 7月26日 日本アイバンク協会第28回アイバンクワークショップセミナーに参加
- 8月29日 第13回日本組織移植学会学術集会に参加
- 8月30日 日本組織移植学会平成26年度第1回コーディネーター合同セミナーに参加
- 9月23日 第98回富山大学眼科臨床カンファレンスに参加
- 11月24日 第71回富山眼科集談会に参加
- 1月10～11日 日本組織移植学会平成26年度第2回コーディネーター合同セミナーに参加
- 1月24日 第99回富山大学臨床カンファレンスに参加
- 2月7日 日本アイバンク協会認定チーフサポーター講習会に参加
- 2月11～13日 角膜カンファレンス2015に参加し、ポスター発表と「アイバンクウェットラボプログラム」の強角膜片作成ブーススタッフを担当
- 2月21日 日本アイバンク協会第29回アイバンクワークショップセミナーに参加

〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)広報誌「アイバンクだより第20号」6,500部を発行し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

(2)眼の衛生に関する講演

- 2月5日 富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かってステップ・ワン!『13歳の学び』」にて講義

(3)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(4)啓発用冊子「三百字の遺言 ～献眼へのメッセージⅡ～」8,000部を発行し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。

〈その他〉

- 4月15日 高瀬、港両監事に平成25年度事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。
- 6月9日 理事会を開催し、「平成25年度事業報告並びに決算報告書」の承認を行った。
- 6月24日 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行新旧常任委員会に出席し、助成に対する事業報告並びに決算報告を行い、次年度の助成金申請を行った。
- 6月24日 評議員会を開催し、「平成25年度事業報告並びに決算報告書」の承認、理事10名辞任に伴う後任者並びに増員による計13名の選任を行った。
- 7月25日 日本アイバンク協会アイバンク広域活動地区別連絡会及び第37回全国アイバンク連絡協議会に参加した。
- 8月21日 理事会を開催し、「富山県アイバンク組織」についてと「今年度の事業活動について」の2題につき、討議決定を行った。
- 9月5日 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会並びに評議員会に出席し、本年度の助成協力をお願いした。
- 10月29日 高瀬、港両監事に平成26年度中間期事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。
- 11月29日 「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」並びに「献眼登録確認フォローアップ事業研修会」を開催した。
- 12月18日 理事会を開催し、「平成26年度中間期事業報告並びに決算報告」の承認を行った。
- 2月27日 第55回アイバンク広域活動東海北陸ブロック連絡会に参加した。
- 3月20日 理事会を開催し、「平成26年度修正収支予算案」及び「平成27年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。
- 3月26日 定例評議員会を開催し、「平成26年度修正収支予算案」及び「平成27年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。

寄附金を頂いた個人・団体等へ感謝状を伝達した。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成26年度収支計算書（損益）

平成26年4月1日～平成27年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	48,710	0	48,710
基本財産利息収入	48,710	0	48,710
②特定資産運用益	3,580	0	3,580
特定資産利息収入	3,580	0	3,580
③受取会費	667,200	444,800	1,112,000
賛助会員会費収入	667,200	444,800	1,112,000
④事業収益	9,880,000	0	9,880,000
角膜幹旋手数料	8,800,000	0	8,800,000
強膜幹旋手数料	1,080,000	0	1,080,000
⑤受取補助金等	2,977,391	1,000,000	3,977,391
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
日本アイバンク協会助成金収入	97,391	0	97,391
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	3,490,922	2,107,798	5,598,720
寄付金収入	3,161,697	2,107,798	5,269,495
募金収入	329,225	0	329,225
⑦県委託事業費収入	1,500,000	0	1,500,000
⑧日本アイバンク協会委託事業費収入	160,400	0	160,400
⑨雑収益	334,388	11,428	345,816
受取利息収入	976	650	1,626
その他の収入	333,412	10,778	344,190
⑩指定正味財産からの振替額	0	0	0
経常収益計	19,062,591	3,564,026	22,626,617
(2)経常費用			
事業費	20,043,120	0	20,043,120
①眼球のあっせん等に関する事業費	3,505,745	0	3,505,745
募集登録費支出	1,219,177	0	1,219,177
旅費交通費	219,960	0	219,960
印刷製本費	162,032	0	162,032
通信運搬費	476,573	0	476,573
広報費	360,612	0	360,612
あっせん事業費支出	2,286,568	0	2,286,568
摘出謝礼	300,699	0	300,699
旅費交通費	352,360	0	352,360
弔慰費	210,000	0	210,000
器具消耗品費	981,262	0	981,262
検査費	126,005	0	126,005
感謝状伝達費	316,242	0	316,242
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	3,418,216	0	3,418,216
啓発事業費支出	3,418,216	0	3,418,216
啓発備品費	59,556	0	59,556
印刷製本費	3,259,980	0	3,259,980
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	98,680	0	98,680
③公益事業共用費	10,141,558	0	10,141,558
コーディネーター活動支出	431,650	0	431,650
諸給与支出	8,120,349	0	8,120,349
コーディネーター給与手当	6,945,150	0	6,945,150
福利厚生費	1,175,199	0	1,175,199

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
通信運搬費	264,003	0	264,003
事務消耗品費	383,094	0	383,094
雑費	411,552	0	411,552
その他	351,736	0	351,736
振込手数料	59,816	0	59,816
退職給付費用	530,910	0	530,910
リース代	0	0	0
④什器備品償却費	747,969	0	747,969
⑤県委託事業費支出	1,720,308	0	1,720,308
⑥日本アイバンク協会委託事業費支出	509,324	0	509,324
管理費	0	2,337,524	2,337,524
①諸給与支出	0	818,745	818,745
給与手当	0	750,508	750,508
福利厚生費	0	68,237	68,237
②会議費支出	0	911,615	911,615
理事・評議員会他	0	723,675	723,675
旅費交通費	0	187,940	187,940
③需用費支出	0	443,174	443,174
通信運搬費	0	43,012	43,012
対外渉外費	0	162,900	162,900
印刷製本費	0	0	0
事務消耗品費	0	15,000	15,000
賃借料	0	128,593	128,593
雑費	0	93,669	93,669
④退職給付費用	0	58,990	58,990
⑤什器備品償却費	0	105,000	105,000
経常費用計	20,043,120	2,337,524	22,380,644
評価損益調整前当期増減額	△ 980,529	1,226,502	245,973
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 980,529	1,226,502	245,973
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
過年退職給付費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 980,529	1,226,502	245,973
一般正味財産期首残高			82,881,073
一般正味財産期末残高			83,127,046
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			83,127,046

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(平成27年7月13日現在)

名誉顧問 1名・相談役 2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

理事45名・監事 2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
副理事長	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
常務理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役
理事	岡本 武勇	一般社団法人富山県身体障害者福祉協会 会長
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	寺崎 達二	寺崎樹脂 代表
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長
理事	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
理事	藤巻 篤子	眼科医師
理事	吉田 隆	株式会社吉田家具店 代表取締役
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	木村 正明	木村経営会計事務所 所長
理事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士磯野敏雄事務所 所長
理事	尾間 央	有限会社平野石油店 代表取締役
理事	井内 努	富山県 厚生部長
理事	上野 和博	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	狩野 俊哉	狩野眼科医院 院長(富山県眼科医会 会長)
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会事務局長
理事	宮本 眞弓	富山医療福祉専門学校 副学校長

役職	氏名	勤務先
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	松下 栄信	株式会社松下工業 代表取締役社長
理事	川岸 広幸	株式会社オフィスケイ 代表取締役
理事	金田 賢行	有限会社たうんサービス富山 代表取締役
理事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役
理事	内野 忠	株式会社北越 代表取締役
理事	湊 恒成	湊恒成社会保険労務士事務所 代表
理事	愛場 正利	有限会社愛場農園造園土木 代表取締役
理事	坂東 実	株式会社ぼんどー工業 代表取締役
理事	下保 正信	株式会社下保商店
理事	山城 篤志	ジャパンテクノフーズ株式会社 代表取締役
理事	宮前 宏司	富山市議会議員
理事	杉本 學重	株式会社西元サンクリーン 代表取締役
理事	藤田 整司	株式会社藤田銅器製作所 取締役会長
理事	延澤 泰明	ミュキ化成株式会社 代表取締役
理事	五島 辰夫	株式会社丸圓商店 代表取締役
理事	廣瀬 淳	株式会社公生社 代表取締役
理事	芝山 重憲	シバヤマ建設株式会社 代表取締役社長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所
監事	港 勉	保護司

# 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成27年7月24日現在)

評議員38名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
押田 洋治	株式会社押田建築設計事務所 代表取締役社長	渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役社長
渡邊 清隆	株式会社富山市場輸送 代表取締役	上野 基巳	株式会社イリス 代表取締役
永川 武文	有限会社永栄商事 代表取締役社長	清河 衛	有限会社仁右衛門家 代表取締役
山崎 義明	株式会社山崎製作所 代表取締役社長	弓野 久和	大家庄農事組合 組合長
高田 重信	高田燃料店(富山市議会議員)	折橋 毅一	株式会社折橋政次郎商店 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役(県議会議員)	若森 征雄	若森商店 代表
中川 優子	医療法人社団功連会南富山中川病院 副院長	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
松岡 秀子	松岡ジャズバレエ研究所	焼田志図夫	やきた歯科医院 院長
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	山崎 正治	山崎木材株式会社 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	彦田 甚一	
鋪田 博紀	シキダ不動産株式会社 専務取締役(富山市議会議員)	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
牧野 吉成	阪神化成工業株式会社 生産管理係係長	三ノ宮芳和	株式会社三ノ宮燃料 代表取締役社長
中嶋 進	中島サイディング 代表	山崎 泰邦	社会福祉法人伏木会特別養護老人ホームふしき苑 施設長
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
島田 秀雄	阪神化成工業株式会社 監査役	米山 幸男	ワイケイホーム株式会社 代表取締役
上野 俊	株式会社上野文美堂 代表取締役	池田 善揮	株式会社廣昌堂 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	片山 孝志	片山工業株式会社 代表取締役
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	山崎 泉	株式会社山崎組 代表取締役社長
窪田 一誠	立山町議会議員	北岡 勝	公益社団法人富山県善意銀行 常任理事兼事務局長

## 広報委員会

委員長：牧 亨 副委員長：岡本 武勇

## PR部

部長：畠山 志郎

中尾 順一 川岸 広幸 内野 忠 山城 篤志 宮前 宏司 杉本 學重 篠井 晴夫

## 編集後記

先日、70歳の一般人の夫妻に献眼登録の話をしたところ、すでに40年前の善意銀行時代にお二人とも登録を済ませ、寄付金も毎年続け「アイバンクだより」も毎年読んでいるとの話を伺い感激しました。

一方、国内最初のアイバンク設立から52年。平成3年の財団法人富山県アイバンクの設立からでも24年の時が過ぎると、設立運動の母体であるライオンズクラブも世代交代が進み、当初の経緯を知らない会員が増えて、献眼への関心も薄れてきました。そこでL.田中俊夫地区ガバナーに登場して頂き、またアイバンクとライオンズの関わりの歴史も掲載しました。国内では年間献眼者約1,000人に対し、待機患者数は約2,000人。人口2.5倍のアメリカでの献眼者数4万人に及ばなくても現在の2倍、2,000人の献眼者で待機患者を0に出来ます。まだまだ活動を広げる必要があります。その為に親しみやすく表紙を飾って下さったシンガーソングライターTomomiさんを始め、寄稿して頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。

畠山 志郎



**富山県アイバンクだより**

第21号・平成27年12月15日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市 杉谷2630  
TEL (076)434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れた後にエンゼルメイクを施しますのでおだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

# 「光」の贈りもの

献眼で あなたにもできます

滑川市：ホタルイカの幻想的な輝き

TOYAMA  
eye  
EYE BANK

第22号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成27年4月から平成28年3月まで

平成27年

5月 匿名希望 富山市  
5月 棚橋クニ様 魚津市  
6月 井村博子様 高岡市  
7月 廣野登志子様 富山市  
7月 匿名希望 富山市  
7月 篠田幸一郎様 富山市  
7月 中陳千賀様 黒部市  
8月 川岸廣治様 富山市  
8月 前田喜代志様 砺波市  
8月 國分笑子様 高岡市  
8月 澤田スイ様 高岡市  
8月 武田隆一様 富山市  
9月 匿名希望 氷見市  
9月 筒井俊三様 富山市

10月 匿名希望 高岡市  
11月 細田和昭様 富山市  
11月 林 實様 富山市  
11月 中村真吾様 滑川市  
12月 西島政義様 入善町  
12月 笹邊 貢様 南砺市  
12月 長瀬美智子様 富山市

平成28年

1月 榑谷啓司様 富山市  
2月 大間知梢様 富山市  
2月 匿名希望 南砺市  
3月 中村祐美子様 富山市  
3月 大橋義信様 高岡市

—謹んで哀悼の意を表します—

## 厚生労働大臣感謝状伝達式



10月20日（木）、県庁特別室においてご献眼いただきました皆様に厚生労働大臣からの感謝状を伝達させていただきました。

# 「角膜移植ができる」ということ

富山県眼科医会会長 狩野 俊哉

私たちは日々の生活を多くの身体感覚をもとに行っていて、おおむね80%の情報は眼から入ると言われています。逆に言えば、視力を失うことは多くの生活情報を失うことになり、通常の社会生活が困難になってしまいます。近年眼科医療は飛躍的に進歩し、他の診療科と比べてもスピードは速く、その治療実績は驚くばかりです。かつては手の届かなかった部分の検査が可能となり、治療法がないと言われてきた病気も手術できるようになりました。これは診療機器や手術機械の進歩が大きく貢献していますが、なによりも治療にあたる眼科医の技術と勇気が良好な結果をもたらしています。角膜移植についても、全層移植に加えて多くの手術手技が開発され、それぞれの適応疾患に対して良好な手術成績が報告されています。透明な角膜はもちろん光を通しますが、それだけではなく「レンズ」の役割もしています。カメラの一番前のレンズと同じです。ここに強い混濁が残ってしまうと、視覚を取り戻すには角膜移植しか方法はありません。「角膜移植しかない」は、言い換えると「角膜移植ができる」ということです。待機されている多くの患者さんが社会生活に復帰できるかどうかは献眼の数にかかっています。どんなに手術方法が向上しても、移植に使わせていただく角膜がないことには多くの患者さんを救うことはできません。他人ごとではなく、角膜移植を我がことと考えるアイバンクの精神に大きな意義があると思います。どうぞよろしく願いいたします。



実績（開設以来の累計）2016年10月末現在

	富山県	全 国
献眼登録者数	20,362人	1,533,772人
献眼者数	396人	40,623人
角膜移植者数	657人	62,787人
強膜移植者数	154人	

開設以来、657の方が角膜移植を受けて光を取り戻していらっしゃいます。

しかし、まだ富山県では、16人、全国では約2,000の方が角膜移植を待ち望んでいらっしゃいます。

## 父が遺していったもの

鈴木 京子

2015年初夏、80歳をゆうに過ぎた両親を連れ、北陸新幹線で東京見物。その後も旅行好きな父は、ご近所の方々と三方五湖へ行くことを楽しみに日々を過ごしていました。

そんな中、11月末から不調を訴え入院。退院はしたものの過去に心筋梗塞を起こし慢性心不全という疾患があり、12月末にまた入院することになりました。退院できそうになると体調を崩すと



いったことを繰り返し、とうとう4カ月目、医療の限界、父の生命の限界を迎えることになりました。入院中は早く住み慣れた家に帰りたいの一心で歩行リハビリを行っていましたが、治療の見通しもなく点滴が外せない、点滴の針を入れる血管が見つからないことが最大の苦痛となっていました。打つ手なしの治療に苛立ちを感じながら自分の死期を悟った父は、私に自宅からドナーカードを持ってくるように言いました。

かつてライオンズクラブの会員であった頃登録したそうです。ライオンズクラブはまさしく奉仕活動を行う団体です。個人経営者や会社の役員の方が多く、仕事等を通し地域の方々に社会貢献すべきと考えておられる方が多いのではないかと思います。

父はワンマンではありましたが、曲がったことが大嫌い、冗談は言いますが正直で自分を飾らない、わかりやすい人でした。

その父が病室で献眼したいと言った言葉に、私は素直に従おうと思っていました。

父の容体が急変し、私が駆けつけたときは父の体を揺さぶっても答えてくれませんでした。過去に父は心肺停止を2回おこし2回とも、縁あってこの世に戻ってきています。今回もとかすかな望みを抱きましたが、つらい闘病生活を見ていて、これでいいよ、よく頑張ったねと覚えていました。

このとき母は、家に帰ることを毎日願い闘病生活を送っていた父を早く家に帰らせたいと思っていました。亡くなった日が日曜日とあって大学の眼科に連絡しても月曜日かそれ以降でないと父の体は家には戻れないかもしれないと看護師さんに言われました。

ドナーカードを持ちながら献眼するかどうかは家族の判断となります。私は父の願いを無にすることこそ後悔の念と思い、父の意志を通すことに母も納得してくれました。その後大学の先生の対応も早く施術でき、その深夜に父は家に帰ることができました。

後にアイバンクの方から2人に役立てられたこととお聞きし、いくつになっても奉仕活動を行うことは可能なんだと知り、人のお役に立てることは崇高な行為だと改めて父を誇らしく思うのでした。

人生の終わりに献眼という善意の奉仕ができたことは父本人にとっても、家族にとっても倅せです。ありがとうございました。

## 「献眼」への妻の想いは？

御器谷正人

数年前のある日、妻が突然私に聞いてきました。「アイバンクに登録しようと思うけど、いい？」と。一度言い出したら譲らない性格であることは分かっていたので、私は一言「いいと思うよ。」と答えました。そして、そんなことがあったことも忘れかけていた、またある日、「アイバンクに登録してきたから、もし、私が先に死ぬことがあったら、絶対、手続きを忘れないでね！」と言いました。この言葉だけは、ずっと私の心の中に残りました。

妻がなぜ、アイバンクに登録し、「献眼」することにこだわったのかは、深く話し合ったことも無く、本当のところは今でも分からないままです。

ただ、その時は、実際に「献眼」する日がこんなに早く来ることになるとは、妻も私も全く夢にも想っていませんでした。

平成28年8月5日の朝、妻は、あっという間に逝ってしまいました。肺腺癌ステージIVと診断されてから1年数カ月、61歳の誕生日からわずか2週間でした。

アイバンク登録の事実と「献眼」の意思を、私から主治医にお伝えしたのは、亡くなる2日前でしたが、入院していたのがたまたま富山大学附属病院であり、「献眼」の施術完了までは非常にスムーズであったと思っています。

今の私は、妻を失った悲しみが大きく、「献眼」について、冷静に思考することができていない状況ですが、アイバンク関係者の皆様等から、ご丁寧な対応をいただくとともに、おふたりの方に角膜が移植され、手術が成功したとお知らせをいただく中で、妻が人生の最期に、この世に生きた証として、崇高な行為を実行したのだろうという想いだけは、確信しているところです。



息子さんの結婚式



初孫と…

## 対 談

# 献眼は 地域に根差した 地道な奉仕活動から…

今回は、高岡市民病院臓器組織移植委員会委員長であり、金沢パークライオンズクラブ会長一柳健次先生にお話をお伺いいたしました。

大黒理事長：富山県では、ライオンズクラブが中心となってアイバンクを設立して献眼登録事業を推進してきましたが、時代の経過により、ライオンズクラブメンバー自身のアイバンク事業に対する理解度が薄くなってきているのではないかと危惧しています。また、献眼者を増やすには医療機関における啓発活動が重要であり、平成18年から設置された院内移植コーディネーターの活動はアイバンクにとって大変ありがたいと思っています。献眼数は少しずつ増加していますが、全国で約2,000人、富山県では16人の方が角膜移植を待ち望んでおられ、まだまだ角膜が足りないのです。

一柳先生はライオンズクラブメンバーとしてまた医療者としての両面の立場でアイバンク活動の問題点やお気づきの点がありますでしょうか？

一柳先生：先日、私の病院の臓器組織移植委員会を開催した時に、富山県ではライオンズクラブからの献眼登録者数が石川・福井に比べて多いが、ライオンズマンであって献眼のご意思を持ちながら、献眼に至らない例が少なからずあるということを聞きました。近年、病院で最期を迎えられる患者さんが増えてきています。病院としても尊い献眼の意思を尊重できる体制が必要であると感じています。

例えば、お亡くなりになった時に、主治医または看護師から献眼の意思を口頭で確認するなどの、患者様とそのご家族が有している意思を確認するシステムを構築すればいいと思います。当院だけでなく、県内の病院長会議でその必要性を説明して県内

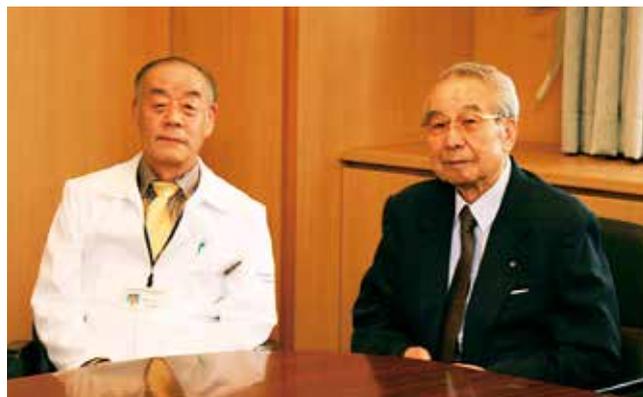
全体で取り組めばおのずと献眼数は増加すると思いますし、また病院としても患者様の献眼の意思を尊重することができます。結果、残された患者様家族も満足されるのではないかと思います。

大黒理事長：アイバンクというのは、失明したと思われる人が角膜移植によって見えるようになるという、ものすごく意味のある作業だと思うんです。全



(左) 一柳 健次 (いちやなぎ けんじ)

高岡市民病院臓器組織移植委員会委員長  
金沢パークライオンズクラブ  
2016～2017会長



(右) 大黒 幸雄 (おほくろ けんゆう)

公益社団法人富山県アイバンク理事長

国で54のアイバンクがあり、その運営形態はそれぞれ違いますが、多くはライオンズクラブが関連しています。富山県アイバンク活動がスタートしたころに在籍していたライオンズクラブメンバーが今では半分に減っています。ライオンズクラブの奉仕活動が多様化してきてアイバンク活動の意識が薄れていることを危惧しています。これについてライオンズクラブメンバーとして先生のお考えをお聞かせいただければと思います。

一柳先生：ライオンズクラブとしては、四献運動を知らないライオンズマンはいないと思うんですけど、どうしてこの活動が必要なのかということライオンズマンに広報する必要があると思うんですね。

ライオンズマンが自分がそういう献眼の気持ちがあっても提供を希望しても、自分の家族がどう思っているかということも大事ですよ。そこらあたり、自分の家族の賛同も得られないと、献眼というのは今一うまくいかないう可能性が考えられますよね。

大黒理事長：それはおっしゃる通りですね。大体最初に献眼運動をやらうと言ってアイバンクを立ち上げたライオンズクラブは、ほとんど100パーセント献眼登録したわけです。

一柳先生：本人に意思があっても、家族が知らないという場合には、結局素通りしていきますものね。

大黒理事長：突如いろいろと変化を起こすということは、組織ではなかなか難しいことですから、少しずつ何か方向が見えてくるとありがたいなと思うんですけど。献眼はライオンズクラブにとって一番大きな一番意味のある活動だろうと思っています。

一柳先生：やっぱり地域に根差した地道な奉仕活動だね。その原点のそれが、献眼なんでしょうね。

大黒理事長：そうなんです。

一柳先生：地域に根差して地道にアイバンク運動しましょう。

大黒理事長：よろしくお願ひしたいと思います。今日は本当にどうもありがとうございました。



## 院内コーディネーター紹介

### 厚生連滑川病院

院長 南里 泰弘

院内コーディネーター 岩城 敏之

当院の、院内コーディネーターは1名が委嘱を受けており、自分自身は2年目となります。昨年は県内外で開催された院内コーディネーター連絡会に参加し、移植医療に関する知識や情報を得て、学びを深めさせていただきました。

そして、院内コーディネーターの活動として研修会や連絡会へ参加し、移植医療に関する最新の知識や情報など内容を会議等で報告したり、実際に院内で事例が発生した場合の手順作りや見直し、ポスター等を掲示し情報提供を行い、献眼のサポートに繋がるよう取り組んでいます。

まだまだ臓器移植に対する職員の意識が低く、自分自身も院内コーディネーターとして関わった献眼の事例はまだありませんが、その役割の重要性をひしひしと感じております。これからも臓器移植やアイバンク活動への理解や啓発に努めていきたいと思えます。そしてなにより、献眼という尊い意志決定をされた患者さんやご家族の意思を尊重し、より良い支援ができるよう努めたいと思えます。



#### ●院内コーディネーターについて

平成18年、臓器移植の円滑な推進を図るために、臓器移植に協力する医療機関において、医療従事者等に対する臓器移植の普及啓発及び臓器提供に関わる情報収集の業務を行う職員を、富山県臓器移植院内コーディネーターとして委嘱することにより、院内コーディネーターの役割を明確にして、その活動を促進することを目的として設置されました。県内には、22病院65名の方が県知事より委嘱を受けて活動しておられます。

## 院内コーディネーター紹介

### 射水市民病院

院長 麻野井 英次

外来師長 土屋 陽子

私は当院の院内コーディネーターを前任者から引き継いで3年目になります。当院では臓器提供は未だ前例がなく、私自身対応したことはありません。入院時のオリエンテーションでは意思表示の書類・臓器提供意思表示カードを持っておられるか確認していますが、その中でカードを持っていらっしゃる方にはまだ会えていません。



また職員への研修を行っていないため、どの臓器が提供可能なのか、提供するにはどのような連絡・手順が必要かということを職員に紹介していくことから始めなくてはいけないと思っています。そして職員一人ひとりが臓器提供への関心・知識を高め、希望があった場合には患者・家族の思いを大切にされた対応ができるようになりたいと思います。

実績はゼロの当院ですが、尊い意思を持っておられる患者・家族の思いを汲み取り、思いに添えるようコーディネーターとして活動していきたいと思っています。

#### ●院内コーディネーター設置病院

あさひ総合病院、黒部市民病院、富山労災病院、かみいち総合病院、厚生連滑川病院、富山県立中央病院、市立富山市民病院、富山通信病院、富山大学附属病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、八尾総合病院、射水市民病院、高岡市民病院、済生会高岡病院、高岡ふしき病院、厚生連高岡病院、金沢医科大学氷見市民病院、北陸中央病院、市立砺波総合病院、南砺市民病院、公立南砺中央病院

## 私とアイバンク

高岡アラートライオンズクラブ  
2016～2017年 会長 板野 吉秀

結構長いアイバンクとの係わり、それは、私がライオンズクラブに入ってまもなくの平成21年からのお付き合いでございます。

はじめは何の知識も無い中で、ライオンズの先輩から評議員会に行つて来いと言われ出させていただきました。

私の会社は、葬儀ホールを運営している会社でございます。

亡くられる方々、ご遺族の方々いろいろな出会いがございますが、なかなか、亡くられた方たちを前に献眼をお願いいたしますとは、言い出しにくいものでございます。

アイバンクが大事で非常に世間の役に立つ事業であることは、重々承知している私ではございますが、よくて、アイバンクに登録されておられませんかと、アンケートさせていただいているのが限界のようで、角膜を提供してもらえませんかと聞けるのは、よほど仲のいい友人の関連するご家庭ぐらいでございます。

それでも、つい先日、私の友人で、ご不幸があったときに、奥様に当人が献眼登録されておられたので、献眼されませんかとお伺いさせていただいたのですが、当人は病気で苦しんだんだから、そっとしてあげたいんだと、却下されてしまいました。

アイバンク自身の献眼率を高めるためには、もっと周りの方々のサポート、家族の理解が必要だと感じました。



## 献眼活動の取組み

新湊ライオンズクラブ  
2016～2017年 会長 笹谷 幸子

新湊ライオンズクラブでは、年2回、愛の献血運動を行っています。その際、来場者に献眼登録のパンフレットを配布してきました。果たして何人の方が興味を持ってこのパンフレットを読んで下さっているのだろうか。正しく理解して頂いているのだろうか。いつも気になっておりました。



それなら地域の方々に、アイバンクや献眼登録について正しい情報を提供する機会を、当クラブで設ければ良いのではと思い立ちました。

会長として、今期のメインアクティビティを「献眼登録者数の増強」と提案し、賛同頂き、メインアクティビティ実行委員会を発足しました。活動内容を3項目に構成しました。アクト1・献眼登録者数の増強を発信する当クラブメンバーの意識を高めるため、メンバーの登録率を上げる活動をしました。アクト2・「献眼登録の集い」を開催し、地域の方々に、アイバンクや献眼登録について正しい情報を提供する活動をしました。アクト3・企業や各種団体、サークルの集会へ当クラブから出向き、出前講座を行う活動をしました。いよいよ会員一丸となって勇往邁進です。

ここで、アクト2「献眼登録の集い」の内容についてもう少し説明いたします。会場は第一イン新湊の孔雀の間で開催しました。啓発用DVD「ヒ・カ・リ Relay of light」を観賞し、その後、富山県アイバンクコーディネーター入江真理氏が「あなたにもできます 光の贈りもの」と題しての講演をしました。とても解りやすく来場者の方々にアイバンクについてご理解頂くことが出来ました。休憩タイムには、ドリンク・お菓子コーナーでくつろいで頂き、最後は、アレマー玉井氏によるマジック&トークショーで楽しんで頂き、閉会しました。貴重な時間を割いてお越し下さった皆様に、感謝の気持ちを込めた粗品を進呈しました。何より一番心配されたどれだけの方々にお越し頂けるかということ、会員の人脈を駆使したり、ポスター貼りやチラシのポスティングをしました。情報誌にも折込みを入れました。また、入江コーディネーターに協力して頂き、射水ケーブルネットワークの番組でのPRも行いました。その甲斐あって、目標100名を大いに超え、盛況に終わることが出来ました。

アンケートでは「有意義だった。」「登録に向けて検討したい。」等々前向きな感想を頂き、更には、当日登録して頂いた方、後日郵送して頂いた方もおられ、開催して良かったと嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

今回のメインアクティビティ「献眼登録者数の増強」に携わって頂いた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成27年4月～平成28年3月

## ☆一般（個人）

石村 正男	100,000	永田 春子	5,000	谷野 克巳	3,000
松原百合子	90,000	野田 俊勝	5,000	田之下和美	3,000
伊勢 豊彦	56,000	堀 壽夫	5,000	筒井 町子	3,000
中村 邦子	50,000	高見 隆夫	4,000	出口テル子	3,000
川岸 敏子	30,000	浅尾ミサヲ	3,000	寺澤 和美	3,000
河島 早苗	30,000	朝倉 一美	3,000	寺島 文子	3,000
篠田 和男	30,000	跡治 幸子	3,000	土橋 政信	3,000
野村 謹	30,000	幾島かをる	3,000	中井 一子	3,000
吉田 隆	30,000	石黒 寛	3,000	中川 正吉	3,000
伊賀 肇	20,000	和泉 弘司	3,000	中川吏永子	3,000
豊田 耕一	20,000	稲場トシ子	3,000	中筋 國雄	3,000
畠山 志郎	20,000	稲村 栄勝	3,000	永瀬波津枝	3,000
中野 忠雄	15,000	上田精次・憲子	3,000	中西 広一	3,000
宮岸 武	15,000	上野ひかり	3,000	中保 昭	3,000
森 弘	15,000	内山満里子	3,000	中山のぶ子	3,000
匿名希望	15,000	大角智寿子	3,000	夏野 元志	3,000
老子 善康	13,000	岡部 昇栄	3,000	長谷川京子	3,000
匿名希望	13,000	奥村 豊明	3,000	浜川真理子	3,000
篠井 晴夫	10,000	鹿島うら子	3,000	林 とみい	3,000
稲垣 實均	10,000	片岡毅久雄	3,000	早勢 雅己	3,000
大浦 均	10,000	亀谷 隆子	3,000	久田 茂光	3,000
大間知雄三	10,000	河原 知昭	3,000	福井 博	3,000
笠島 眞	10,000	菊地 清	3,000	藤井 義成	3,000
作村佐智子	10,000	岸 一雄	3,000	堀 ヤエ子	3,000
佐藤 善政	10,000	北野 敏雄	3,000	町田スヰエ	3,000
武田 宏	10,000	木山 隆	3,000	松倉 義子	3,000
豊田 ふみ	10,000	窪田 一誠	3,000	港 勉	3,000
野村 健造	10,000	下条 省三	3,000	南 正子	3,000
松岡 秀子	10,000	駒野 松也	3,000	三村 幸一	3,000
向 喜栄	10,000	境 文江	3,000	宮島さだ子	3,000
村上 果	10,000	境 里子	3,000	室山 若子	3,000
山口 清	10,000	笹島 延元	3,000	元野 清光	3,000
藤巻 篤子	9,000	佐竹 幸江	3,000	門前 昌志	3,000
百澤千賀子	9,000	佐藤 瑞恵	3,000	矢木 義人	3,000
井上 政雄	6,000	佐野久美子	3,000	谷内口正孝	3,000
角谷 幸代	5,000	三田 和子	3,000	山崎 和子	3,000
黒川 哲男	5,000	篠崎 宣行	3,000	山本 辰男	3,000
小嵐恵美子	5,000	篠塚 征則	3,000	吉田 卓矢	3,000
真田 律子	5,000	下関 幸子	3,000	網 美保子	2,000
嶋作 恭子	5,000	須垣 純夫	3,000	今村 義和	1,000
炭谷 洋子	5,000	関口かおる	3,000	永森 良夫	1,000
竹田 市次	5,000	千龍義信・かな子	3,000		
梅野尾桂子	5,000	高木 和夫	3,000		

## ☆一般（法人・団体）

医療法人明世社白井病院	300,000	クリス音楽院	20,000
永栄会	100,000	株式会社いたの	10,000
ジャパンテクノフーズ株式会社	100,000	久保毅税理士事務所	10,000
株式会社北陸電設	100,000	株式会社クマキ	10,000
株式会社メガネハウス	50,000	有限会社しまだ	10,000
セントラルメディカル株式会社	30,000	富源商事株式会社	10,000
日商建材株式会社	30,000	とよだ眼科クリニック	10,000
株式会社オフィスケイ	20,000		

## ☆ライオンズクラブ関係

1R1ZC就任記念ゴルフ大会	110,268	上市ライオンズクラブ	100,000
1R1Zガバナー公式訪問	90,000	高岡伏木ライオンズクラブ	50,000
1R2ZC就任記念チャリティゴルフ大会	51,603	新湊ライオンズクラブ	60,000
1R2Zガバナー公式訪問	50,000	小杉ライオンズクラブ	100,000
2R2Zガバナー公式訪問	100,000	小杉ライオンズクラブチャーターナイト50周年記念チャリティゴルフ大会	70,000
2R3Zガバナー公式訪問	50,000	大門ライオンズクラブ	100,000
富山みなとライオンズクラブ	12,000	砺波ライオンズクラブ	150,000
富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000	となみセントラルライオンズクラブ	100,000
富山ちゅうりっぷライオンズクラブ	200,000		

## □賛助会員 平成27年4月～平成28年3月

### 個人会員

秋本 政亮	太田 茂	熊本 新一	高柳 昇	長田 雅子	藤記 尚子	山崎 昌弘
油本 茂	大田 妙子	黒崎 春久	竹本 福志	中村 孝子	藤塚由紀子	山崎 泰邦
石川 雅朗	大庭 知子	慶野 耕一	館 奈保子	波岡 一子	藤巻 篤子	山崎与四之
石崎 敬治	岡本 賢三	刑部 郁子	田中 良則	西野 義隆	保里真理子	山下 泉
石崎 由則	岡本 武勇	高縁 勲	谷川 悠	新田 正昭	本元 幸俊	山下 陽子
石田ひとみ	奥原喜代司	高縁 勉	谷口 正明	野崎 唯吉	松倉 正機	山本 明彦
市岡 義望	尾崎 誠	小坂 愛香	谷口 保孝	野尻津喜夫	松崎 孝治	吉崎 剛
一川 順彦	小沢 正康	小坂 章	土田 豊	野尻登美子	松本 憲治	吉崎 実
伊東 紀一	尾谷 秀雄	齊藤 周子	寺井 仁	能瀬 和雄	三井田一博	吉田 讓
伊藤 光雄	小津ゆかり	境 伸	寺崎 達二	野村 賢政	道原 英克	米田 健一
今村 知代	片山 寿夫	佐賀野昭一郎	東條 直貴	長谷川修博	宮腰 晃央	若森 征雄
入井 孝博	加藤 樹永	作村佐智子	富山 剛	畠山 明	宮野 高司	渡邊 一三
植田 芳樹	金井 澄子	佐近 肇	豊田 葉子	畠山 敏一	森 弘	綿屋 和美
梅田 清一	鎌谷 克彦	澤泉 弘	虎谷 武道	浜多 等志	森田 嘉樹	
浦野 孝一	上山 恵巳	篠田 和男	鳥崎 真人	林 篤志	八木 洋	
大浦 均	狩野 俊哉	清水 英子	鳥山 博	稗苗 清吉	屋根 慎二	
大江功一郎	川上 祐子	杉本喜久子	中川 忠昭	廣瀬 和夫	山尾 佳史	
大崎 利明	清河 高之	高岸 和男	中川 正人	廣瀬 利行	山口 清和	
大沢 範洋	清河 衛	高林 敏	長勢 知子	広野登志子	山崎 和子	

### 法人会員

#### ☆一般

株式会社岩黒製作所	平田眼科医院
株式会社押田建築設計事務所	株式会社広野
株式会社北日本工芸	株式会社藤井産業
久保毅税理士事務所	伏木海陸運送株式会社
株式会社黒東アメニティー公社	伏木貨物自動車株式会社
有限会社笹島商事	北陸エンジニアプラスチック株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	北陸バンドー株式会社
株式会社すがの印刷	有限会社北高運輸
株式会社セイアグリーシステム	株式会社マスイ
高瀬公認会計士事務所	有限会社舂谷解体工業
東光運輸株式会社	丸進商事株式会社
富源商事株式会社	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
株式会社富山県義肢製作所	株式会社丸八
富山スガキ株式会社	ミユキ化成株式会社
医療法人光ヶ丘病院	

#### ☆ライオンズクラブ関係

富山セントラルライオンズクラブ	滑川有恒ライオンズクラブ
富山昭和ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川ライオンズクラブ	

# 募金ありがとうございました。平成27年4月～平成28年3月

## ☆一般

高岡高校13回卒業同窓会	30,000
片山眼科医院	29,784
大城眼科医院	26,002
スナック彩	21,742
ますだ眼科医院	18,324
山崎眼科医院	16,472
にいかわ信用金庫	16,114
ほり眼科クリニック	13,441
ポプラ伏木古府店	11,477
ポプラ高岡泉ヶ丘店	10,980

高岡市民病院 売店	6,743
アラビア	6,614
サークルK高岡問屋センター店	5,600
おおがくクリニック	5,464
カレーハウス コロンブス	5,397
済生会富山病院 眼科外来	5,224
ポプラ戸出春日店	4,351
北陸バンドー株式会社	3,760
富山大学附属病院 眼科外来	3,566
公立南砺中央病院	253

## ☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ	17,326
滑川有恒ライオンズクラブ	35,000
高岡志貴野ライオンズクラブ	6,695

氷見ライオンズクラブ	13,000
小杉ライオンズクラブ	38,562



2015年5月20日新湊ライオンズクラブのチャリティパークゴルフ大会にてご寄附をいただきました。



2015年8月1日小杉商工フェアにて小杉ライオンズクラブ様より募金を頂きました。



2015年8月19日ライオンズクラブ2R2Zガバナー公式訪問にてご寄附を頂きました



2015年8月26日ライオンズクラブ2R3Zガバナー公式訪問にてご寄附を頂きました。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレットを2,000部印刷し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。  
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。

本年度の献眼登録者数は、256名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が29名あり、26名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	所在地
5月	60歳代	男性	富山市
	90歳代	女性	魚津市
6月	60歳代	女性	高岡市
7月	80歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	富山市
8月	60歳代	女性	黒部市
	80歳代	男性	富山市
	60歳代	男性	砺波市
	90歳代	女性	高岡市
	70歳代	女性	高岡市
9月	90歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	氷見市
	80歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	所在地
10月	70歳代	男性	高岡市
11月	70歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	滑川市
12月	90歳代	男性	入善町
	60歳代	男性	南砺市
	70歳代	女性	富山市
1月	80歳代	男性	富山市
2月	100歳代	女性	富山市
	50歳代	男性	南砺市
3月	40歳代	女性	富山市
	80歳代	男性	高岡市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、48名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、42名の方に強膜移植が行われた。

●10月22日、富山県庁特別室において、平成26年8月から平成27年9月までの献眼者35名に対して、厚生労働大臣感謝状伝達式を開催した。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3) 普及啓発事業

### ①医療従事者への啓発活動

- 院内移植コーディネーター連絡会に参加し、院内移植コーディネーターへの啓発活動を行った。
- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、高岡市民病院の院内移植委員会等に参加した。
- 啓発活動の一環として、赤十字富山病院、富山福祉短期大学において、グリーンケアとしてのエンゼルメイクと題して講演を行った。
- 市立砺波総合病院、済生会高岡病院、厚生連高岡病院、富山県立中央病院救命センター、高岡市民病院、富山医療専門学校において献眼啓発講演を行った。

### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で29回実施した。
- 啓発活動の一環としての講演を県内各地で15回実施した。

### (4)その他

第72回富山眼科集談会、第14回日本組織移植学会学術集会にて発表した。  
県内外の角膜移植に関する学会に参加した。

### 〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1)広報誌「アイバンクだより第21号」7,000部を発行し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。
- (2)眼の衛生に関する講演会として、富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かってステップ・ワン! 『13歳の学び』」にて講義を行った。
- (3)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。



# 公益財団法人富山県アイバンク 平成27年度収支計算書（損益）

平成27年4月1日～平成28年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	70,447	0	70,447
②特定資産運用益	5,618	0	5,618
③受取会費	837,000	0	837,000
④事業収益	11,680,000	0	11,680,000
角膜幹旋手数料	10,000,000	0	10,000,000
強膜幹旋手数料	1,680,000	0	1,680,000
⑤受取補助金等	3,750,000	1,000,000	4,750,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
郵政公社助成金収入	870,000	0	870,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	3,665,812	0	3,665,812
寄付金収入	3,313,921	0	3,313,921
募金収入	351,891	0	351,891
⑦県委託事業費収入	462,547	0	462,547
⑧日本アイバンク協会委託事業費収入	835,411	0	835,411
⑨雑収益	43,655	29,103	72,758
経常収益計	21,350,490	1,029,103	22,379,593
(2)経常費用			
事業費	18,887,549	0	18,887,549
①眼球のあっせん等に関する事業費	4,293,255	0	4,293,255
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,315,833	0	1,315,833
③公益事業共用費	11,461,426	0	11,461,426
④什器備品償却費	807,097	0	807,097
⑤県委託事業費支出	124,300	0	124,300
⑥日本アイバンク協会委託事業費支出	885,638	0	885,638

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
管理費	0	2,564,455	2,564,455
①諸給与支出	0	880,124	880,124
②会議費支出	0	806,882	806,882
③需用費支出	0	790,799	790,799
④退職給付費用	0	60,400	60,400
⑤什器備品償却費	0	26,250	26,250
経常費用計	18,887,549	2,564,455	21,452,004
評価損益調整前当期増減額	2,462,941	△ 1,535,352	927,589
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,462,941	△ 1,535,352	927,589
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,462,941	△ 1,535,352	927,589
一般正味財産期首残高			83,127,046
一般正味財産期末残高			84,054,635
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			84,054,635

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(平成27年7月13日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(平成28年6月20日現在)

理事42名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
副理事長	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
常務理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
常務理事 (事務局長)	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役
理事	岡本 武勇	一般社団法人富山県身体障害者福祉協会 会長
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	寺崎 達二	寺崎樹脂 代表
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長
理事	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
理事	藤巻 篤子	眼科医師
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	木村 正明	木村経営会計事務所 所長
理事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士磯野敏雄事務所 所長
理事	蔵堀 祐一	富山県 厚生部長
理事	上野 和博	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	狩野 俊哉	狩野眼科医院 院長 (富山県眼科医会 会長)
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	富山医療福祉専門学校 副学校長

役職	氏名	勤務先
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	山城 篤志	ジャパンテクノフーズ株式会社 代表取締役
理事	宮前 宏司	
理事	杉本 學重	株式会社西元サンクリーン 代表取締役
理事	藤田 整司	株式会社藤田銅器製作所 取締役会長
理事	延澤 泰明	ミュキ化成株式会社 代表取締役
理事	五島 辰夫	株式会社丸圓商店 代表取締役
理事	廣瀬 淳	株式会社公生社 代表取締役
理事	芝山 重憲	シバヤマ建設株式会社 代表取締役社長
理事	福田 義久	ラックプロ株式会社 代表取締役
理事	鋪田 博紀	シキダ不動産株式会社 専務取締役
理事	上田 和男	株式会社黒東アメニティ公社 代表取締役社長
理事	工藤 光也	
理事	高松 和宏	北日本フードサービス株式会社 代表取締役
理事	梅木 一隆	有限会社福野自工 代表取締役
理事	嶋 龍仁	有限会社ジェイシーパール 代表取締役社長
理事	栗山 雅明	株式会社クリヤマ 代表取締役
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

## 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成28年7月1日現在)

評議員37名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
押田 洋治	株式会社押田建築設計事務所 代表取締役社長	上野 基巳	株式会社イリス 代表取締役
渡邊 清隆	株式会社富山市場輸送 代表取締役	清河 衛	有限会社仁右衛門家 代表取締役
永川 武文	有限会社永栄商事 代表取締役社長	弓野 久和	大家庄農事組合 組合長
山崎 義明	株式会社山崎製作所 代表取締役社長	折橋 毅一	株式会社折橋政次郎商店 代表取締役
高田 重信	高田燃料店 (富山市議会議員)	若森 征雄	若森商店 代表
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役(県議会議員)	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
松岡 秀子	松岡ジャズバレエ研究所	焼田志図夫	やきた歯科医院 院長
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	山崎 正治	山崎木材株式会社 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	彦田 甚一	
谷川 弘	丸谷工業株式会社 取締役会長	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
牧野 吉成	阪神化成工業株式会社 生産管理係係長	三ノ宮芳和	株式会社三ノ宮燃料 代表取締役社長
中嶋 進	中島サイディング 代表	山崎 泰邦	社会福祉法人伏木会特別養護老人ホームふしき苑 施設長
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
島田 秀雄	阪神化成工業株式会社 監査役	米山 幸男	ワイケイホーム株式会社 代表取締役
上野 俊	株式会社上野文美堂 代表取締役	池田 善揮	株式会社廣昌堂 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	片山 孝志	片山工業株式会社 代表取締役
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	山崎 泉	株式会社山崎組 代表取締役社長
窪田 一誠	立山町議会議員	北岡 勝	公益財団法人富山県善意銀行 常任理事兼事務局長
渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役社長		

### — 広報委員会 —

委員長：牧 亨 副委員長：岡本 武勇

### — P R 部 —

部長：畠山 志郎

中尾 順一 山城 篤志 宮前 宏司 杉本 學重 筏井 晴夫 工藤 光也 高松 和宏

### 編集後記

今回の表紙は「アイバンク事業=光をとどける仲人」と考え、光をキーワードとした。従前は明るい色調の表紙が多かったが今度は一転して闇夜にうかぶ滑川海岸のホタルイカを取り上げた。ホタルイカの光は単体では儂いが群生では華麗な光のページェントとなる。

アイバンクの献眼活動もライオンズクラブ主体の一灯から、県民をまきこんだ万灯となり、待機者ゼロとなることをめざしたい。

広報委員 筏井晴夫 (高岡フラワーLC所属)



**富山県アイバンクだより**

第22号・平成29年1月●日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630  
TEL (076)434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れた後にエンゼルメイクを施しますのでおだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

# 「光」の贈りもの

献眼で あなたにもできます



富山県提供：第68回全国植樹祭とやま2017／式典会場 魚津桃山運動公園（魚津市）

TOYAMA  
**eye**  
EYE BANK

第23号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成28年4月から平成29年3月まで

平成28年

4月 鈴木 昭則 様 高岡市  
4月 匿名 希望 氷見市  
5月 匿名 希望 氷見市  
7月 福田 徳司 様 氷見市  
7月 匿名 希望 高岡市  
8月 御器谷多子 様 富山市  
8月 匿名 希望 富山市  
8月 玉井 行夫 様 富山市  
8月 斉藤 忠信 様 富山市  
9月 島田美津子 様 黒部市  
10月 柳沢須実恵 様 射水市  
10月 匿名 希望 上市町  
10月 常木千穂子 様 南砺市  
11月 二上登士春 様 射水市  
11月 匿名 希望 群馬県

11月 大久保秀雄 様 富山市  
11月 小澤 高枝 様 高岡市  
11月 大浦 啓子 様 富山市  
12月 堀田 輝人 様 上市町  
12月 浦 春子 様 射水市  
12月 匿名 希望 高岡市  
12月 匿名 希望 富山市  
12月 匿名 希望 富山市  
12月 木下とみ子 様 高岡市  
12月 吉崎 昭子 様 魚津市

平成29年

2月 匿名 希望 富山市  
3月 匿名 希望 富山市  
3月 飯田 和夫 様 砺波市  
3月 西浦 義松 様 魚津市  
3月 秋山真佐代 様 富山市

—謹んで哀悼の意を表します—



# お父さんありがとう

福田 靖子

本人、孝義さんは50代から独学で竹細工を始め、図書館で本を借りたり、旅行で見掛けた作品を写真に撮ったりして研究を重ね、定年後本格的に取り組む、花入れや壁飾りオブジェなど創作の幅を広げ、平成23年1月に「夫婦展」を地元公民館で開きました。また、家の近くにある密蔵寺の鐘つき堂へ毎日朝6時に「ゴーン」「ゴーン」



夫婦展（平成23年1月）

とならし、雨の日も雪の日も10年余り、毎日続けました。口かずも少なく温厚で、しんの強い性格であったと思います。私も大門ライオンズクラブのお世話をさせていただき、ライオンズの偉大な奉仕活動に感銘し、私達夫婦も昭和58年10月に献眼登録を富山県アイバンクの方へさせていただいておりました。今回家族の同意もあり、すぐに確認し病院にて提供、「水疱性角膜症」という角膜内に水分が溜まりむくんでしまう病気の男性の方に無事に角膜移植手術が執り行われ経過も良好との事、本当に涙があふれて、「お父さんありがとう、良かったネ！」と手を合わせました。



花束頂く

夜、晴れてすみきった夜空を見上げ「お父さんありがとう」と感謝し、その方も同じく、星空、月を見ておられる事を願っております。まず「勇気を持って実行し一人でも、この世に役にたつ事を。」

結びになりましたが、富山県アイバンク、ライオンズクラブ会員の多くの方々に、大へんお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

## 当クラブの献眼活動への取り組み

黒部ライオンズクラブ  
2016～2017年 会長 松田 憲昌

毎年10月の体育の日、市総合公園を舞台に開催されるスポーツイベント「エブリバディスポーツデー」、その会場において、2002年から「骨髄バンク、アイバンクのドナー登録会と献血」を継続事業として行っています。その間の献眼ドナー登録者数は約100名です。また当クラブのメンバー又は親族の献眼者数は1990年頃からの累積で24名を数えます。また当クラブの現在の献眼登録者率は75%で平均より少し



多いと思います。献眼は人生最後の社会奉仕であり、崇高な無償の愛ともいえる行いで、私の母も約3年前に献眼させて頂きました。部屋には写真とアイバンクからの感謝状が掲げられています。母の一生に付き合ってくれた角膜が一旦役目を終えて、また新たな二人の方の光になったと思うととても誇りに思います。世界のライオンズクラブもヘレン・ケラー女史が第3回の世界大会で語った「闇夜を切り開く、盲人の騎士となれ」という訴えに由来する、「視力保護、失明予防活動」に取り組んでいます。当クラブとしても今後もより一層献眼活動への取り組みを継続発展させていく事が大切であり、大義であると心得ます。



## アイバンク登録の活動に寄せて

高岡南ライオンズクラブ  
田邊ゆかり

私がアイバンク登録を知ったのは、ライオンズクラブへの加入がきっかけでした。献血については街中での呼びかけをよく耳にしたりはしてもアイバンク登録は、耳なじみがほとんどありませんでした。しかし、アイバンク登録の活動が、毎年、年間を通してのライオンズの活動の柱の一つとなっていたので、入江コーディネーターのお話を何度か聞かせて頂く中で、私も少しずつ理解が深まっていきました。

そして今年、西田先生ご自身の体験談をお聞きする機会がございました。眼科医として亡くなられ、献眼を強く希望された奥様の想い、遺族としての迷いの中で、奥様の気持ちを尊重し献眼を決意された想い、またアイバンク登録献眼推進を目的に作られたビデオでも様々な立場での葛藤や想いが深く心に残り、今は少しでも多くの方々にアイバンク登録への呼び掛けを心掛けています。私の仕事の関係者の皆さん、またライオンズのメンバーの一人が、地域高齢者のお世話をしている関係で集会に入江コーディネーターを講師にお招きしてお話を聞いてもらったりして、理解を深めて頂いております。残念な事に、ここ数年は登録者数が減少している事、実際の献眼者数はまだまだ本当に少ないのが現状です。アイバンク登録が献眼への第一歩だと思いますので微力ではありますが、これからも地道な活動をして少しでも多くの方に呼び掛けていきたいと思っております。



公益財団法人 富山県アイバンク  
設立25周年記念大会

献眼で あなたにもできます  
「光」の贈りもの

# 板東英二 記念講演

入場  
無料



《演題》

## 「板東英二の がむしゃら人生」

日時 平成 29年 **10月15日(日)** ■開場 13:30

会場 富山県民会館

■第一部／記念式典 14:00～15:40

■第二部／記念講演 15:55～17:30

■主催／公益財団法人 富山県アイバンク

■共催／ライオンズクラブ国際協会334-D地区

■後援／富山県、富山市、日本アイバンク協会、富山県医師会、富山県眼科医会、富山県善意銀行、富山県社会福祉協議会、日本赤十字社富山県支部、富山県看護協会、富山県介護福祉協会、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞社、朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、富山放送局、富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま、ケーブルテレビとやま、ラジオたかおか、富山シティエフエム

【講師プロフィール】

生年月日 昭和15年4月5日（1940年）

出身地 旧海州国

出身校 徳島県立徳島商業高等学校

高校時代 昭和33年 夏の甲子園、第40回記念大会準優勝投手  
準々決勝、対魚津高戦（延長18回引分け翌日  
再試合）板東VS村橋  
当大会奪三振83個（現在も記録）

プロ野球 昭和34年 中日ドラゴンズ入団（11年間に在籍435試合）  
77勝65敗 防御率2.89 オールスター出場3回

現在まで 昭和45年～ 中部日本放送（CBC）野球解説者  
昭和56年～ サンケイスポーツ新聞 野球評論家  
昭和63年～ 毎日放送（MBS）野球解説者

東宝映画「あ・うん」にて下記賞受賞

平成1年 日刊スポーツ映画大賞助演男優賞

平成2年 ブルーリボン最優秀助演男優賞

平成2年 第13回 日本アカデミー賞最優秀助演男優賞

【著書】

プロ野球 知らなきゃ損する（青春出版社）

「赤い手」・「赤い手 ～運命の岐路～」（青山出版社）

天然板東英二のゆでたまご伝説（ワニブックス）

板東英二の生前葬 最期のありがとう（双葉社） 他14冊出版

TOYAMA  
eye  
EYE BANK  
公益財団法人  
富山県アイバンク  
〒930-0194 富山市杉谷2630番地  
TEL076-434-5710 FAX076-436-0146

## 院内コーディネーターとの連携・啓発活動のご紹介

### 一般啓発活動



金沢医科大学氷見市民病院・親子ふれあい医療フェスティバルにて啓発活動



南砺中央病院・看護の日啓発活動

### 医療機関での啓発活動



富山県立中央病院における献眼に関する講演



高岡ふしき病院における献眼に関する講演

### ●院内コーディネーターについて

平成18年、臓器移植の円滑な推進を図るために、臓器移植に協力する医療機関において、医療従事者等に対する臓器移植の普及啓発及び臓器提供に関わる情報収集の業務を行う職員を、富山県臓器移植院内コーディネーターとして委嘱することにより、院内コーディネーターの役割を明確にして、その活動を促進することを目的として設置されました。県内には、22病院64名の方が県知事より委嘱を受けて活動しておられます。

アイバンクではこれらの院内コーディネーターと連携を取り、献眼を希望される患者様の意思を尊重できるよう院内研修会や啓発活動を行っています。

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成28年4月～平成29年3月

## ☆一般（個人）

高田 眞	501,500	門前 昌志	3,000	寺澤 和美	3,000
高瀬 清春	110,000	宮本 光明	3,000	寺島 文子	3,000
伊勢 豊彦	66,500	澤田 壽朗	3,000	飛田 茂代	3,000
屋根 慎二	36,000	久田 茂光	3,000	中井 一子	3,000
野村 謹吉	30,000	浅尾ミサヲ	3,000	中川 正吉	3,000
新井 耕喜	20,000	朝倉 一美	3,000	中川 吏永子	3,000
豊田 耕一	20,000	跡治 幸子	3,000	中西 広一	3,000
宮岸 武	10,000	荒木 昭則	3,000	浜川 眞理子	3,000
村上 果	10,000	幾島かをる	3,000	林 朝夫	3,000
畠山 志郎	10,000	石黒 寛	3,000	早勢 雅己	3,000
伊賀 肇	10,000	石山 金司	3,000	廣瀬 静子	3,000
松岡 秀子	10,000	稲場トシ子	3,000	藤村 清孝	3,000
林 巖	10,000	稲村 栄勝	3,000	藤村 睦子	3,000
舛谷 専一	10,000	上田精弑・憲子	3,000	堀 源郎	3,000
大浦 均	10,000	上田 雄一	3,000	町田スゞエ	3,000
筏井 晴夫	10,000	大嶋 淳子	3,000	松倉 義子	3,000
桜井 巖	10,000	鹿島うら子	3,000	松島 重雄	3,000
小森ヒサ子	10,000	菊地 清	3,000	南 正子	3,000
武田 宏	10,000	北野 敏雄	3,000	三村 幸一	3,000
藤巻 篤子	9,000	久々湊公美	3,000	宮島さだ子	3,000
百澤千賀子	9,000	駒野 松也	3,000	室山 若子	3,000
内山 照子	6,000	境 里子	3,000	目澤 益子	3,000
島崎 君枝	6,000	櫻井 恵子	3,000	元野 清光	3,000
福呂道隆・况子	6,000	篠塚 征則	3,000	矢木 義人	3,000
吉田 幸子	6,000	杉岡 洋子	3,000	山田 和枝	3,000
内和泉 弘司	5,000	関師 真弓	3,000	山本 清	3,000
堀 壽夫	5,000	関口かおる	3,000	和田 享子	3,000
石崎 瑞子	5,000	千龍義信・かな子	3,000	高見 隆夫	2,000
佐竹 幸江	5,000	高林 咲子	3,000	荒井 清勝	2,000
真田 律子	5,000	武田 慎一	3,000	飯野 茂昭	2,000
専光 秀雄	5,000	竹部 俊恵	3,000	角井 敬子	2,000
一刎 幸子	5,000	谷野 克巳	3,000	長田 雄志	2,000
永森 良夫	5,000	田之下和美	3,000	二上 功	2,000
松井 優子	5,000	出口テル子	3,000	久々湊 藍	1,000

## ☆一般（法人・団体）

医療法人明世社白井病院	200,000	株式会社いたの	10,000
株式会社北陸電設	200,000	株式会社松田自動車	10,000
株式会社マルチョウ神戸屋	100,000	有限会社福野自工	10,000
株式会社永森建設工業（永栄会）	100,000	中日本電産株式会社	5,000
株式会社メガネハウス	50,000	有限会社サトー企画	5,000
株式会社オフィスケイ	40,000	北信運輸株式会社	5,000
旧制富山高等学校尋常科最終回生 夏雲会	33,908	有限会社サイキ機工	3,000
三和器械株式会社	30,000	エスデン上袋店	2,000
日商建材株式会社	30,000	株式会社ミツノ広告	2,000
有限会社永栄商事	20,000	ユタカ電設株式会社	2,000
有限会社しまだ	10,000	コスモ・ハウス	2,000
柴田医院	10,000	有限会社伸栄総業	2,000
たかた眼科	10,000	ロータリー富山販売株式会社	2,000
サンユウセキュリティ株式会社	10,000	秋北いきいきサロン	1,000

## ☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ奉仕銀行	2,500,000	富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000
1R2Zガバナー公式訪問	100,000	富山平成ライオンズクラブ	100,000
2R2Zガバナー公式訪問	100,000	大山ライオンズクラブ	30,000
2R3Zガバナー公式訪問	50,000	富山西ライオンズクラブ	50,000
福田義久1R1ZC就任記念ゴルフ大会	91,000	黒部ライオンズクラブ	100,000
1R2ZC就任記念チャリティゴルフ大会	100,000	高岡フラワーライオンズクラブ	100,000
富山ライオンズクラブ	100,000	氷見ライオンズクラブ	241,000
富山みなとライオンズクラブ	14,000	砺波ライオンズクラブ	10,000

□賛助会員 平成28年4月～平成29年3月

個人会員

秋本 政亮	大江功一郎	川口 秀春	篠田 和男	虎谷 武道	濱多 等志	宮島 清
油本 茂	大口 繁敏	河原 知昭	島田 一三	鳥崎 真人	林 篤志	宮野 高司
新多 勇人	大崎 利明	北中 茂	清水 孝篤	鳥山 博	稗苗 清吉	村椿 晃
有原 裕之	大沢 範洋	刑部 郁子	清水 英子	長岡 貴啓	平井 聡	森 敏明
飯村 達志	太田 茂	清河 高之	杉本喜久子	中川 伸一	廣瀬 和夫	森 弘
五十嵐 淳	大田 妙子	清河 衛	高岸 和男	永川 武文	廣瀬 利行	森田 嘉樹
位寄 正司	大庭 知子	串田 正二	高林 敏	中川 正人	藤記 尚子	柳瀬 晴康
石川 勝康	大橋 文緒	熊本 新一	高柳 昇	長勢 知子	藤塚由紀子	山尾 佳史
石川 雅朗	岡田 幸光	黒崎 春久	竹本 毅	長田 雅子	藤巻 篤子	柳 重夫
石崎 敬治	岡本 武勇	慶野 耕一	竹本 福志	中村 孝子	保里真理子	山崎 和子
石崎 由則	奥原喜代司	高縁 勲	舘 奈保子	波岡 一子	本元 幸俊	山崎 泰邦
石田ひとみ	尾崎 誠	高縁 勉	辰本 隆俊	西野 義隆	政二 好治	山崎与四之
一川 順彦	小沢 正康	小坂 愛香	田中 良則	新田 正昭	増井 修	山下 泉
伊東 紀一	尾谷 秀雄	小坂 章	谷川 悠	布村 芳嗣	町田スヰエ	山下 陽子
伊藤 光雄	小津ゆかり	齋藤 秀峰	谷口 正明	野崎 唯吉	松木 伸浩	山本 明彦
今井 幹雄	片口 尚志	齊藤 譲一	谷口 保孝	野尻津喜夫	松倉 正機	山森 峰克
今村 知代	片山 寿夫	齊藤 周子	土田 豊	野尻登美子	松崎 孝治	吉崎 清則
入井 孝博	加藤 樹永	境 伸	寺井 仁	能瀬 和雄	松下 栄信	吉崎 剛
植田 芳樹	金井 澄子	佐賀野昭一郎	寺崎 達二	野村 賢政	松本 憲治	吉崎 実
内野 忠	鎌谷 克彦	作村佐智子	東條 直貴	橋本 荘八	三井田一博	吉田 讓
梅田 清一	上山 恵巳	佐近 肇	戸澤 秀行	長谷川修博	水野 敏博	若森 征雄
浦野 孝一	狩野 俊哉	澤飯 公臣	富山 剛	畠山 明	道原 英克	渡邊 一三
大浦 均	川上 祐子	澤泉 弘	豊田 葉子	畠山 敏一	宮腰 晃央	綿屋 和美

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所	平田眼科医院
株式会社押田建築設計事務所	株式会社広野
株式会社北日本工芸	富源商事株式会社
久保毅税理士事務所	株式会社藤井産業
株式会社黒東アメニティー公社	伏木海陸運送株式会社
有限会社笹島商事	伏木貨物自動車株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	北陸バンドー株式会社
富山スガキ株式会社	北陸エンジニアプラスチック株式会社
株式会社すがの印刷	有限会社北高運輸
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舂谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
東光運輸株式会社	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
株式会社富山県義肢製作所	株式会社丸八
医療法人光ヶ丘病院	ミユキ化成株式会社

☆ライオンズクラブ関係

富山セントラルライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ	

## 募金ありがとうございました。平成28年4月～平成29年3月

### ☆一般

片山眼科医院	43,535	オレンジマート パピ店	6,516
斉藤眼科医院	30,998	フェルヴェール	4,679
ポプラ高岡泉ヶ丘店	24,061	カレーハウス コロンブス	3,945
ますだ眼科医院	22,132	美濃屋	3,548
ポプラ戸出春日店	11,184	笑顔・感動フェスタ2016実行委員会	2,799
富山第一ホテル	7,286	宮岸株式会社富山支店	2,669

### ☆ライオンズクラブ関係

小杉ライオンズクラブ	53,910	高岡志貴野ライオンズクラブ	24,674
富山セントラルライオンズクラブ	50,000	入善ライオンズクラブ	12,643



## アイバンクとライオンズのかかわりについて

人の脳に伝わる外部情報の85%前後は視覚を通してです。したがって視覚障害があると人が生活する上では大変な困難を伴う為、献眼に依る角膜提供で視力が回復することは大変大きな意義があります。

1925年ライオンズクラブ国際大会での盲ろう者のヘレン・ケラー女史による盲人への協力要請の訴えから、1944年米国で第1号のアイバンクが設立された。戦後の1956年アイバンクの無い日本では盲人を救えないとの実例が、米軍属を通してリッチモンドのライオンズクラブに伝わり、これを聞いた日本のライオンズクラブは日本のことは日本人でと活動を始め、献眼活動と深く係わり、各地のアイバンクの設立母体となりました。富山県では当初は富山県善意銀行内に眼球預託口座として設けられましたが、1991年県内ライオンズクラブのアイバンク設立運動と資金の供出で国内46番目のアイバンクとして富山大学医学部内に事務所を置き、発足しました。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレットを5,000部印刷し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。  
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。  
本年度の献眼登録者数は、188名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が39名あり、30名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	居住地
4月	80歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	氷見市
5月	60歳代	男性	氷見市
7月	80歳代	男性	氷見市
	60歳代	女性	高岡市
8月	60歳代	女性	富山市
	70歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
9月	70歳代	女性	黒部市
10月	80歳代	女性	射水市
	80歳代	女性	上市町
	60歳代	女性	南砺市
11月	60歳代	男性	射水市
	80歳代	女性	県外

献眼月	年齢	性別	居住地
	80歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	県外
	80歳代	女性	高岡市
	60歳代	女性	富山市
12月	30歳代	男性	上市町
	90歳代	女性	射水市
	70歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	富山市
	60歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	魚津市
2月	40歳代	男性	富山市
3月	80歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	南砺市
	80歳代	男性	魚津市
	70歳代	女性	富山市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、61名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、63名の方に強膜移植が行われた。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3)普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、高岡市民病院の院内移植委員会等に参加した。
- 啓発活動の一環としてJCHO高岡ふしき病院、高岡市民病院、かみいち総合病院、富山県立中央病院、南砺市民病院、富山赤十字病院において献眼啓発講演を行った。

#### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で14回実施した。
- 依頼を受けて県内各地で5回実施した。

### (4)その他

第74回富山眼科集談会にてミニ発表した。

第15回日本組織移植学会学術集会にて発表した。

県内外の角膜移植に関する学会・セミナー等に参加した。

### 〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)広報誌「アイバンクだより第22号」7,000部を発行し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

(2)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(3)眼の衛生に関する講演会として、富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かってステップ・ワン! 『13歳の学び』」にて講義を行った。

寄附金を頂いた個人・団体などへ感謝状を伝達した。

- 富山大学附属病院羊膜ドナーに対するインフォームド・コンセントに10回立会った。
- 日本アイバンク協会の献眼登録確認フォローアップ委託事業として、献眼登録者5,000名に献眼登録確認書類を送付した。
- サポーター講習会を実施した。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成28年度収支計算書（損益）

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	22,795	0	22,795
②特定資産運用益	2,933	0	2,933
③受取会費	1,025,000	0	1,025,000
④事業収益	15,000,000	0	15,000,000
角膜幹旋手数料	12,400,000	0	12,400,000
強膜幹旋手数料	2,600,000	0	2,600,000
⑤受取補助金等	2,880,000	1,000,000	3,880,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	3,642,487	0	3,642,487
寄付金収入	3,337,908	0	3,337,908
募金収入	304,579	0	304,579
⑦日本アイバンク協会委託事業費収入	661,232	0	661,232
⑧雑収益	114,265	76,176	190,441
経常収益計	23,348,712	1,076,176	24,424,888
(2)経常費用			
事業費	19,874,401	0	19,874,401
①眼球のあっせん等に関する事業費	3,973,165	0	3,973,165
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,227,043	0	1,227,043
③公益事業共用費	12,912,144	0	12,912,144
④什器備品償却費	890,860	0	890,860
⑤日本アイバンク協会委託事業費支出	871,189	0	871,189
管理費	0	2,564,909	2,564,909
①諸給与支出	0	971,071	971,071
②会議費支出	0	753,867	753,867
③需用費支出	0	780,181	780,181

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
④退職給付費用	0	59,790	59,790
⑤什器備品償却費	0	0	0
経常費用計	19,874,401	2,564,909	22,439,310
評価損益調整前当期増減額	3,474,311	△1,488,733	1,985,578
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,474,311	△1,488,733	1,985,578
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,474,311	△1,488,733	1,985,578
一般正味財産期首残高			84,054,635
一般正味財産期末残高			86,040,213
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			86,040,213

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(平成29年7月10日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(平成29年7月10日現在)

理事40名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイヤグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	寺崎 達二	寺崎樹脂 代表
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	前田 彰久	富山県 厚生部長
理事	車 司	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	狩野 俊哉	狩野眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長

役職	氏名	勤務先
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	福田 義久	ラックプロ株式会社 代表取締役会長
理事	鋪田 博紀	シキダ不動産株式会社 専務取締役
理事	上田 和男	株式会社黒東アメニティ公社 代表取締役社長
理事	高松 和宏	北日本フードサービス株式会社 代表取締役
理事	梅木 一隆	有限会社福野自工 代表取締役
理事	栗山 雅明	株式会社クリヤマ 代表取締役
理事	高見 隆夫	高見後援会事務所
理事	豊岡 正	株式会社プラテックス 代表取締役
理事	小川 慶二	株式会社小川板金工業 代表取締役
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役
理事	山田 真功	平和交通株式会社 代表取締役社長
理事	山崎 泉	株式会社山崎組 代表取締役
理事	中嶋 進	中島サイディング 代表
理事	池田 善揮	株式会社廣昌堂 代表取締役
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

# 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成29年6月26日現在)

評議員37名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
泉野 正人	株式会社泉野地所 代表取締役	渡辺 誠治	有限会社わたなべ電装 代表取締役社長
高松 丈志	株式会社高松機板製作所 代表取締役会長	清河 衛	有限会社仁右衛門家 代表取締役
内野 忠	株式会社北越 代表取締役社長	弓野 久和	大家庄農事生産組合 組合長
木村 貴之	有限会社エイキ 代表取締役	森田 誠一	株式会社森田木工所 代表取締役
高田 重信	富山市議会議員	若森 征雄	若森商店 代表
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
松岡 秀子	松岡ジャズバレエ研究所	田邊ゆかり	株式会社エイアイエスコポーレーション 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	車 啓三	クルマ商事株式会社 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	工藤 光也	
小山 登	有限会社南大門 代表取締役	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
岡本 葉子	有限会社プロハート 代表取締役	飯田 和男	有限会社ミナト 代表取締役
山口 勝康	株式会社CSM 代表取締役	新多 勇人	優トラベルクラブ 代表
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
石坂 昭	株式会社インサカ地所 代表取締役会長	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
毛利 功	株式会社毛利園芸 代表取締役	堀 正	
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	片山 和行	株式会社北越 代表取締役社長
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	石黒 稔	有限会社ミヤコ 代表取締役
橋本 篤	橋本事務所 代表(所長)	長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 事務局長
渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役社長		

## — 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

## — P R 部 —

部長：畠山 志郎

中尾 順一 福田 義久 鋪田 博紀 上田 和男 高松 和宏 梅木 一隆

## 編集後記

今回の表紙は本年度、魚津市で開催された第68回全国植樹祭の会場写真です。

青い空に浮かぶ白い雲、とりどりに咲き競う草花、美しい緑の芝や森。「光の贈りもの」として角膜移植で視力を取り戻された方々と一緒に眺めたい光景です。

本文では寄付・募金報告の後に、ヘレン・ケラー女史とライオンズ、そしてアイバンクとの関係を記載しました。富山県アイバンクが設立されてから25年。献眼登録者が当初の年間1000人台から、今は200人前後へと推移しています。またアイバンクの活動資金の半分は各種団体や企業、個人からの寄付金と募金から成り立っており、設立母体と活動の主力もライオンズであることを再認識していただく為です。

広報委員 畠山志郎(●●●●LC所属)



富山県アイバンクだより

第23号・平成29年10月1日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

TEL (076)434-5710

発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れた後にエンゼルメイクを施しますのでおだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

# 「光」の贈りもの

献眼で あなたにもできます



富山のチューリップ畑（朝日町）



第24号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成29年4月から平成30年3月まで

## 平成29年

4月 匿名希望 富山市  
4月 藤井真由美様 富山市  
4月 佐藤善政様 富山市  
4月 谷和子様 魚津市  
4月 松井紫乃様 富山市  
5月 福田孝義様 射水市  
5月 上野茂様 魚津市  
6月 米田卓矢様 富山市  
7月 匿名希望 富山市  
7月 浅野紀夫様 富山市  
8月 匿名希望 高岡市  
8月 飯島美砂乃様 富山市  
8月 若井須美子様 高岡市  
8月 南部尚次様 南砺市  
8月 富樫まさ様 富山市  
9月 椎名正保様 上市町  
9月 野澤やよえ様 入善町  
9月 須田庸二郎様 高岡市  
10月 棚田正行様 氷見市

10月 西田敏夫様 富山市  
10月 五十嵐悦雄様 富山市  
11月 米澤和子様 高岡市  
11月 毛利勇様 富山市  
11月 佐竹勝也様 砺波市  
11月 山森サツ子様 富山市  
12月 坂東良雄様 入善町  
12月 匿名希望 富山市  
12月 桶屋賢二様 黒部市  
12月 中道外茂男様 射水市  
12月 匿名希望 富山市

## 平成30年

1月 岩城俊平様 富山市  
1月 筏井シヅ様 高岡市  
2月 匿名希望 富山市  
2月 高山悦子様 富山市  
3月 匿名希望 高岡市  
3月 大場陸子様 射水市  
3月 高橋章様 高岡市  
3月 匿名希望 砺波市

—謹んで哀悼の意を表します—

## 厚生労働大臣感謝状伝達式

10月23日（火）、県庁特別室において献眼いただきました皆様に厚生労働大臣からの感謝状を伝達させていただきました。



# 一燈から万燈へ

筏井 晴夫



子供・ひ孫にかこまれて

母は本年1月にくも膜下出血で100歳を目前に卒然と旅だった。

その日はデイサービスから帰宅したあと、家族と会話後自室で休んでいた。夕食の声を掛けると返事が無く、見に行くと様子がおかしく、看護師をしている娘が「すぐ救急車を呼んだ方が良い」と手配してくれた。

病院には狭心症と腹部動脈瘤の持病があることと、本人を含め

て家族全員が延命措置を望まないことが合意形成されている旨をつげた。母は夫を難病で長期療養のすえ亡くしており、その時病理解剖に同意し、また自分も献体登録し「しらゆり会」総会にも2～3回出席していた。

ずいぶん前に富山大学から献体の意思再確認書類が届いた際に「長いこと待ったけどあの世からお呼びがかからないし、こんな婆さんじゃ役にも立たないだろう」と言って献体を辞退する返事をだした。

今回、母との別れに直面し一時は献体に同意していた経緯もあり、家族の心の負担の軽い献眼をすることにし、院内コーディネーターを通じてアイバンクに連絡してもらい手続きを進めた。後日角膜は綺麗で2人の方に移植され再び光を取りもどされたとの連絡を受けた。

母の献眼が一燈となり、県内に献眼の万燈がともれば遺族として望外の喜びである。



## 献眼者 野澤やよえの思い出

野澤 喜一

母は私達7人の子育てで朝早くから働く姿が目浮かびます。母は神仏を敬う人で日常、南無阿弥陀仏と良く聞きました。母は少ない金額ですが人の役に、いろんな事に募金などしました。母は病気などほとんどせず、いろんな事を学びました。

大寒や 耐えて100歳 母の笑み

喜一の句・母を読んだ句

百歳の 母の念佛 梅雨晴るる

喜一の句・母を読んだ句

献眼のきっかけは私の同級生の長田雅子さんの母が献眼され人のお役に立った事を聞き、母は95歳でしたが私の角膜がお役に立つならと、私と2人で富山県アイバンクに登録しました。母は105歳で家のベッドの上で私と妻の目の前で近くのお医者さんに来ていただき永眠と診断されすぐにアイバンクに電話すると1時間くらいで若い医師が来られ1時間で角膜の摘出が終わりました。

母が逝ってはや1年が経ちました。厚生労働大臣より感謝状の伝達が有り、母の位牌に人のお役に立ちましたと報告しました。

母の角膜 世に役立ちて 彼岸花

喜一の句・母を読んだ句



移植者の手記

## 再び孫の顔が見れる喜び

50歳代 女性

左角膜をご提供下さったドナー様、理解あるご家族の皆様、あたたかな光をあたえてくださり心より感謝いたします。ありがとうございました。

5年におよぶ長い年月をどのようなお気持ちでいらした事か私の浅はかさを悔いています。一言のお礼も伝えずにいた事を悔いています。

今でも目を開けた瞬間をはっきり覚えています。赤、青、黄色、さまざまな色がこんなにきれいなんだと日の光がこんなに明るいのだと。左の角膜手術において先生も驚く早さで回復に向かいメガネ、コンタクト等が必要ない程です。これも、やさしさにあふれた皆様のお心です。これからは、故人様と私、二人で共に四季を感じ、風を感じ、笑い、時には涙し、精一杯生きようと思います。孫達は、ばあばの目が直って良かったね。ばあばの事大好きだから、ばあばにおめめをくれた人も大好きだよって言ってくれます。私も今できる事で少しでも人様のお力になれる事があればお手伝いさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。心からありがとうございました。故人様のご冥福をお祈りいたします。いっしょに日本海の海を見に行ってきます。



移植者の手記

## 視力回復に感謝を込めて

女性

角膜の病気で移植しか治療の道がないといわれ、うすれゆく視力と痛みに不安な日々をすごしていました。思いがけず手術の機会に恵まれ術後のトラブルもなく、痛みもとれ、数ヶ月後には視力も回復していく見込みです。今、あらためて献眼して下さったお方に感謝してもしきれぬ思いと、それをお許し下さった御家族の皆様のお気持ちを思うとき、この感謝の気持ちをどうお伝えすればよいのかわかりません。ほんとうにありがとうございました。頂いた尊いお気持ちを大切に、少しでも人のお役にたてるよう生きてまいります。ありがとうございました。

## 献眼啓蒙活動における 富山ライオンズクラブの取り組み

富山ライオンズクラブ  
会長 河上 真弥

富山ライオンズクラブの取り組みと致しましては、これまで例会において、富山県アイバンクの入江コーディネーターに講師として来訪いただき、アイバンク活動に関する現状や今後の課題について説明していただいたり、滝沢秀明さんが出演したアイバンク活動啓蒙用DVD「ヒ・カ・リ」を上映するなどして、メンバーの意識向上に取り組んできました。

最近では、今から37年前に富山ライオンズクラブが富山城址公園に建立した「盲導犬顕彰の像」を再度蘇らせようと設置した解説用銘板の中にも、県内のライオンズクラブが取り組む献眼活動について記載し、多くの市民や観光客の目に触れています。

また、富山ライオンズクラブでは、来年の4月6日に花見客とチンドンコンクールで賑わう富山城址公園で障害者就労支援施設の方々と協力してバザーを行う予定にしていますが、その場でのアイバンクに関する啓蒙活動ができないか検討したいと思います。

今後も富山ライオンズクラブは、地道ながらも、アイバンク活動の普及・啓蒙に取り組んでいきたいと存じますので、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



盲導犬顕彰銘板設置

## アイバンク活動の取組みについて

小杉ライオンズクラブ  
会長 宿屋 浩一



当クラブでは、例年「ふるさと商工まつりin射水」においてブースを設け、ガールスカウトの協力を得てチラシ配布による啓蒙活動および、募金活動を行っております。

また、地域のショッピングセンター「アル・プラザ小杉」において献血の協力活動の際に併せて、アイバンクの

チラシ配布による情宣を行っております。

その他、自らが参画する意味において、メンバー全員のアイバンク献眼登録を目指しております。ここ1、2年の新会員を除いてはほぼ100%の登録率であり、新会員の追加登録も推進していきたいと考えております。

加えて、特に新会員向けに例会時にアイバンクのコーディネーターの方を講師として招きアイバンクの現状等について講演頂いております。

今後も、一人でも角膜移植についてご理解頂けるように活動をつづけて参ります。



## 院内移植コーディネーターとの連携

一般啓発活動 「看護の日・看護週間」に啓発活動を行いました。



公立南砺中央病院（病院エントランス）



南砺市民病院（福野ショッピングセンター ア・ミュウ）



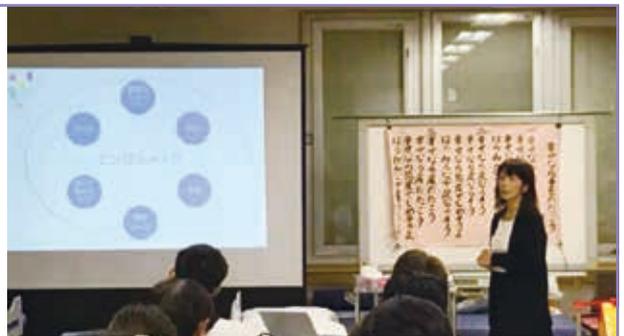
市立砺波総合病院（イオンモールとなみ）

# 医療機関での啓発活動のご紹介

## 医療機関での啓発活動



済生会高岡病院において献眼に関する講演

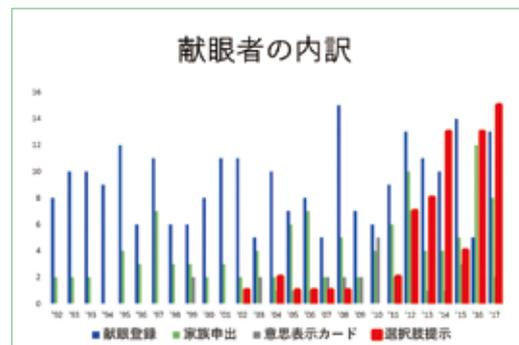


あおい病院において院内研修会で講演

平成18年より臓器提供の円滑な推進を図るために、県内の22病院に院内移植コーディネーターが設置されました。現在、22病院63名の院内移植コーディネーターが県知事の委嘱状を受けて活動を行っています。アイバンクは院内移植コーディネーターと連携して、献眼を希望される患者様の意思を尊重できるように院内研修会や啓発活動を行っています。

全国的には献眼数が低迷している中、富山県ではここ数年献眼数が増加しています。

アイバンクに登録していなくても、本人が拒否していない限り、ご家族の同意で献眼は可能です。その意思を汲むことができるのは、医療機関の皆様です。



# (公財)富山県アイバンク



大黒理事長挨拶



記念式典壇上



遺族代表のことば 福田靖子様



大黒理事長による献花



会場内のご来場者様の様子



# 設立25周年記念大会

2017年10月15日（富山県民会館）

## 愛の献眼 光のリレー



記念講演 板東英二氏  
演題「板東英二のがむしゃら人生」

板東英二氏へ花束贈呈  
左 吉田義夫氏  
(盛気楼旋風・元魚津高校野球部4番バッター)



2016年9月～2017年8月  
までに献眼された36名のご  
遺族様に対し、石川県知事  
より厚生労働大臣感謝状の  
伝達が行われました。



献眼されたご遺族様が順に献花される様子



会場入口での募金活動

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成29年4月～平成30年3月

## ☆一般（個人）

匿名希望	1,000,000	赤川詩津子	5,000	杉岡 洋子	3,000
野村 謹吉	130,000	石垣 誓子	5,000	千龍 義信	3,000
坂東 浩一	100,000	一刎 幸子	5,000	竹部 俊恵	3,000
山城 篤志	50,000	下条 省三	5,000	谷野 克巳	3,000
屋根 慎二	36,000	中谷 義雄	5,000	田之下和美	3,000
河島 早苗	30,000	中村 正根	5,000	辻 美代子	3,000
筏井 晴夫	20,000	二口 清子	5,000	寺澤 和美	3,000
豊田 耕一	20,000	堀 壽夫	5,000	寺島 文子	3,000
山下 泉	20,000	宮島さだ子	5,000	中川吏永子	3,000
松岡 秀子	16,000	森田 明子	5,000	中川 正吉	3,000
中野 忠雄	15,000	水木國夫・幸枝	4,000	中西 広一	3,000
愛場正利・京子	10,000	朝倉 一美	3,000	中山のぶ子	3,000
伊賀 肇	10,000	跡治 幸子	3,000	長原 好成	3,000
大浦 均	10,000	穴田 清	3,000	西田 君代	3,000
笠島 眞	10,000	網 美保子	3,000	畑 孝子	3,000
境 里子	10,000	幾島かをる	3,000	林 とみい	3,000
座間味法子	10,000	石黒 寛	3,000	平木利司子	3,000
竹嶋 一恭	10,000	稲場トシ子	3,000	久田 茂光	3,000
武田 宏	10,000	稲村 栄勝	3,000	福田 光夫	3,000
梅野尾桂子	10,000	井村 昭彦	3,000	前田 隆夫	3,000
中西 清一	10,000	上田精弼・憲子	3,000	南 正子	3,000
野澤 喜一	10,000	内山 照子	3,000	室山 若子	3,000
畠山 志郎	10,000	小川 季子	3,000	目澤 益子	3,000
林 巖	10,000	鹿島うら子	3,000	矢木 義人	3,000
福田 康司	10,000	片岡毅久雄	3,000	山田志津枝	3,000
舩谷 専一	10,000	菊地 清	3,000	山田 和枝	3,000
松井久雄・優子	10,000	木村 聡子	3,000	山本 清	3,000
村上 果	10,000	木山 隆	3,000	吉田 卓矢	3,000
村田 勇	10,000	駒野 松也	3,000	我妻 眞美	2,000
藤巻 篤子	9,000	作田純一郎	3,000	二上 功	2,000
高田 眞	7,500	櫻井 恵子	3,000	久々湊 亮	1,000
石附 美和	6,000	佐々木公子	3,000	篠崎 宣行	1,000
佐伯 文江	6,000	佐竹 幸江	3,000	鍋島 一美	1,000
笹島 延元	6,000	篠塚 征則	3,000		
竹田 市次	6,000	島崎 君枝	3,000		

## ☆一般（法人・団体）

医療法人明世社白井病院	200,000	株式会社いたの	10,000
株式会社北陸電設	200,000	株式会社すがの印刷	10,000
有限会社アマタニ	100,000	株式会社富山県義肢製作所	10,000
第三伊登勢丸	100,000	有限会社富山重機	10,000
弘法工業株式会社	51,630	TOPモリオカ	10,000
株式会社マルチョウ神戸屋	50,000	田中眼科医院	6,000
こしづ眼科クリニック	44,084	医療法人社団 寿山会	5,000
日商建材株式会社	20,000	有限会社ローザ大成堂	3,000

## ☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ奉仕銀行	2,500,000	富山みなとライオンズクラブ	12,000
1R1Zガバナー公式訪問	100,000	富山セントラルライオンズクラブ	10,000
1R2Zガバナー公式訪問	150,000	黒部ライオンズクラブ	100,000
2R2Zガバナー公式訪問	100,000	立山ライオンズクラブ	7,792
2R3Zガバナー公式訪問	50,000	高岡アラートライオンズクラブ	10,000
豊岡正1R2ZC就任記念チャリティゴルフ大会	100,000		

□ 賛助会員 平成29年4月～平成30年3月

個人会員

相澤 吉彦	梅田 清一	川端 康夫	澤泉 弘	虎谷 武道	廣瀬 利行	室生 新二
秋本 政亮	浦野 孝一	河原 知昭	澤田 訓正	鳥崎 真人	藤記 尚子	森 直樹
油本 茂	大愛富美子	川本 敏和	篠崎 孝伸	鳥山 博	藤塚由紀子	森 弘
新多 勇人	大浦 清重	川本 元充	篠田 和男	中尾 順一	藤巻 篤子	森明 秀行
安藤 建二	大浦 均	刑部 郁子	清水 英子	長岡 貴啓	干場 毅	森田 嘉樹
飯塚 龍志	大江功一郎	清河 高之	下坂 芳宏	中川 伸一	星山 慎一	柳 重夫
位寄 正司	大崎 利明	清河 衛	菅野 寛二	中川 正人	保里真理子	山尾 佳史
池崎 策夫	太田 茂	串田 正二	杉本喜久子	長勢 知子	堀内 康男	山口 聖慈
石川 勝康	大田 妙子	熊野 弘	高岸 和男	長田 雅子	本元 幸俊	山口 正人
石川 雅朗	大坪 健	熊本 新一	高野 光子	中西 栄二	増井 修	山崎 和子
石崎 敬治	大庭 知子	黒崎 春久	高林 敏	中村 孝子	町田スゞエ	山崎 泰邦
石崎 由則	岡田 幸光	慶野 耕一	高柳 昇	波岡 一子	松倉 和也	山崎与四之
石田ひとみ	岡本 武勇	高縁 勲	竹本 福志	西野 義隆	松倉 正機	山下 泉
石田 唯一	奥原喜代司	高縁 勉	館 奈保子	新田 正昭	松崎 孝治	山下 誠
井田久美子	桶屋 康裕	小坂 愛香	田中 文悟	野崎 唯吉	松下 哲也	山下 陽子
一川 順彦	尾崎 誠	米屋 慎一	谷川 悠	野尻津喜夫	松田 憲昌	山林 雅和
伊東 景治	小沢 正康	小柳 博美	谷口 清高	野尻登美子	松原 博紀	山本 明彦
伊藤興一郎	尾谷 秀雄	神谷 尚機	谷口 敬敏	能瀬 和雄	松本 憲治	吉崎 清則
伊東 紀一	小津ゆかり	齊藤 讓一	谷口 正明	野村 賢政	丸田 清春	吉崎 剛
伊藤 光雄	片口 尚志	齊藤 周子	谷口 保孝	橋本 喜洋	三井田一博	吉崎 実
井上 孝	片山 寿夫	坂井 泉	谷村 一成	長谷川修博	水木 國夫	吉澤 富雄
今井 幹雄	加藤 樹永	酒井 清光	辻 靖雄	畠山 明	水野 敏博	吉田 重治
今村 知代	金井 澄子	境 伸	土田 豊	畠山 敏一	道原 英克	吉田 讓
入井 孝博	金山 明	佐賀野昭一郎	寺井 仁	濱多 等志	三井 適夫	米田 博
植田 芳樹	鎌谷 克彦	作村佐智子	寺崎 達二	濱田 昌子	宮腰 晃央	若森 征雄
碓井 辰弘	紙谷 晃一	佐近 肇	戸澤 秀行	林 篤志	宮崎 隆幸	渡邊 一三
内島 雄司	上山 恵巳	佐々木和明	飛島 邦彦	稗苗 清吉	宮島 清	綿屋 和美
内山 英男	狩野 俊哉	佐々木祐二	飛田 茂代	久田 茂光	宮野 高司	
梅川 哲也	川口 秀春	澤飯 公臣	豊田 葉子	廣瀬 和夫	村椿 晃	

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所  
 株式会社押田建築設計事務所  
 株式会社北日本工芸  
 久保毅税理士事務所  
 株式会社黒東アメニティー公社  
 有限会社笹島商事  
 サンユウセキュリティ株式会社  
 株式会社すがの印刷  
 株式会社セイアグリーシステム  
 高瀬公認会計士事務所  
 東光運輸株式会社  
 株式会社富山県義肢製作所  
 富山スガキ株式会社  
 医療法人光ヶ丘病院

平田眼科医院  
 株式会社広野  
 富源商事株式会社  
 株式会社藤井産業  
 伏木海陸運送株式会社  
 北陸エンジニアプラスチック株式会社  
 北陸バンドー株式会社  
 有限会社北高運輸  
 有限会社舩谷解体工業  
 丸進商事株式会社  
 株式会社マルチ・アクセス・カンパニー  
 株式会社丸八  
 ミユキ化成株式会社

☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ  
 滑川有恒ライオンズクラブ  
 高岡フラワーライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました。平成29年4月～平成30年3月

### ☆一般

公益財団法人富山県アイバンク設立25周年記念大会	166,006	ほり眼科クリニック	4,184
医療法人社団ますだ眼科医院	14,136	ポプラ小杉インター店	3,759
ポプラ伏木古府店	14,125	狩野眼科医院	1,956
有限会社福野自工	6,724	新田眼科	1,729
宮岸株式会社	5,305	富山第一ホテル	1,709
グリーンリーブス高岡市民病院売店	5,230	ホテルグランテラス富山	1,564
ポプラ戸出春日店	5,111		

### ☆ライオンズクラブ関係

氷見ライオンズクラブ	51,350	入善ライオンズクラブ	6,278
小杉ライオンズクラブ	40,064	朝日町ライオンズクラブ	4,689
新湊ライオンズクラブ	10,000	富山南ライオンズクラブ	2,944
高岡志貴野ライオンズクラブ	6,609		



## 平成31年度の啓発用ポスター写真を募集

応募期間：平成30年11月から平成31年8月末日まで

テーマ：富山県の市町村の風景・自然・人 富山県の景色を見せてあげよう。

募集対象：どなたでも応募いただけます。

応募可能作品数：1人3作品まで

応募方法：郵送またはメールにて応募

郵送の場合→ 〒930-0194 富山市杉谷2630番地 富山大学医学部内  
公益財団法人富山県アイバンク

メールの場合→ [info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)

サイズ：4334pixel × 6118pixel / 縦型デザイン JPGで保存（2MB以内）

なお、受賞作品については結果発表後に制作データをお送り頂きますので必ず保管して下さい。

### 受賞作品について

応募作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は応募した時点で、公益財団法人富山県アイバンクに帰属するものとし、応募者は、応募作品について富山県アイバンクに対し著作権者人格権を行使しないものとします。

※応募作品は一部表記やデザインなどについて修正をする場合があります。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレットを1,000部印刷し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。  
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。  
本年度の献眼登録者数は、92名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が42名あり、38名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	居住地	献眼月	年齢	性別	居住地
4月	70歳代	男性	富山市		90歳代	男性	富山市
	50歳代	女性	富山市		50歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市	11月	60歳代	女性	高岡市
	80歳代	女性	魚津市		70歳代	男性	富山市
	30歳代	女性	富山市		70歳代	男性	砺波市
5月	70歳代	男性	射水市	80歳代	女性	富山市	
	70歳代	男性	魚津市	12月	80歳代	男性	入善町
6月	30歳代	男性	富山市		80歳代	女性	富山市
7月	80歳代	男性	富山市		80歳代	男性	黒部市
	70歳代	男性	富山市		80歳代	男性	射水市
8月	90歳代	女性	高岡市	70歳代	男性	富山市	
	50歳代	女性	富山市	1月	70歳代	男性	富山市
	90歳代	女性	高岡市		90歳代	女性	高岡市
	90歳代	男性	南砺市	2月	60歳代	男性	富山市
90歳代	女性	高岡市	60歳代		女性	富山市	
9月	80歳代	男性	上市町	3月	70歳代	男性	高岡市
	100歳代	女性	入善町		60歳代	女性	射水市
	30歳代	男性	高岡市		80歳代	男性	高岡市
10月	60歳代	男性	氷見市		70歳代	女性	砺波市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、74名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、39名の方に強膜移植が行われた。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3)普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、高岡市民病院の院内移植委員会等に参加した。
- 啓発活動の一環として、済生会高岡病院、あおい病院、厚生連高岡病院において献眼啓発講演を行った。

#### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で24回実施した。
- 依頼を受けて県内各地で3回実施した。

### (4)その他

- 第76回富山眼科集談会にてミニ発表をした。
- 第16回日本組織移植学会学術集会に参加した。
- 県内外の角膜移植に関する学会・セミナー等に参加した。

### 〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより第23号」7,000部を発行し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

(3)設立25周年記念誌「25年のあゆみ」を発行し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

寄附金を頂いた個人・団体などへ感謝状を伝達した。

- 富山大学附属病院羊膜ドナーに対するインフォームド・コンセントに5回立会った。



# 公益財団法人富山県アイバンク 平成29年度収支計算書（損益）

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額			科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計		公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
<b>1. 経常増減の部</b>							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	17,909	0	17,909	②会議費支出	0	553,702	553,702
②特定資産運用益	7,644	0	7,644	③需用費支出	0	444,476	444,476
③受取会費	1,022,000	0	1,022,000	④退職給付費用	0	59,790	59,790
④事業収益	15,560,000	0	15,560,000	⑤什器備品償却費	0	0	0
角膜幹旋手数料	14,000,000	0	14,000,000	経常費用計	27,298,708	2,173,487	29,472,195
強膜幹旋手数料	1,560,000	0	1,560,000	評価損益調整前当期増減額	△ 1,878,450	△ 983,261	△ 2,861,711
⑤受取補助金等	3,480,000	1,000,000	4,480,000	評価損益等計	0	0	0
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000	当期経常増減額	△ 1,878,450	△ 983,261	△ 2,861,711
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000	<b>2. 経常外増減の部</b>			
富山県共同募金会助成金収入	600,000	0	600,000	(1)経常外収益	0	0	0
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000	経常外収益計	0	0	0
⑥受取寄付金	3,622,492	74,986	3,697,478	(2)経常外費用	0	0	0
寄付金収入	3,344,006	0	3,344,006	経常外費用計	0	0	0
募金収入	278,486	74,986	353,472	当期経常外増減額	0	0	0
⑦雑収益	212,856	115,240	328,096	当期一般正味財産増減額	△ 1,878,450	△ 983,261	△ 2,861,711
⑧他会計からの繰入額	1,497,357	0	1,497,357	一般正味財産期首残高			86,040,213
経常収益計	25,420,258	1,190,226	26,610,484	一般正味財産期末残高			83,178,502
(2)経常費用				<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
事業費	27,298,708	0	27,298,708	受取補助金等	0	0	0
①眼球のあっせん等に関する事業費	10,292,864	0	10,292,864	受取負担金	0	0	0
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,276,021	0	1,276,021	受取寄付金	0	0	0
③公益事業共用費	12,625,507	0	12,625,507	基本財産運用益	0	0	0
④什器備品償却費	764,559	0	764,559	基本財産利息収入	0	0	0
⑤共同募金会助成金事業費支出	842,400	0	842,400	特定資産運用益	0	0	0
⑥他会計への繰出額	1,497,357	0	1,497,357	一般正味財産への振替額	0	0	0
管理費	0	2,173,487	2,173,487	当期指定正味財産増減額	0	0	0
①諸給与支出	0	1,115,519	1,115,519	指定正味財産期首残高	0	0	0
				指定正味財産期末残高	0	0	0
				<b>III 正味財産期末残高</b>			83,178,502

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(平成29年7月10日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(平成30年6月25日現在)

理事41名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
理事	伊勢 豊彦	株式会社セシアグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	寺崎 達二	寺崎樹脂 代表
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	前田 彰久	富山県 厚生部長
理事	車 司	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	片山 壽夫	片山眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員

役職	氏名	勤務先
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	高見 隆夫	高見後援会事務所
理事	豊岡 正	株式会社プラテックス 代表取締役
理事	小川 慶二	株式会社小川板金工業 代表取締役
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役
理事	山田 真功	平和交通株式会社 代表取締役社長
理事	山崎 泉	株式会社山崎組 代表取締役
理事	中嶋 進	中島サイディング 代表
理事	池田 善揮	株式会社廣昌堂 代表取締役
理事	齋藤 博	萩浦工業株式会社 代表取締役社長
理事	嘉藤 肇	鈴木工業株式会社 代表取締役社長
理事	高緑 勉	高緑タイル店 代表
理事	小竹 茂樹	オダケホーム株式会社 代表取締役会長
理事	増井 修	株式会社マスイ 代表取締役
理事	松井 謙二	株式会社北陸工営 代表取締役
理事	澤泉 弘	澤泉登記測量行政事務所 所長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

## 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成30年10月1日現在)

評議員38名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
泉野 正人	株式会社泉野地所 代表取締役	渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役
高松 丈志	株式会社高松機板製作所 代表取締役会長	渡辺 誠治	有限会社わたなべ電装 代表取締役社長
内野 忠	株式会社北越 代表取締役社長	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
木村 貴之	有限会社エイキ 代表取締役	弓野 久和	大家庄農事生産組合 組合長
高田 重信	富山市議会議員	森田 誠一	株式会社森田木工所 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 取締役	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	田邊ゆかり	株式会社エイアイエスコポレーション 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	車 啓三	クルマ商事株式会社 代表取締役
小山 登	有限会社南大門 代表取締役	工藤 光也	
岡本 葉子	有限会社プロハート 代表取締役	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
山口 勝康	株式会社CSM 代表取締役	飯田 和男	有限会社ミナト 代表取締役
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	新多 勇人	優トラベルクラブ 代表者
石坂 昭	株式会社イシサカ地所 代表取締役会長	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
毛利 功	株式会社毛利園芸 代表取締役	堀 正	
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	片山 和行	株式会社北越 代表取締役社長
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
橋本 篤	橋本事務所 代表(所長)	長原 好成	公益社団法人富山県善意銀行 事務局長

### — 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

### — P R 部 —

部長：畠山 志郎

中尾 順一 嘉藤 肇 高縁 勉 小竹 茂樹 増井 修 松井 謙二

### 編集後記

毎回頭を悩ますのは表紙の図案です。光をテーマにホタルイカを取り上げたり、美しい顔が見られるように願って時の女性に登場してもらったり、当年度に県内で開催されて話題になったイベントの写真を使ったり、いずれも目が見えるように成ることを願っての事です。今回は黄・赤・緑・青が配色された、美しい立山連峰の風景を選びました。これも視力を回復されたら見てほしい風景です。

献眼者ご遺族の手記も増頁しました。後に続く献眼者が1人でも多くなるようにとの思いからです。

広報委員 畠山志郎(富山みなとライオンズクラブ所属)



**富山県アイバンクだより**

第24号・平成30年11月1日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630  
TEL (076)434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れた後にエンゼルメイクを施しますのでおだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

献眼で  
あなたにもできます

# 「光」の贈りもの

早月川から望む立山連峰 / 撮影: Tokiko Okazaki



第25号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成30年4月から平成31年3月まで

平成30年

4月 蘇武 博様 富山市  
4月 長尾 弘道様 高岡市  
4月 匿名希望 富山市  
4月 岩口 伸様 射水市  
4月 豆川美智子様 富山市  
5月 瀧川 博一様 富山市  
7月 高多 正夫様 高岡市  
8月 青山 昇様 富山市  
8月 坂井恵津子様 立山町  
9月 堀田 淳様 富山市  
9月 岡本 武勇様 富山市  
10月 匿名希望 射水市  
11月 高橋 幸子様 滑川市  
11月 二上 桂介様 高岡市

11月 松原 弘志様 富山市  
11月 匿名希望 立山町  
11月 富山 瞳様 魚津市  
11月 白石 靖子様 射水市  
12月 塚本 正様 高岡市  
12月 高木 次雄様 富山市  
12月 篠崎美津子様 富山市

平成31年

1月 匿名希望 富山市  
1月 田島 澄子様 富山市  
1月 横内 隆彰様 富山市  
1月 板野 慶一様 高岡市  
2月 堀 源郎様 立山町  
2月 金田 礼子様 高岡市  
3月 滝川 定一様 富山市

## 厚生労働大臣感謝状伝達式

10月17日（木）、県庁特別室において平成30年9月から令和元年8月までに、献眼いただきました皆様に厚生労働大臣からの感謝状を伝達させていただきました。



# 日本での献眼の始まりとヘレン・ケラー

人は外部情報の87%を視力で得ているため、目の障害は生きていく上で大変な困難を伴い、1925年のライオンズクラブ国際大会で、ヘレン・ケラー女史が盲人への援助を訴えて以来、視覚障害はライオンズの大きなテーマになりました。1928年死体眼からの角膜移植が有効と判ると、角膜の入手が容易になり、提供者（ドナー）と受給者（レシピエント）を繋ぐ「目の銀行」が1930年米国で発足、45年ライオンズクラブがニューヨークでアイバンクを設立し、以後一気に全米欧州に拡大しました。

日本では1949年岩手医科大学の今泉亀撤教授が、第1例を施術。56年には手術費用を工面できず開眼を諦めた青年の話が、米国のライオンズクラブに伝わり、同クラブは東京ライオンズクラブに費用を送金、これがきっかけで在京6クラブが移植推進PRの協会を発足させると活動は全国のクラブに拡大、クラブ員である眼科医による独自のアイバンクも誕生しました。また米軍属のアイバンク設立への協力の申出もある中、56年角膜移植法案が国会で審議未了となったため、翌57年の今泉教授の施術は死体損壊罪と地元新聞が大々的に報道、これを受けた最高検察庁は、人道的道徳的見地から犯罪ではなく、「罪は審議未了にした国会にある」としました。58年には法案は国会を通過、移植手術は正式に合法化され、次々と眼球銀行が誕生した。63年角膜あっせん業許可基準が公布され現在のアイバンクの形態が整った。前記のいきさつから54あるアイバンクの大半の設立母体はライオンズクラブです。56年の実質献眼登録第1号も岡山のクラブ員原勝巳氏であり、60年70年代にはライオンズの献眼活動により亡くなった町民の3割もが献眼する町もありました。現在移植待機者は約3,000人（潜在的に数万人）に対し供給は、800人以下であり角膜は圧倒的に不足しています。

また高齢化と共に障害者は増加、2030年には200万人とも推定されます（内3割は角膜異常）。

今年iPS細胞による移植が成功したが、費用が超高額であり、献眼に依る費用と同等になるのは相当先のこと、当面はやはり善意による献眼が主体です。改めてヘレン・ケラー女史の訴えを思い起こし、人生最後の善意（角膜）を贈りたいものです。



故 今泉亀撤教授



QRコードを読み込んでください。動画を見ることができます。

右：1925年ライオンズクラブ国際大会にてヘレンケラー女史のスピーチ

左：公共広告機構「アイバンクに登録してください」（1957年の少女と今泉教授）



# 献眼者ご遺族の手記

青山 麗子

主人と縁あって2005年2月に中国から日本にお嫁にやってきました。2007年8月に娘が生まれ、子育てをしながら、野菜を作り始め、珍しい野菜、西洋野菜、山菜、カラフル大根などを作っては、農協や地場もん屋、黒崎屋などに出荷しています。

主人は10年ほど前から肺の病気になり大学病院で治療をしていました。亡くなる3

ヶ月前には癌がみつかりました。娘を育てながら野菜を作り、それに主人の看病を一生懸命がんばって生きてきました。

でも、主人との別れの日がきました。

主治医の先生から「献眼」の話がありました。コーディネーターから説明を受けましたが、悩みました。でも、娘の一言で提供を決心しました。

まだ、小学生の娘を残して旅

立った主人はきっと心残りであったと思います。でも、献眼によってどこかで娘と私を見守ってくれていると思うと元気がでます。

娘との二人の生活が始まり約1年経ちましたが、今も主人がそばにいると思いながら野菜作りをがんばっています。

夢は自分で作った野菜で餃子屋を作ることです。



2017.6.3 in 加賀フルーツランド



富山の野菜 青ちゃん畑の野菜

次ページの移植を受けた方との関連はありません

# 移植を受けた方からの手紙

男性

この度は、ご縁がありましてあなた様方のご家族の角膜をいただくことになりました。ありがとうございます。

私は息子夫婦と共に日本そば店を営んでおります。私の親の代からの営業で約100年になります。私は仕事上も、車の運転が必要であります。趣味が温泉旅行とドライブです。そのため大変不自由を感じておりましたがこの度、角膜をいただくことができて大変感謝しています。この先は、眼が治り明るい未来を信じて頑張ります。あなた様方におかれましてもいつまでもお元気でありますように心からお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

合掌

## 60歳代 女性

この度は私に貴重な角膜をご提供くださったドナー様及びご家族様に心から感謝致します。本当にありがとうございました。今年5月に突然左眼の角膜に穴が開き、至急移植手術が必要となりご提供いただきました。主治医の先生から、富山の方からきれいな角膜を提供された旨を伺った時は不思議なご縁を感じました。富山は亡き父の出身地でもあり、私自身も子供の頃よりとても親しみを感じておりました。二度の手術がありましたが、視力も徐々に回復してまいりました。いただいた角膜を大切にこれからの人生を歩んでまいります。一緒にいろいろな物を見てまいりたいと思います。改めて、角膜のドナー様とご家族様に心より御礼申し上げます。また執刀いただいた先生をはじめ皆様方に感謝致します。

## 60歳代 女性

春光うらかな季節を迎え、ご家族の皆様にはますますご健勝のことと存じます。ご家族の大切な角膜をいただき、ありがとうございました。視界が霞み周りが良く見えなくなっただけから、転ばぬように下を向くことが増えていました。そんなときに、角膜移植ができるとの連絡をいただきました。移植後に元の生活を取り戻せるか不安もありましたが、手術後の開けた視界は鮮烈で今も鮮明に蘇ります。おかげさまで、引退を考えていた仕事にも復帰できております。人生に光と夢をいただき、前を向いて1日1日を楽しく生活できております。本当にありがとうございました。

春爛漫の折、どうぞお健やかに過ごしてください。

# 富山東ライオンズクラブ40周年記念事業

富山東ライオンズクラブ  
会長 高田 重信

富山東ライオンズクラブは本年創立40周年を迎え、スローガンとして「40周年歴史が織りなすウィサーブ」を掲げ今年度スタートしました。この40年間積み上げてきたクラブの実績を活かし、現在のメンバーと知恵を出し合いながら記念事業を企画し、地域の皆様に富山東ライオンズクラブの活動の一端を知ってもらうために、10月19日土曜日に「富山駅南口周辺および南北一体となった



駅舎通路」を使って、「ふれあい広場」という名称で、チャリティーバザー、ふれあいコンサート《幼稚園児の演技・男性コーラス・ハープ・フルート・琴・バンド演奏・手品など》、子供向け金魚すくいなどのゲームコーナーを設け実施しました。

併せて、ライオンズクラブとして継続的に取り組んでいる「アイバンク活動」について、「ふれあい広場」に来られた人たちや通行人の方々に、パンフレットの配布や募金の呼びかけを行い、アイバンクのPR活動が展開できたと思います。

の呼びかけを行い、アイバンクのPR活動が展開できたと思います。

この40周年を契機に、富山東ライオンズクラブが更にステップアップできるよう、メンバーと協力して今後も意義あるアクティビティを推進し、次代に繋いでいけるよう努力していきます。



## ライオンズクラブとしての使命

砺波ライオンズクラブ  
会長 杉木 徹

砺波ライオンズクラブでは、アイバンクの活動や献眼について広く啓蒙するにあたり、まずメンバー自身が詳しく知らなければ…ということから、例会においてアイバンクや献眼のことを学ぶ機会を設けてきました。長く役員として（公財）富山県アイバンクの事業に関わっておられる当クラブメンバーのL野村謹吉や入江真理コーディネーターを講師にアイバンクの現状や課題などの話をさせていただきました。また、アイバンクの活動啓発用DVD「ヒ・カ・リ」を鑑賞して、献眼についての知識を深めてきました。毎月、（公財）富山県アイバンクから発行されている「アイバンク情報」も例会時に配布し、アイバンクの現状や活動を知ってもらうようにもしています。

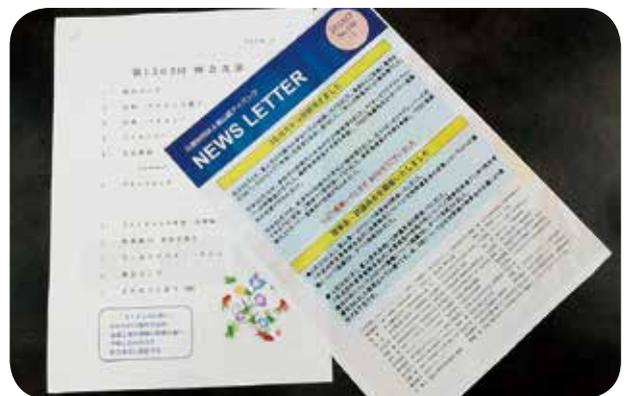
地域での啓蒙活動としては、「ショッピング ア・ミュー」での献血に併せて献眼のチラシを配布してきました。今までは、チラシを配布するだけで、直接、声をかけることはしていませんでしたが、ライオンズクラブの使命として、アイバンクの活動がもっと身近なものになるように、角膜移植・献眼・献眼登録のことを伝え、その場で献眼登録をしてもらえるような事業の必要性も感じています。

“献眼で あなたにもできます「光」の贈りもの”を念頭に置き、メンバー100%献眼登録を目指し、家族や知人、地域の人に声をかけ、多くの人に登録してもらえるようメンバーが一丸となり取り組んでいきたいと思っています。

まずは、献眼登録から!!



クラブ例会でアイバンクの説明をする  
クラブメンバーの野村謹吉アイバンク理事



# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成30年4月～平成31年3月

## ☆一般（個人）

高瀬 清春	110,000	福井 博	5,000	田谷 睦己	3,000
屋根 慎二	42,000	二口 清子	5,000	辻 美代子	3,000
河島 早苗	30,000	堀 壽夫	5,000	出口テル子	3,000
野村 謹吉	30,000	森田 明子	5,000	寺澤 和美	3,000
筏井 晴夫	20,000	吉田 幸子	5,000	鳥切百合子	3,000
豊田 耕一	20,000	朝倉 一美	3,000	中川 正吉	3,000
畠山 志郎	20,000	跡治 幸子	3,000	中川吏永子	3,000
中野 忠雄	15,000	幾島かをる	3,000	中西 広一	3,000
伊賀 肇	10,000	石黒 寛	3,000	中保 昭	3,000
磯野 敏雄	10,000	石山 金司	3,000	西田 君代	3,000
大浦 均	10,000	稲場トシ子	3,000	畑 孝子	3,000
神嶋 利夫	10,000	稲村 栄勝	3,000	林 朝夫	3,000
河崎 一夫	10,000	上田 雄一	3,000	林 勝美	3,000
笹島 延元	10,000	内山 照子	3,000	林 玲子	3,000
竹嶋 一恭	10,000	尾山 和子	3,000	久田 茂光	3,000
武田 宏	10,000	片岡毅久雄	3,000	広上 成志	3,000
立浪 和也	10,000	木山 隆	3,000	福田 靖子	3,000
立浪 真美	10,000	駒野 松也	3,000	前澤 富枝	3,000
梶野尾桂子	10,000	近藤 康広	3,000	松島 重雄	3,000
能瀬 和雄	10,000	堺 美奈子	3,000	水木 國夫	3,000
野澤 喜一	10,000	作田純一郎	3,000	溝口恵美子	3,000
林 巖	10,000	櫻井 恵子	3,000	南 正子	3,000
舩谷 専一	10,000	佐々木公子	3,000	宮島さだ子	3,000
松井久雄・優子	10,000	佐竹 幸江	3,000	目澤 益子	3,000
松岡 秀子	10,000	佐藤 瑞恵	3,000	元野 清光	3,000
松本のり子	10,000	三田 和子	3,000	矢木 義人	3,000
村上 果	10,000	志鷹 高子	3,000	矢野 宏樹	3,000
山田 秀三	10,000	島崎 君枝	3,000	山田 和枝	3,000
石田 康次	6,000	杉岡 洋子	3,000	山田志津枝	3,000
森川洋介・敬介	6,000	千羽 真貴	3,000	山本 清	3,000
赤川詩津子	5,000	千龍義信・かな子	3,000	吉田 卓矢	3,000
石丸 紀子	5,000	卒田小百合	3,000	米澤 務	3,000
小川 季子	5,000	高木 和夫	3,000	和田 亨子	3,000
斉藤 譲一	5,000	高林 敏	3,000	二上 功	2,000
境 里子	5,000	竹田 市次	3,000	我妻 眞美	2,000
炭谷 洋子	5,000	竹部 俊恵	3,000	大嶋 淳子	1,000
中尾 順一	5,000	田之下和美	3,000	久々湊 藍	1,000
一刎 幸子	5,000	谷野 克巳	3,000	篠崎 宣行	1,000

## ☆一般（法人・団体）

医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院	300,000	株式会社すがの印刷	10,000
医療法人明世社白井病院	200,000	株式会社富山県義肢製作所	10,000
株式会社北陸電設	200,000	とよだ眼科クリニック	10,000
永森建設工業株式会社	100,000	株式会社中曽根造園	10,000
株式会社マルチョウ神戸屋	50,000	有限会社ホームサポートオダケ	10,000
セントラルメディカル株式会社	30,000	田中眼科医院	6,000
立浪眼科医院	20,000	片山眼科医院	5,000
日商建材株式会社	20,000	有限会社サイキ機工	3,000

## ☆ライオンズクラブ関係

嘉藤肇1リジョン2ゾーン就任記念チャリティーゴルフ大会	100,000	立山ライオンズクラブ	100,000
ライオンズクラブ2リジョン2ゾーンガバナー公式訪問	100,000	富山神通ライオンズクラブ	80,000
ライオンズクラブ1リジョン3ゾーンゴルフ愛好会	78,081	八尾婦中ライオンズクラブ	50,000
ライオンズクラブ2リジョン3ゾーンガバナー公式訪問	50,000	滑川有恒ライオンズクラブ	50,000
八尾婦中・大山・富山西ライオンズクラブ合同ゴルフ大会	20,000	朝日町ライオンズクラブ	50,000
富山みなとライオンズクラブ	113,000	氷見ライオンズクラブ	24,000
富山セントラルライオンズクラブ	110,000	富山アラートライオンズクラブ	10,000

□賛助会員 平成30年4月～平成31年3月

個人会員

秋本 政亮	大田 妙子	串田 正二	高野 光子	長岡 貴啓	稗苗 清吉	村椿 晃
油本 茂	大塚 光哉	熊本 新一	高林 敏	中川 伸一	廣瀬 和夫	森 弘
石川 勝康	大庭 知子	黒崎 春久	高柳 昇	中川 正人	廣瀬 利行	森田 嘉樹
石川 雅朗	岡本 武勇	慶野 耕一	竹本 福志	長勢 知子	藤記 尚子	山尾 佳史
石崎 敬治	奥原喜代司	高縁 勲	舘 奈保子	長田 雅子	藤塚由紀子	山崎 和子
石崎 由則	尾崎 誠	高縁 勉	谷川 悠	中村 孝子	藤巻 篤子	山崎 泰邦
石田ひとみ	小沢 正康	齊藤 周子	谷口 清高	波岡 一子	干場 毅	山崎与四之
一川 順彦	尾谷 秀雄	齊藤 讓一	谷口 正明	西野 義隆	保里真理子	山下 陽子
伊東 紀一	小津ゆかり	酒井 清光	谷口 保孝	新田 正昭	本元 幸俊	山林 雅和
伊藤 光雄	片口 尚志	境 伸	土田 豊	野崎 唯吉	町田スヰエ	山本 明彦
今井 幹雄	片山 寿夫	佐賀野昭一郎	寺井 仁	野尻津喜夫	松倉 正機	吉崎 清則
今村 知代	加藤 樹永	作村佐智子	寺崎 達二	野尻登美子	松崎 孝治	吉崎 剛
入井 孝博	金井 澄子	澤飯 公臣	東條 直貴	能瀬 和雄	松本 憲治	吉崎 実
植田 芳樹	鎌谷 克彦	澤泉 弘	戸澤 秀行	野村 賢政	三井田一博	吉田 讓
内山 英男	上山 恵巳	篠崎 孝伸	飛田 茂代	長谷川修博	水木 國夫	若森 征雄
梅田 清一	狩野 俊哉	篠田 和男	富山 秀喜	畠山 明	水野 敏博	綿屋 和美
浦野 孝一	河原 知昭	清水 英子	豊田 葉子	畠山 敏一	道原 英克	
大浦 均	刑部 郁子	杉本喜久子	虎谷 武道	濱多 等志	宮腰 晃央	
大崎 利明	清河 高之	凶師 真弓	鳥崎 真人	林 篤志	宮島 清	
太田 茂	清河 衛	高岸 和男	鳥山 博	林 瞳	宮野 高司	

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所	株式会社広野
株式会社押田建築設計事務所	富源商事株式会社
株式会社北日本工芸	株式会社藤井産業
久保毅税理士事務所	伏木海陸運送株式会社
株式会社黒東アメニティー公社	伏木貨物自動車株式会社
有限会社笹島商事	有限会社北高運輸
サンユウセキュリティ株式会社	北陸バンドー株式会社
株式会社システック	北陸エンジニアプラスチック株式会社
株式会社すがの印刷	株式会社マスイ
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舂谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
東光運輸株式会社	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
株式会社富山県義肢製作所	株式会社丸八
富山スガキ株式会社	ミユキ化成株式会社
医療法人社団紫蘭会ヶ丘病院	優トラベルクラブ
平田眼科医院	株式会社渡辺板金工業

☆ライオンズクラブ関係

滑川有恒ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました。平成30年4月～平成31年3月

### ☆一般

ポプラ高岡泉ヶ丘店	22,853	カレーハウスコロンプス	4,908
医療法人社団ますだ眼科医院	20,038	立浪眼科医院	4,116
ポプラ戸出春日店	8,988	ヤマト運輸(株)富山主管支店	2,215
グリーンリーブス高岡市民病院売店	5,428		

### ☆ライオンズクラブ関係

小杉ライオンズクラブ	31,636	新湊ライオンズクラブ	10,000
氷見ライオンズクラブ	21,445	入善ライオンズクラブ	8,653
高岡志貴野ライオンズクラブ	15,031		

## 富山県内の視覚障害者スポーツ

東京2020パラリンピック競技大会まで1年を切りました。

マラソンをはじめとする陸上競技、馬術、自転車（タンデム）、柔道、水泳などで視覚に障害がある選手もパラリンピックを目指して頑張っています。

そこで、今回は富山県内で活動している視覚障害スポーツクラブチームをご紹介します。

### ☆富山県グランドソフトボールチーム

ソフトボールのルールを基本に1チーム10人で行う野球です。1チームには必ず全盲者（全く視覚が無い人）が4人以上含まれる必要があります。

問い合わせ先 高橋克人さん（☎076-433-7383）

### ☆富山STT（サウンドテーブルテニス）

卓球の球の中に金属粒が入ったボールを用い、そのボールがテーブル上を転がることで出る音を頼りに打ち合う競技です。問い合わせ先 池田一義さん（☎076-478-5867）

### ☆ブラインド伴走会富山

一本のロープでつながり、視覚障害者と晴眼者が、ランニングを楽しんでいます。

問い合わせ先（メールアドレス：blindtoyamarunning@gmail.com）



### ☆富山三つ星山の会

たくさんの方々に富山の自然に触れてほしいとの趣旨のもとにサポートロープを使って視覚障害者の皆さんと一緒に登山、スキー、ボルダリングを楽しんでいます。

問い合わせ先 桐井英志さん（☎076-423-3448）



これらの団体は富山県障害者スポーツ協会に登録されている団体です。

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成30年度事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。

本年度の献眼登録者数は、66名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が37名あり、28名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	居住地
4月	70歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	富山市
	50歳代	男性	射水市
	80歳代	女性	富山市
5月	60歳代	男性	富山市
7月	80歳代	男性	高岡市
8月	60歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	立山町
9月	50歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	富山市
10月	70歳代	男性	射水市
11月	80歳代	女性	滑川市
	70歳代	男性	高岡市

献眼月	年齢	性別	居住地
11月	70歳代	男性	富山市
	50歳代	女性	立山町
	80歳代	女性	魚津市
	70歳代	女性	射水市
12月	60歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	富山市
	90歳代	女性	富山市
1月	60歳代	女性	富山市
	80歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	高岡市
2月	80歳代	男性	立山町
	60歳代	女性	高岡市
3月	80歳代	男性	富山市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●厚生労働大臣感謝状伝達式を開催し、献眼者ご遺族へ感謝状を伝達した。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、56名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、58名の方に強膜移植が行われた。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3)普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、厚生連高岡病院、富山県立中央病院、富山大学附属病院の院内移植委員会等に参加した。
- 啓発活動の一環として済生会高岡病院、富山大学附属病院第3内科、高岡市民病院、南砺市民病院において献眼啓発講演を行った。

#### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で23回実施した。
- 啓発活動の一環としての講演を2回実施した。

### (4)その他

第78回富山眼科集談会にてミニ発表をした。  
角膜カンファランス2018にてポスター発表をした。  
県内外の角膜移植に関する学会、セミナー等に参加した。

### 〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより第24号」7,500部を発行し、登録者並びに県内外関係機関へ配布した。

寄附金を頂いた個人・団体などへ感謝状を伝達した。

富山大学附属病院羊膜ドナーに対するインフォームド・コンセントに2回立会った。



# 公益財団法人富山県アイバンク 平成30年度収支決算書（損益）

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	21,409	0	21,409
②特定資産運用益	1,495	0	1,495
③受取会費	980,000	0	980,000
④事業収益	13,720,000	0	13,720,000
⑤受取補助金等	2,880,000	1,000,000	3,880,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	2,781,268	62,124	2,843,392
寄附金収入	2,688,081	0	2,688,081
募金収入	93,187	62,124	155,311
⑦雑収益	237,656	158,437	396,093
経常収益計	20,621,827	1,220,562	21,842,389
(2)経常費用			
事業費	19,393,759	0	19,393,759
①眼球のあっせん等に関する事業費	4,420,653	0	4,420,653
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,255,788	0	1,255,788
③公益事業共用費	13,038,240	0	13,038,240
④什器備品償却費	679,078	0	679,078
管理費	0	2,197,627	2,197,627
①諸給与支出	0	1,168,981	1,168,981
②会議費支出	0	427,250	427,250
③需用費支出	0	523,416	523,416
④退職給付費用	0	77,980	77,980

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
⑤什器備品償却費	0	0	0
経常費用計	19,393,759	2,197,627	21,591,386
評価損益調整前当期増減額	1,228,068	△ 977,065	251,003
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,228,068	△ 977,065	251,003
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,228,068	△ 977,065	251,003
一般正味財産期首残高			83,178,502
一般正味財産期末残高			83,429,505
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			83,429,505

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(令和元年7月25日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(令和元年7月25日現在)

理事39名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院長・富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	市村 仁志	富山県 厚生部長
理事	車 司	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	片山 壽夫	片山眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫

役職	氏名	勤務先
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役
理事	齋藤 博	萩浦工業株式会社 代表取締役社長
理事	嘉藤 肇	鈴木工業株式会社 代表取締役社長
理事	高縁 勉	高縁タイル店 代表
理事	小竹 茂樹	オダケホーム株式会社 代表取締役会長
理事	増井 修	株式会社マスイ 代表取締役
理事	松井 謙二	株式会社北陸工営 代表取締役
理事	澤泉 弘	澤泉登記測量行政事務所 所長
理事	渡邊 清隆	株式会社富山市場輸送 代表取締役
理事	三井 隆夫	中央薬品株式会社 取締役常務執行役員
理事	中屋 久孝	
理事	関澤 浩	株式会社アルキャン 代表取締役
理事	野村 賢政	株式会社新湊ヤンマー 代表取締役
理事	柏木 俊之	柏木工業株式会社 代表取締役
理事	斉藤 彰久	スポーツキャプテン 代表
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

# 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(令和元年8月10日現在)

評議員37名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
泉野 正人	株式会社泉野地所 代表取締役	渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役
高松 丈志	株式会社高松機板製作所 代表取締役会長	渡辺 誠治	有限会社わたなべ電装 代表取締役社長
内野 忠	株式会社北越 代表取締役社長	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
木村 貴之	有限会社エイキ 代表取締役	弓野 久和	大家庄農事生産組合 組合長
高田 重信	富山市議会議員	森田 誠一	株式会社森田木工所 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 取締役	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	田邊ゆかり	株式会社エイアイエスコポレーション 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	車 啓三	クルマ商事株式会社 代表取締役
小山 登	有限会社南大門 代表取締役	工藤 光也	
岡本 葉子	有限会社プロハート 代表取締役	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
山口 勝康	株式会社CSM 代表取締役	飯田 和男	有限会社ミナト 代表取締役
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	新多 勇人	優トラベルクラブ 代表者
南 俊正	元富山市議会議員	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
毛利 功	株式会社毛利園芸 代表取締役	片山 和行	株式会社北越 代表取締役社長
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 事務局長
橋本 篤	橋本事務所 代表(所長)		

## — 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

## — P R 部 —

部長：畠山 志郎

齊藤 彰久 澤泉 弘 関澤 浩 中尾 順一 松井 謙二 三井 隆夫 渡邊 清隆

## 編集後記

毎号表紙の写真には、目が見えたら見せてあげたいものと考えます。いの一番は家族の顔だと思いますが、写真収集が難しいので、赤黄青緑と色彩に富んだ花々や、雄々しい山々と青い空など見せてあげたい風景やその年に開かれた代表的イベントの写真などから選んでいます。前号で初めて見込み薄と思いながら、写真の公募を記載したところ、素敵な表紙にピッタリの応募が何枚もあり、今回はその中から選定しました。「アイバンクだより」が写真マニアにまで読まれているとは感激です。やがては表紙写真コンクールも、と今後に大きく期待しています。

国内のライオンズが献眼に注力し始めてから60年以上が経過して、クラブ員も二世代目から三世代目へ移ろうとしている今、献眼への第一世代の努力を再確認する為に昔を振り返る意味で、頁を割きました。

広報委員 畠山志郎(富山みなとライオンズクラブ所属)



**富山県アイバンクだより**

---

第25号・令和元年11月1日

---

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630  
TEL (076)434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からもご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色覚障害のある方のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れお顔が変わらないようにていねいに処置します。おだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

献眼で  
あなたにもできます

# 「光」の贈りもの

大日連山 / 撮影：野崎 博 (TPS富山県写真家協会会長)



第26号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

平成31年4月から令和2年3月まで

## 平成31年

4月 池田 英彰 様 射水市  
4月 藤本 清光 様 高岡市  
4月 土肥 静夫 様 富山市  
4月 浦 昭夫 様 富山市  
4月 匿名希望 富山市  
4月 匿名希望 黒部市

11月 匿名希望 富山市  
11月 匿名希望 射水市  
12月 富山 剛 様 魚津市  
12月 匿名希望 高岡市  
12月 高田 丞正 様 入善町  
12月 岡崎 恵正 様 富山市

## 令和元年

5月 井加田信一 様 高岡市  
5月 寺澤 和則 様 富山市  
6月 京井 一夫 様 富山市  
6月 高山 玉枝 様 黒部市  
6月 岡本 賢三 様 魚津市  
7月 匿名希望 氷見市  
8月 匿名希望 魚津市  
10月 寺垣 定則 様 富山市  
11月 匿名希望 富山市

## 令和2年

1月 匿名希望 富山市  
1月 花田 典信 様 富山市  
2月 武田 豊子 様 砺波市  
2月 木下 好子 様 滑川市  
2月 匿名希望 富山市  
3月 柄崎平一郎 様 南砺市  
3月 梶本ハルイ 様 富山市  
3月 辻井 良雄 様 高岡市  
3月 匿名希望 氷見市

厚生労働大臣感謝状伝達式につきましては、コロナ禍の中、  
本年は中止となりました。

令和元年10月から本年6月までに献眼頂きました22名の方には  
ご遺族様へ郵送させて頂きました。

改めまして、ここに御礼申し上げます。



# アイバンクとライオンズクラブ

日本で初めての角膜移植手術（1949年）を受けた14歳の少女は目が見えた時の喜びを詩に詠んでいる。

「ほんとうにありがとう」

うれしかったのは12才のとき 「角膜の手術をすれば見えるようになる」

といわれたこと そして手術後 はじめて母の顔が見えたとき

涙がとまりませんでした 先生は「それはうれし涙だよ」と 病院の窓から一日中盛岡の街なみを見ていました それは何もかも光輝いて 紅葉も、青い空も、雲も、街ゆく人たちも、 すべてが新しい感動でした

眼をくださった方、先生、ほんとうにありがとうございました

この手術の後、1958年「角膜移植に関する法律」が公布され、日本における献眼及び移植手術が正式にスタートしたのである。

日本のライオンズはその初期段階から普及に尽力した。岡山県では61年に、医師でもあった三木行治県知事（岡山ライオンズクラブ）が、県内登録者第一号となったのを機に、県下で活発な推進活動が展開されていった。

角膜の提供者と移植を待つ患者との懸け橋となる「アイバンク」も誕生する。日本初のアイバンクは、63年慶応義塾大学病院と順天堂大学病院に設立。同じ年に大阪に、その翌年には岩手医大と、東京の読売光と愛の事業団に、アイバンク設立の認可が下りた。

60年代後半には同時発生的に、各地で献眼運動が盛り上がった。静岡県では64年、僧侶のライオン勸山弘（沼津ライオンズクラブ）が、檀家の通夜で初めて角膜移植の場に立ち会ったのを機に、この無償の愛の行為に深く感動し、献眼推進運動にのめり込む。家族からクラブ、そして市内全域へと献眼登録の協力者を広げ、67年に沼津で全国初のアイバンク登録者大会を、翌68年には静岡県内全クラブによるアイバンク推進協議会を開催。更に71年にはアイバンク全国大会開催に発展した。



1977年、善光寺の門前で献眼登録運動を行う長野中央ライオンズクラブ

少女が詩に詠んだ見えることの喜びを一人でも多くの人に届けることが、ライオンズクラブの目標であり原動力だった。そうして半世紀以上にわたって献眼の啓発・推進に力を注ぎ、大きな役割を担ってきた。

見える喜びを全ての人に届けるため、ライオンズの献眼事業の歴史は続いていく。

（一般社団法人日本ライオンズ発行 ライオン誌2020年7・8月号より抜粋）

# 献眼者ご遺族の手記

辻井 利男

父は、若い頃、工作中に片目を傷つけて、視力が悪くなり、眼鏡をかける生活になりました。その為、目の大切さを、私にやかましく言っていました。

父は、60歳で高岡ライオンズクラブに入会して、程なく献眼登録をし、90歳で退会しました。今年の3月に95歳で他界した時に、父の遺言通り無事献眼できた事を誇りに思います。

富山県アイバンクの理事長様には、葬儀の際、弔辞をいただき大変ありがとうございました。偶然にも、本年度、私は、334-D地区2リジョンの地区四献・環境保全委員に任命され、献眼登録の啓発活動をしています。

最後に20年前、父と晩酌をしていた時、「おまっちゃん夫婦、献眼登録をしておいたよ」と、突然言われ、酔っていたので、「はい、わかりました」と何も解らずに答えたのを、懐かしく思い出されます。



95歳の誕生日 ひ孫さんと共に

次ページの移植を受けた方との関連はありません

# 移植を受けた方からの手紙

幼児 女性

この度は、角膜をご提供頂き誠にありがとうございました。私共の娘は先天性のデルモイドと診断されてから、幼少から大学病院で受診する日々でした。幼児になり保育園に行くようになると周りの子供と自分の目の形が異なることに気づきはじめ、親としてもなんとかしてあげたいと思う日々が続いていました。先生とも相談しながらなんとか小学生になるまでにはと、親としては、身勝手な考えと思われるかもしれませんが、手術ができるようにと願いながら生活しておりました。その思いがようやく届いたのか、2020年7月に手術予定になり家族で喜んでいましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になり、娘と、もうしょうがないけど、いつになるかわからないねと落ち込んでいました。しかし、急遽角膜の提供があり、同年9月に手術ができることになり、手術後も順調で、娘も目を見ては感謝とともに視野が正常によく見えることにとっても喜んで毎日です。最後になりましたが、ご家族がお亡くなりになるという状況の中、角膜提供にご賛同頂いたご遺族の皆様にはただただ感謝の言葉しか見つかりません。大変な悲しみのなかでの決断を賜り厚く御礼申し上げます。主治医の先生、看護師の皆様、また富山県アイバンクの皆様、本当にお世話になりありがとうございました。本人がまだ書けないため、母親が気持ちを代筆させて頂きました。

40歳代 男性

この度は角膜を提供して頂き、誠にありがとうございました。ドナー登録をされていたご本人はもとより、同意して頂けた御遺族に心より感謝いたします。いや、感謝という言葉だけでは到底表現しきれません。私は昨年2月より病気で右眼の視力を失い、角膜移植手術しか残された手段がございませんでした。私の仕事は特殊な職種の為、普通の仕事より眼を酷使することが多く、失明している状況が長引けば解雇の可能性もありました。息子達にはまだまだ教育費がかかり、私自身の年齢、眼のハンデを考えると再就職も難しく途方に就いていました。そんな折、角膜提供のお話を頂いたのです。待ちに待った角膜提供の話、しかしながら胸中は複雑でした。なぜなら角膜提供イコール提供者の方が亡くなったという事実があるからです。本当に自分なんかで良いのだろうか、大切な御家族の身体の一部を見ず知らずの人間に提供することを御家族は納得されているのだろうか、手術の返事を一旦保留し真剣に考えました。しかし、ドナー登録をされた故人の遺志、そして提供者に選ばれた私との縁、これら全てを感謝し受け入れようと思い、手術に踏み切りました。ドナーの方のおかげで私も人生の再出発ができたのです。

私の右眼で見る景色はドナーの方の目で見える景色です。これからの残りの人生はドナーの方と共に生きていき、与えられたチャンスを故人の分まで生きていきます。本当にありがとうございました。

敬具

## 献眼登録について

高岡ライオンズクラブ  
会長 竹中 勝治

今年の3月19日に元・高岡ライオンズクラブ会員の辻井良雄様の通夜式に参列したところ、ご本人が献眼登録をしておられた為に、献眼をされたということを知りました。

その場で、富山県アイバンクの大黒幸雄理事長より喪主の辻井利男氏（高岡ライオンズクラブ会員）に感謝状が読み上げられ、またライオンズクラブ国際協会334D地区ガバナーの山岸博之ライオンからも感謝状が寄せられていました。

実は、私は身近な方が献眼をされたということを知るのは初めてでしたが、2名の失明をした方が光を取り戻すということを知り、その崇高な行いに大変感激をしました。

高岡ライオンズクラブでは四献運動（献血・献眼・献腎・骨髄バンク登録）の内、献血奉仕の活動は毎年20箇所以上で行っていますが、近年それ以外の運動は殆ど行ってきませんでした。

その後、献眼登録について調べますと、富山県に於いては早くからライオンズクラブが最も献眼運動に熱心で、現在では県内のライオンズクラブの会員1,271人の内691人（54.4%）の登録があるということがわかりましたが、新規の登録者が年々減少気味であるということでした。

そこで、丁度私が本年度の高岡ライオンズクラブの会長を承っていましたので、クラブの重点事業として献眼登録の啓発運動を取り上げることとし、9月の例会において富山県

アイバンクに活動費として金一封を贈呈すると共に、事務局のコーディネーターの入江氏より献眼登録についてのお話をお聞きしました。

今後も当クラブの会員だけではなく、広く市民の皆さんにも献眼登録の啓発活動を続けたいと思います。



## 私たち入善ライオンズクラブのアイバンクとの歴史

入善ライオンズクラブ  
前会長 米山 義隆

私たち入善ライオンズクラブのアイバンクとの歴史は古く、昭和58年から善意銀行のアイバンク運動推進特別委員であったメンバーが町内各所で献眼についての講演を始めたのが始まりと聞いています。

その当時はクラブで手作りチラシを作成し諸団体へメンバーが分担して配布をしたり、新聞折込等も行ってアイバンクへの理解と献眼への登録をお願いしたそうです。翌年にはその甲斐もあり献眼登録者数が84名となったと記されています。

平成3年に富山県アイバンクが設立されてから現在まで、町内企業のイベントを始め入善町主催のイベントにおいて啓発活動を実施しています。特に代表するイベントとして入善商工会青年部が毎年2月に主催する「入善ラーメンまつり」や入善町が10月に主催する「入善まつりんぴっく」の会場内において多くの来場者にアイバンクカード等を配布したり興味を持たれた方にはきちんと説明を行い理解を深めて頂きながら登録者数増に努力しています。

現在、入善町内の登録者数が361名とまだまだ少ない状況であります。

私共クラブメンバーにおいても登録者数が21名とメンバー数の44.7%とまだ過半数に満たない状況です。まずはこの状況も打破しながら今後も多くの方々に光の贈りものが届けられるように啓蒙活動に力を入れていきたいと思っております。



入善まつりんぴっく

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成31年4月～令和2年3月

## ☆一般（個人）

屋根 慎二	60,000	埜田 紀子	5,000	中川吏永子	3,000
小寺 千春	50,000	一刎 幸子	5,000	中西 広一	3,000
津根 良孝	50,000	二口 清子	5,000	長原 好成	3,000
河島 早苗	30,000	堀 壽夫	5,000	永森 良夫	3,000
野村 謹吉	30,000	匿 名	5,000	中山のぶ子	3,000
水木 秀雄	30,000	高田 眞	4,500	野澤 喜一	3,000
筏井 晴夫	20,000	朝倉 一美	3,000	畑 孝子	3,000
豊田 耕一	20,000	跡治 幸子	3,000	畑中 弘行	3,000
匿 名	20,000	穴田 清	3,000	林 巖	3,000
大浦 均	15,000	幾島かをる	3,000	廣上 成志	3,000
中野 忠雄	15,000	石黒 寛	3,000	福井 博	3,000
愛場 正利	10,000	石瀬 礼子	3,000	堀 郁夫	3,000
愛場 京子	10,000	石山 金司	3,000	水木國夫・幸枝	3,000
岩村 耕二	10,000	伊藤 光雄	3,000	南 正子	3,000
岡本とみ子	10,000	稲場トシ子	3,000	室山 若子	3,000
小川 広美	10,000	稲村 栄勝	3,000	目澤 益子	3,000
神嶋 利夫	10,000	上田 雄一	3,000	元野 清光	3,000
作村佐智子	10,000	内山 照子	3,000	森田 明子	3,000
里村了三・民代	10,000	梅本 直明	3,000	矢木 義人	3,000
竹嶋 一恭	10,000	尾山 和子	3,000	八島 利夫	3,000
武田 宏	10,000	片岡毅久雄	3,000	山沢 美子	3,000
竹部 俊恵	10,000	河邊 和子	3,000	山田 和枝	3,000
梶野尾桂子	10,000	菊地 清	3,000	山田志津枝	3,000
能瀬 和雄	10,000	木山 隆	3,000	山田 秀三	3,000
野村 健造	10,000	小瀬代志子	3,000	山本 清	3,000
畠山 志郎	10,000	駒野 松也	3,000	吉田 幸子	3,000
松井久雄・優子	10,000	佐竹 幸江	3,000	吉田 卓矢	3,000
村上 果	10,000	佐藤 瑞恵	3,000	米澤 務	3,000
百澤千賀子	10,000	澤田 壽朗	3,000	我妻 眞美	3,000
石田 康次	6,000	三田 和子	3,000	匿 名	3,000
笹島 延元	6,000	志鷹 高子	3,000	角井 敬子	2,000
中西 清一	6,000	篠塚 征則	3,000	中村 理奈	2,000
久田 茂光	6,000	新村ます子	3,000	溝口恵美子	2,000
森川洋介・敬介	6,000	須垣 欣子	3,000	匿 名	1,500
小川 季子	5,000	千龍義信・かな子	3,000	大嶋 淳子	1,000
炭谷 洋子	5,000	卒田小百合	3,000	久々湊 亮	1,000
善明トミ子	5,000	高林 咲子	3,000	篠崎 宣行	1,000
竹田 市次	5,000	田谷 睦己	3,000	古瀬 義一	1,000
谷野 克巳	5,000	出口テル子	3,000	松本恵美子	1,000
田之下和美	5,000	寺澤 和美	3,000		
中川 正吉	5,000	鳥切百合子	3,000		

☆一般（法人・団体）

医療法人明世社白井病院	200,000	株式会社富山県義肢製作所	10,000
株式会社北陸電設	100,000	有限会社富山重機	10,000
株式会社オフィスケイ	10,000	日商建材株式会社	10,000
こしぶ眼科クリニック	10,000	田中眼科医院	6,000
有限会社佐々木博善社	10,000	医療法人明心会柴田医院	5,000
医療法人社団整志会	10,000	たかた眼科	5,000
沢田記念高岡整志会病院			

☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ2リジョン 2ゾーンガバナー公式訪問	80,000	魚津ライオンズクラブ	100,000
ライオンズクラブ2リジョン 3ゾーンガバナー公式訪問	50,000	氷見ライオンズクラブ	100,000
大門ライオンズクラブ	297,229	新湊ライオンズクラブ	100,000
富山南ライオンズクラブ	100,000	富山いきいきライオンズクラブ	50,000
富山東ライオンズクラブ	100,000	高岡古城ライオンズクラブ	50,000
入善ライオンズクラブ	100,000	富山みなとライオンズクラブ	12,000

□賛助会員 平成31年4月～令和2年3月

個人会員

新多 勇人	鎌谷 克彦	竹本 毅	新田 正昭	道原 英克
石田ひとみ	上山 恵巳	竹本 福志	野尻津喜夫	宮腰 晃央
一川 順彦	狩野 俊哉	舘 奈保子	野尻登美子	宮島 清
伊藤 光雄	河原 知昭	谷口 保孝	能瀬 和雄	毛利 良子
今井 幹雄	刑部 郁子	土田 豊	野村 賢政	森 弘
今村 知代	串田 正二	寺井 仁	長谷川修博	森田 嘉樹
植田 芳樹	久保啓二郎	東條 直貴	林 篤志	山尾 佳史
梅田 清一	黒崎 春久	戸澤 秀行	林 貴文	山崎 和子
大浦 均	小林 英則	飛田 茂代	針山 健史	山崎 泰邦
太田 茂	斉藤 周子	豊田 葉子	廣瀬 利行	山崎与四之
大田 妙子	齊藤 譲一	鳥崎 真人	藤記 尚子	山下 陽子
大塚 光哉	佐賀野昭一郎	鳥山 博	藤塚由紀子	山本 明彦
大庭 知子	作村佐智子	中川 伸一	藤巻 篤子	吉崎 清則
奥原喜代司	篠田 和男	中川 正人	堀 巖	米山 六博
小沢 正康	清水 英子	長勢 知子	町田スゞエ	若森 征雄
片口 尚志	杉本喜久子	長田 雅子	松倉 正機	
片山 寿夫	函師 真弓	中村 孝子	水木 國夫	
金井 澄子	高柳 昇	波岡 一子	水野 敏博	

## 法人会員

### ☆一般

株式会社岩黒製作所	株式会社広野
株式会社押田建築設計事務所	富源商事株式会社
北日本新聞伏木販売店	株式会社藤井産業
久保毅税理士事務所	株式会社フシキ住設
株式会社黒東アメニティ公社	北陸エンジニアプラスチック株式会社
有限会社笹島商事	北陸バンドー株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	有限会社北高運輸
株式会社すがの印刷	マスイエンジニアリング株式会社
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舩谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
株式会社富山県義肢製作所	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
富山スガキ株式会社	株式会社丸八
東光運輸株式会社	ミユキ化成株式会社
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院	株式会社渡辺板金工業
平田眼科医院	

### ☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました。平成31年4月～令和2年3月

### ☆一般

富山第一ホテル	24,582	富山赤十字病院 眼科外来	7,179
ポプラ高岡泉ヶ丘店	11,157	北陸健康センターアラピア	6,952
医療法人社団ますだ眼科医院	10,753	第一イン新湊	6,296
福笑	9,409	グリーンリーブス高岡市民病院売店	4,890
ポプラ戸出春日店	8,987	北陸銀行稲荷町出張所	4,104

### ☆ライオンズクラブ関係

小杉ライオンズクラブ	49,655	新湊ライオンズクラブ	10,000
立山ライオンズクラブ	12,187		

# 公益財団法人富山県アイバンク 平成31年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。

本年度の献眼登録者数は、48名となった。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が37名あり、30名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	在住地
4月	50歳代	男性	射水市
	80歳代	男性	高岡市
	80歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	黒部市
5月	90歳代	男性	高岡市
	70歳代	男性	富山市
6月	70歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	黒部市
	80歳代	男性	魚津市
7月	70歳代	男性	氷見市
8月	70歳代	男性	魚津市
10月	80歳代	男性	富山市
11月	60歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	在住地
11月	60歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	射水市
12月	80歳代	男性	魚津市
	80歳代	女性	高岡市
	90歳代	男性	入善町
	80歳代	男性	富山市
1月	70歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	富山市
2月	70歳代	女性	砺波市
	70歳代	女性	滑川市
	40歳代	男性	富山市
3月	60歳代	男性	南砺市
	90歳代	女性	富山市
	90歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	氷見市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、58名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、137名の方に強膜移植が行われた。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

### (3)普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、高岡市民病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山市民病院の院内移植委員会等に参加した。

#### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で9回実施した。

### (4)その他

第80回富山眼科集談会にてミニ発表をした。

### 〈公益事業2〉 眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより」を11,200部発行し、献眼登録者、県内医療機関、市町村、関係機関へ配布した。

## 令和3年度の啓発用ポスター写真を募集

**応募期間**：令和2年12月1日から令和3年6月末日まで

**テーマ**：富山県の市町村の風景・自然・人 富山県の景色を見せてあげよう。

**募集対象**：どなたでも応募いただけます。

**応募可能作品数**：1人3作品まで

**応募方法**：郵送またはメールにて応募

郵送の場合→ 〒930-0194 富山市杉谷2630番地 富山大学医学部内  
公益財団法人富山県アイバンク

メールの場合→ [info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)

**サイズ**：4334pixel × 6118pixel / 縦型デザイン JPGで保存（2MB以内）

なお、受賞作品については結果発表後に制作データをお送り頂きますので必ず保管して下さい。



# 公益財団法人富山県アイバンク 平成31年度収支決算書（損益）

平成31年4月1日～令和2年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	15,574	0	15,574
②特定資産運用益	2,637	0	2,637
③受取会費	806,000	0	806,000
④事業収益	17,000,000	0	17,000,000
⑤受取補助金等	2,880,000	1,000,000	3,880,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	2,446,920	66,460	2,513,380
寄付金収入	2,347,229	0	2,347,229
募金収入	99,691	66,460	166,151
⑦雑収益	20,529	13,687	34,216
経常収益計	23,171,660	1,080,147	24,251,807
(2)経常費用			
事業費	16,285,906	0	16,285,906
①眼科のあっせん等に関する事業費	3,699,544	0	3,699,544
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,957,140	0	1,957,140
③公益事業共用費	10,145,222	0	10,145,222
④什器備品償却費	484,000	0	484,000
管理費	0	2,279,067	2,279,067
①諸給与支出	0	862,870	862,870
②会議費支出	0	703,368	703,368
③需用費支出	0	633,349	633,349
④退職給付費用	0	78,980	78,980

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
⑤什器備品償却費	0	0	0
⑥租税公課	0	500	500
経常費用計	16,285,906	2,279,067	18,564,973
評価損益調整前当期増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
一般正味財産期首残高			83,429,505
一般正味財産期末残高			89,116,339
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			89,116,339

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(令和元年7月25日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(令和2年6月22日現在)

理事40名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	石黒 雄一	富山県 厚生部長
理事	車 司	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	片山 壽夫	片山眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫

役職	氏名	勤務先
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役
理事	渡邊 清隆	株式会社富山市場輸送 代表取締役
理事	三井 隆夫	中央薬品株式会社 取締役常務執行役員
理事	中屋 久孝	
理事	関澤 浩	株式会社アルキャン 代表取締役
理事	野村 賢政	株式会社新湊ヤンマー 代表取締役
理事	柏木 俊之	柏木工業株式会社 代表取締役
理事	斉藤 彰久	スポーツキャプテン 代表
理事	中川 伸一	富山市農業協同組合 非常勤監事
理事	前田 隆夫	株式会社前田商会不動産サービス 代表取締役
理事	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役
理事	神嶋 利夫	小外水産株式会社 取締役
理事	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
理事	杉木 徹	杉木鉄工株式会社 代表取締役社長
理事	館 良一	株式会社シー・エー・ピー 代表取締役会長
理事	辻井 利男	株式会社花金 代表取締役社長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

## 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(令和2年6月29日現在)

評議員37名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
泉野 正人	株式会社泉野地所 代表取締役	渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長	渡辺 誠治	有限会社わたなべ電装 代表取締役社長
内野 忠	株式会社北越 代表取締役社長	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
木村 貴之	有限会社エイキ 代表取締役	弓野 久和	大家庄農事生産組合 組合長
高田 重信	富山市議会議員	森田 誠一	株式会社森田木工所 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 取締役	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	田邊ゆかり	株式会社エイアイエスコポレーション 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	車 啓三	クルマ商事株式会社 代表取締役
小山 登	有限会社南大門 代表取締役	工藤 光也	
岡本 葉子	有限会社プロハート 代表取締役	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
山口 勝康	株式会社CSM 代表取締役	飯田 和男	有限会社ミナト 代表取締役
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	新多 勇人	優トラベルクラブ 代表者
南 俊正	元富山市議会議員	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	片口 真	立山化成株式会社 代表取締役
毛利 功	株式会社毛利園芸 代表取締役	片山 和行	株式会社北越 代表取締役社長
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 事務局長
橋本 篤	橋本事務所 代表(所長)		

### — 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

### — P R 部 —

部長：畠山 志郎

齊藤 彰久 杉木 徹 関澤 浩 館 良一 中尾 順一 松田 恵昌 三井 隆夫

### 編集後記

今年も広報誌「アイバンクだより」を皆様のお手元に届ける事が出来ました。献眼に関する法律が施行された頃の、日本のライオンズクラブの熱い思いが時間の経過とともに薄らいでいる昨今を鑑み、温故知新の意味をもこめて「ライオン誌」から当時のことが記載された記事を抜粋掲載しました。

献眼運動が県民の皆様に広がり、献眼が当たり前の時代になればこんなに嬉しいことはありません。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに貴重な原稿をいただきました各位に深謝申し上げます。

広報委員長 笹井晴夫(高岡フลาวァーライオンズクラブ所属)



**富山県アイバンクだより**

---

第26号・令和2年12月1日

---

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630  
TEL (076)434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# アイバンク Q&A



## Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

**A1.** 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

## Q2. 何歳までできるの？

**A2.** 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

## Q3. どうやって提供するの？

**A3.** ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

## Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

**A4.** できます。白内障や近視、乱視、老眼、色覚障害のある方のような眼の異常があっても献眼は可能です。

## Q5. どこで提供するの？

**A5.** お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

## Q6. 献眼できない病気ってあるの？

**A6.** エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

## Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

**A7.** 義眼を入れお顔が変わらないようにていねいに処置します。おだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。

献眼で  
あなたにもできます

# 「光」の贈りもの

勇気を運んできてくれた翼 / 撮影:イナガキヤスト

TOYAMA  
**eye**  
EYE BANK

第27号

公益財団法人  
富山県アイバンク

富山県  
アイバンクだより

# 献眼者ご芳名

令和2年4月から令和3年3月まで

令和2年

4月 高畠 一昭様 立山町

4月 匿名希望 富山市

4月 匿名希望 射水市

5月 津田 賢二様 富山市

6月 匿名希望 富山市

7月 砂田 勝行様 富山市

7月 匿名希望 砺波市

8月 三箇美那子様 射水市

9月 道林フミ子様 上市町

9月 坂田 楨子様 富山市

11月 砂田恵美子様 富山市

11月 宮原 良子様 射水市

12月 前原 正治様 舟橋村

12月 吉崎 昭博様 富山市

12月 檜谷キミ子様 富山市

12月 匿名希望 魚津市

令和3年

1月 平田 寿子様 富山市

2月 篠原 浩二様 富山市

2月 山森千代乃様 富山市

3月 古川克己様 富山市

3月 矢後 恵様 富山市

—謹んで哀悼の意を表します—



厚生労働大臣感謝状伝達式につきましては、コロナ禍の中、  
本年は中止となりました。

令和2年7月から本年7月までに献眼頂きました26名のご遺  
族様へ感謝状を郵送させて頂きました。

改めまして、ここに御礼申し上げます。



# 日本での献眼の始まりとヘレン・ケラー

人は外部情報の87%を視力で得ているため、目の障害は生きていく上で大変な困難を伴い、1925年のライオンズクラブ国際大会で、ヘレン・ケラー女史が盲人への援助を訴えて以来、視覚障害はライオンズの大きなテーマになりました。1928年死体眼からの角膜移植が有効と判ると、角膜の入手が容易になり、提供者（ドナー）と受給者（レシピエント）を繋ぐ「目の銀行」が1930年米国で発足、45年ライオンズクラブがニューヨークでアイバンクを設立し、以後一気に全米欧州に拡大しました。

日本では1949年岩手医科大学の今泉亀撤教授が、第1例を施術。56年には手術費用を工面できず開眼を諦めた青年の話が、米国のライオンズクラブに伝わり、同クラブは東京ライオンズクラブに費用を送金、これがきっかけで在京6クラブが移植推進PRの協会を発足させると活動は全国のクラブに拡大、クラブ員である眼科医による独自のアイバンクも誕生しました。また米軍属のアイバンク設立への協力の申出もある中、56年角膜移植法案が国会で審議未了となったため、翌57年の今泉教授の施術は死体損壊罪と地元新聞が大々的に報道、これを受けた最高検察庁は、人道的道徳的見地から犯罪ではなく、「罪は審議未了にした国会にある」としました。58年には法案は国会を通過、移植手術は正式に合法化され、次々と眼球銀行が誕生した。63年角膜あっせん業許可基準が公布され現在のアイバンクの形態が整った。前記のいきさつから54あるアイバンクの大半の設立母体はライオンズクラブです。56年の実質献眼登録第1号も岡山のクラブ員原勝巳氏であり、60年70年代にはライオンズの献眼活動により亡くなった町民の3割もが献眼する町もありました。現在移植待機者は約1,700人（潜在的に数万人）に対し供給は、900人以下であり角膜は圧倒的に不足しています。



故 今泉亀撤教授

また高齢化と共に障害者は増加、2030年には200万人とも推定されます（内3割は角膜異常）。  
2019年iPS細胞による移植が成功したが、費用が超高額であり、献眼に依る費用と同等になるのは相当先のこと、当面はやはり善意による献眼が主体です。改めてヘレン・ケラー女史の訴えを思い起こし、人生最後の善意（角膜）を贈りたいものです。



QRコードを読み込んでください。動画を見ることができます。

右：1925年ライオンズクラブ国際大会にてヘレンケラー女史のスピーチ  
左：公共広告機構「アイバンクに登録してください」（1957年の少女と今泉教授）



# 献眼者ご遺族の手記

前原 英石

平成4年1月5日、85歳で他界した祖父が献眼登録をしていた事を私が知ったのは、祖父が亡くなった当日、病院に集まった親族に対して今は亡き父からその事を告げられた時の事でした。

突然聞かされた事でビックリしましたが、亡くなった後も困っている人の為にお役に立ちたいと考えていたのだなと強く感じましたし、逆に今後自分もそのような事ができるのかなと自問自答した事を覚えています。

そして昨年、令和2年12月20日、93歳で亡くなった父も祖父同様に献眼登録をしており、献眼をさせて頂きました。

父は祖父が亡くなった10年後に登録をしていたようで、私がそれを知ったのは5年程前の事でした。普段は口数の少ない父に呼ばれ、「私も祖父同様に献眼登録してあるから、何かあった時はすぐにアイバンクに連絡をしてくれ」とアイバンクカードを託されました。

その時、父の意思を叶える責任とその重さを感じました。

今回、その責任を果たせた事は私にとって祖父、父と2代に亘って引き継がれた社会に対する貢献であり、私も引き継ぐべき事ではないかと考えるようになりました。

父が亡くなった時はコロナ禍であり、もし父が新型コロナウイルスに感染していれば献眼は叶わないと言われました。大変不安になりましたが、検査の結果大丈夫であったと聞いた時は本当にホッと胸をなでおろしました。

父の願いを叶える事ができ、私が父から与えられた最後の責任を果たす事ができたと安堵しました。

最後に献眼後、無事に移植されたとの報告を頂き、その報告を子供や孫に伝えると、口を揃えて「お役に立てて良かったね」と言ってくれます。父も喜んでくれていると思いますし、自身も自分の事のようにうれしく思います。

報告を伝える事によって子供や孫も献眼に対しての理解を深めてくれているものと感じます。

次ページの移植を受けた方との関連はありません

# 移植を受けた方からの手紙

10歳 男の子

ぼくは生まれつき右眼に角膜デルモイドというものがついていました。

ですが、ドナーのおかげで10才で手術できました。それに手術は無事成功しました。

角膜を提供してくれた方、そしてその家族の方にも感謝しています。

これからも目を大切にして生きていきます。改めて角膜を提供してくださり、誠にありがとうございました。

この度は角膜を提供していただき、ありがとうございました。

見た目を気にしていた本人でしたが、手術が終わり目が覚めて、退院して、家に帰って来て自分の顔を鏡で見て、第二の人生の始まりと言っていました。その言葉を聞いた時に私は本当に手術を行って良かったと思いました。ドナー様には本当に感謝しています。心からありがとうございました。 (父)



50歳代 女性

この度は、角膜提供に心より感謝いたしております。私は、20代前半、突発性角膜帯状上皮剥離という病気になり、30代、40代、角膜移植を繰り返し多少の視力を保ちながらも日々の生活を送っております。(両眼)角膜移植を通じて、多くの方々の話を聞いたりしますが、「感謝」という言葉以外ありません。そして、手術、サポートをして頂く先生方も同様です。角膜提供されたご家族との『ご縁』を大切にして、明るい希望を持って生かして行きたいと思っています。現在、全世界で、新型コロナウイルスにより、悲しく、そして耐え難い日が続いておりますが、くれぐれも皆様のご健康を心よりお祈り申し上げ、ご自愛されるようお伝えください。本当にありがとうございました。

## 富山雷鳥ライオンズクラブの献眼登録推進活動

富山雷鳥ライオンズクラブ  
GST四献糖尿病視聴力保護福祉  
委員長 濱西久美子

富山雷鳥ライオンズクラブは今年度創立50周年を迎え、クラブスローガンに「喜びと感動の奉仕を！」を掲げ、新型コロナウイルス感染拡大の中、様々な奉仕活動を行っています。

中でも、年度内3回の献血推進運動と併せて、積極的に献眼運動に力を注ぎ「献眼登録パンフレット」の配布を行っています。

1925年6月20日アメリカオハイオ州シダーポイントで開催のライオンズクラブ国際大会において、ヘレン・ケラー女史が「暗闇と闘う盲人のための騎士になってください」と訴えて以来、「視力ファースト」がライオンズクラブの中心的奉仕活動になり、このことが献眼登録推進活動に繋がっていると聞いています。

当クラブでは献眼登録運動により、現在までにクラブを通じて319名の方が登録されるとともに、クラブ会員家族4名、元クラブ会員2名、元クラブ会員家族2名及びクラブの献眼運動により1名の方が献眼をされています。

また、2015年度には、クラブメンバー献眼登録率100%を達成しまし

たが、新会員の入会等により現在は70%程度となっています。機会をとらえ、登録率100%を目指したいと思うとともに、更なる献眼登録推進のパンフレットの配布に併せて募金を呼びかけていきたいと思ひます。



9月5日 ファボーレにて

## コロナ禍での献眼登録

高岡志貴野ライオンズクラブ  
前会長 晒谷 昌克

アイバンクの存在を知ったのはライオンズクラブに入会したときでした。「献眼について」は漠然と知っていましたが、登録する機関があることは知りませんでした。

ライオンズクラブでは奉仕活動の一つとして献眼、献腎、献血、骨髄移植を推進する四献活動を行っています。その中でも献眼を含む視力ファーストは、1925年にヘレン・ケラー女史の「盲人のために暗闇と戦う騎士となってください」という呼びかけを受けて以来、ライオンズクラブの大きなテーマとして現在も主力事業になっています。私の所属する高岡志貴野ライオンズクラブでも50周年記念事業としてメンバー全員がアイバンクに登録しました。

しかし、献眼は本人がアイバンクに登録して終わりではありません。ご家族の協力が必要であれば本人がどれだけ強く思っている、その角膜が移植を待つ人に届くことはありません。ご家族が医療従事者に献眼の意向を伝えることにより初めて本人の意思が達成されるのです。日頃よりご家族内で献眼などについて話し合い、思いを共有しておくことが大切です。そして、その話し合いによる価値共有がご



家族の周りへとさらに広がって、献眼の輪を大きくしてくれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響でアイバンク登録者数が減少していますが、半面、家族の時間は増えています。こんなときこそ、ご家族で献眼の意義を話し合い、思いを共有し、献眼登録の推進をしていきたいと思えます。

# ご芳志ありがとうございました。

敬称略  
単位：円

□寄付者 ご芳名 令和2年4月～令和3年3月

## ☆一般（個人）

匿名	120,000	佐藤 瑞恵	6,000	高見 隆夫	3,000
高瀬 清春	110,000	和田 亨子	6,000	田谷 睦己	3,000
笠島 學	100,000	赤川詩津子	5,000	辻 美代子	3,000
屋根 慎二	60,000	有倉 隆久	5,000	出口テル子	3,000
河島 早苗	30,000	石川 恵子	5,000	寺澤 和美	3,000
高田 順一	30,000	小川 季子	5,000	中川 正吉	3,000
野村 謹吉	30,000	北原 俊郎	5,000	中西 広一	3,000
筏井 晴夫	20,000	志鷹 高子	5,000	西田 努	3,000
小寺 千春	20,000	竹田 市次	5,000	野澤 喜一	3,000
豊田 耕一	20,000	谷野 克巳	5,000	畑 孝子	3,000
西田 勇	20,000	田之下和美	5,000	浜川真理子	3,000
匿名	20,000	一刎 幸子	5,000	林 巖	3,000
津根 良孝	15,000	堀 壽夫	5,000	久田 茂光	3,000
中野 忠雄	15,000	山崎 勝義	5,000	廣上 成志	3,000
中西 清一	13,000	徳田朱美江	4,000	前澤 富枝	3,000
愛場 京子	10,000	牧野 武	3,500	松島 重雄	3,000
愛場 正利	10,000	跡治 幸子	3,000	道嶋 一男	3,000
伊賀 肇	10,000	荒木 昭則	3,000	村上美穂子	3,000
磯野 敏雄	10,000	幾島かをる	3,000	室山 若子	3,000
内河 敦子	10,000	石黒 寛	3,000	目澤 益子	3,000
大浦 均	10,000	稲場トシ子	3,000	元野 清光	3,000
神嶋 利夫	10,000	稲村 栄勝	3,000	森田 明子	3,000
作村佐智子	10,000	上田 雄一	3,000	矢木 義人	3,000
笹島 延元	10,000	内山 照子	3,000	山沢 美子	3,000
炭谷 洋子	10,000	梅本 直明	3,000	山田 和枝	3,000
竹嶋 一恭	10,000	尾山 和子	3,000	山田志津枝	3,000
武田 宏	10,000	開保津一葉	3,000	山本 清	3,000
竹部 俊恵	10,000	川村 豊子	3,000	山本芙紀子	3,000
種谷 幸子	10,000	菊地 清	3,000	吉田 幸子	3,000
中村 正根	10,000	岸 一雄	3,000	米澤 務	3,000
能瀬 登代	10,000	木山 隆	3,000	匿名	3,000
野村 健造	10,000	下条 省三	3,000	笹木 弘子	2,000
畠山 志郎	10,000	駒野 松也	3,000	沼田 敏子	2,000
舩谷 専一	10,000	堺 美奈子	3,000	若杉 吉成	2,000
松井 健一	10,000	佐々木公子	3,000	八島 利夫	1,500
松井久雄・優子	10,000	佐藤 和夫	3,000	大嶋 淳子	1,000
耳浦 英子	10,000	澤田 壽朗	3,000	川邊真知子	1,000
村上 果	10,000	島田重太郎	3,000	久々湊 藍	1,000
百沢千賀子	10,000	菅沢ゆき子	3,000	久々湊 亮	1,000
四津井宏至	10,000	鈴木 信子	3,000	篠崎 宣行	1,000
匿名	10,000	千龍義信・かな子	3,000	松本恵美子	1,000
藤巻 篤子	9,000	高林 咲子	3,000	匿名	1,000

☆一般（法人・団体）

株式会社北陸電設	200,000	片山眼科医院	10,000
医療法人明世社白井病院	200,000	桐沢医院	10,000
株式会社オフィスケイ	30,000	医療法人社団啓愛会	10,000
株式会社いたの	20,000	田中眼科医院	6,000

☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ2リジョン 2ゾーンガバナー公式訪問	80,000	高岡伏木ライオンズクラブ	50,000
高岡ライオンズクラブ	210,000		

□賛助会員 令和2年4月～令和3年3月

個人会員

青木 英勝	尾谷 秀雄	澤泉 弘	中川 正人	松崎 孝治
秋本 政亮	片口 尚志	篠崎 孝伸	長勢 知子	三井田一博
油本 茂	片山 寿夫	篠田 和男	長田 雅子	水木 國夫
新多 勇人	加藤 樹永	清水 英子	中村 孝子	水野 敏博
石川 勝康	金井 澄子	杉本喜久子	中山 貴弘	道原 英克
石川 雅朗	鎌谷 克彦	函師 真弓	波岡 一子	宮腰 晃央
石崎 敬治	上山 恵巳	高岸 和男	新田 正昭	宮島 清
石田ひとみ	亀田 尚美	高林 敏	野尻津喜夫	宮野 高司
一川 順彦	狩野 俊哉	高柳 昇	野村 賢政	村椿 晃
伊東 紀一	河口 俊昭	竹本 毅	長谷川修博	毛利 良子
伊藤 光雄	河原 知昭	竹本 福志	畠山 明	森 弘
今井 幹雄	刑部 郁子	舘 奈保子	畠山 敏一	森田 嘉樹
今村 知代	清河 高之	谷川 悠	濱多 等志	山尾 佳史
植田 芳樹	清河 衛	谷口 清高	林 篤志	山崎 和子
上野 弘喜	串田 正二	谷口 正明	林 貴文	山崎 泰邦
内山 英男	熊本 新一	谷口 保孝	針山 健史	山崎与四之
海野 武史	黒崎 春久	土田 豊	稗苗 清吉	山下 陽子
梅田 清一	慶野 耕一	寺井 仁	廣瀬 和夫	山林 雅和
大浦 均	高縁 勲	寺崎 達二	廣瀬 利行	山本 明彦
大崎 利明	高縁 勉	戸澤 秀行	藤記 尚子	吉崎 剛
太田 茂	小林 正伸	富山 秀喜	藤塚由紀子	吉崎 実
大田 妙子	斉藤 周子	豊田 葉子	藤巻 篤子	吉田 讓
大塚 光哉	齊藤 讓一	虎谷 武道	干場 毅	米山 六博
大庭 知子	酒井 清光	鳥崎 真人	堀 巖	若森 征雄
奥原喜代司	佐賀野昭一郎	鳥山 博	保里真理子	渡邊 一三
尾崎 誠	作村佐智子	長岡 貴啓	増井 修	綿屋 和美
小沢 正康	笹島 康隆	中川 伸一	松倉 正機	

## 法人会員

### ☆一般

株式会社岩黒製作所	平田眼科医院
株式会社押田建築設計事務所	株式会社広野
久保毅税理士事務所	富源商事株式会社
株式会社黒東アメニティ公社	株式会社藤井産業
サンユウセキュリティ株式会社	株式会社北陸エンジニアプラスチック
株式会社すがの印刷	北陸バンドー株式会社
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舂谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
東光運輸株式会社	株式会社丸八
株式会社富山県義肢製作所	ミユキ化成株式会社
富山スガキ株式会社	
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院	

### ☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました。令和2年4月～令和3年3月

### ☆一般

医療法人社団ますだ眼科医院	17,605	イタリアン・トマトCafeJr.	5,949
あさひ総合病院	15,050	カレーハウスコロンブス	4,431
ポプラ戸出春日店	10,865	セブン-イレブン富山水橋辻ヶ堂店	3,527
ポプラ宇奈月温泉店	10,304		

### ☆ライオンズクラブ関係

入善ライオンズクラブ	8,637
------------	-------

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方……個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方…個人所得税
- 法人の方……法人所得税

くわしくは、アイバンクへお問い合わせ下さい

# 公益財団法人富山県アイバンク 令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。

本年度の献眼登録者数は、18名でした。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が23名あり、21名から提供を頂きました。

献眼月	年齢	性別	居住地
4月	70歳代	男性	立山町
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	射水市
5月	70歳代	男性	富山市
6月	40歳代	女性	富山市
7月	70歳代	男性	富山市
	60歳代	男性	砺波市
8月	60歳代	女性	射水市
9月	80歳代	女性	上市町
	100歳代	女性	富山市
11月	70歳代	女性	富山市

献眼月	年齢	性別	居住地
11月	70歳代	女性	射水市
12月	90歳代	男性	舟橋村
	80歳代	男性	富山市
	100歳代	女性	富山市
	50歳代	男性	魚津市
1月	70歳代	女性	富山市
2月	80歳代	男性	富山市
	90歳代	女性	富山市
3月	75歳代	男性	富山市
	50歳代	女性	富山市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読および感謝状の伝達を行いました。

●提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜のあっせんを行い、41名の方に角膜移植が、また強膜のあっせんを行い、67名の方に強膜移植が行われました。

#### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

### (3)普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院（オンライン参加）、富山市民病院において病院症例検討会を行いました。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院の院内移植委員会に参加しました。
- 富山大学附属病院看護部研修会にて講演（全病棟等計25カ所）、富山県立中央病院、富山市民病院、啓発活動の一環として講演を行いました。  
第2回院内移植コーディネーター連絡会にて講演を行いました。

#### ②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で5回実施しました。
- 啓発活動の一環として講演を3回行いました。

### 〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより26号」を発刊（11,000部）、登録者および県内関係機関に配布しました。

## 献眼の連絡体制変更のご案内

本年10月1日より、献眼の連絡体制が変更になりました。

勤務時間内（平日9時～17時）は、アイバンク事務局が対応します。

勤務時間外（平日17時～翌朝9時、土・日・祝日は終日）は、富山大学附属病院眼科医師が対応します。

献眼連絡の電話番号は **076-434-5710** で変更はありません。

# 公益財団法人富山県アイバンク 令和2年度収支決算書（損益）

令和2年4月1日～令和3年3月31日  
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	17,388	0	17,388
②特定資産運用益	3,289	0	3,289
③受取会費	874,000	0	874,000
④事業収益	11,400,000	0	11,400,000
⑤受取補助金等	2,767,220	800,000	3,567,220
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,200,000	800,000	2,000,000
日本アイバンク協会助成金収入	187,220	0	187,220
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	2,028,821	30,547	2,059,368
寄附金収入	1,983,000	0	1,983,000
募金収入	45,821	30,547	76,368
⑦雑収益	2,011,701	7,801	2,019,502
経常収益計	19,102,419	838,348	19,940,767
(2)経常費用			
事業費	16,048,861	0	16,048,861
①眼球のあっせん等に関する事業費	2,786,166	0	2,786,166
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,914,141	0	1,914,141
③公益事業共用費	10,952,574	0	10,952,574
④什器備品償却費	395,980	0	395,980
管理費	0	1,705,261	1,705,261
①諸給与支出	0	964,819	964,819
②会議費支出	0	116,705	116,705
③需用費支出	0	585,037	585,037

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
④什器備品償却費	0	38,700	38,700
⑤租税公課	0	0	0
経常費用計	16,048,861	1,705,261	17,754,122
評価損益調整前当期増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
一般正味財産期首残高			89,116,339
一般正味財産期末残高			91,302,984
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			91,302,984

## 公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(令和3年7月8日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(令和3年6月25日現在)

理事38名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
理事	高田 眞	阪神グループ 取締役相談役
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクベレ 代表取締役会長
理事	木内 哲平	富山県 厚生部長
理事	柴 雅棋	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	片山 壽夫	富山県眼科医会 会長 片山眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表

役職	氏名	勤務先
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	中川 伸一	富山市農業協同組合 非常勤役員
理事	前田 隆夫	株式会社前田商会不動産サービス 代表取締役
理事	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役
理事	神嶋 利夫	小外水産株式会社 代表取締役
理事	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
理事	杉木 徹	杉木鉄工株式会社 代表取締役社長
理事	館 良一	株式会社シー・エー・ピー 代表取締役会長
理事	辻井 利男	株式会社花金 代表取締役
理事	太田 秀夫	テレ通株式会社 相談役
理事	藤井 泰三	株式会社藤井産業 代表取締役
理事	中田 眞法	真言密宗大本山 大岩山日石寺 責任役員
理事	小松 千秋	株式会社北陸珈琲 代表取締役
理事	久保 健三	有限会社山二運輸 代表取締役社長
理事	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
理事	真田 宏一	有限会社フジ企画 代表取締役
理事	原野 博明	サンエー建工株式会社 代表取締役
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

## 公益財団法人富山県アイバンク評議員

(令和3年6月25日現在)

評議員35名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役	高平 伸	高新工業株式会社 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長	柏原 京子	かしはら館 女将
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役	由井 崇	由井崇司法書士事務所
五百崎 平	いおざき印刷株式会社 代表取締役	竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク (県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役	北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
水口 淳	株式会社LYDIA 代表取締役	林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役	橋本 隆一	橋本商会 代表
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役	関 勝	行政書士関事務所 代表
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表	毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役	水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アブリコット 取締役会長	八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
南 俊正	元富山市議会議員	荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役	根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	長原 好成	公益社団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役		

### — 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

### — P R 部 —

部長：畠山 志郎

中尾 順一 杉木 徹 松田 憲昌 館 良一 真田 宏一 原野 博明

### 編集後記

富山県アイバンクだより「光」の贈りもの第27号を発刊いたしました。

これまでの“だより”には眼科医、院内コーディネーターの方々、そして献眼者のご遺族や移植者の方々から原稿をご提供いただき更には、ライオンズクラブの活動状況が掲載されてまいりました。しかし、その活動に対する県民への浸透はまだ十分でなく、今後とも啓発活動の推進に力を注がなければなりません。

そのため、前々回第25号で一度掲載されました「日本での献眼の始まりとヘレン・ケラー」を再度熟読し、原点に立ち返っていただくことといたしました。

眼のご不自由な方に「光」の贈りものが届きますよう、そしてより一層この輪が広がりますよう願っております。今回移植を受けた10歳の男の子の手紙が心に残りました。

また、表紙の写真はイナガキヤスト氏の作品です。富山を代表する色鮮やかなチューリップをテーマに、ブルーインパルスとの調和が素晴らしいですね。

終わりに、今回貴重な原稿をご提供下さいました各位に厚くお礼申し上げます。

広報委員会 副委員長 藤塚由紀子



**富山県アイバンクだより**

---

第27号・令和3年11月1日

---

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630  
TEL (076) 434-5710  
発行人：大黒 幸雄

# 献眼は



登録していなくてもできます

ご本人が拒否の意思を  
示していない限り、  
家族の同意で献眼できます

年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは



(公財) 富山県アイバンク

電話 076-434-5710

E-mail [info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)



**献眼は  
登録していなくても  
できます**

ご本人が拒否の意思を  
示していない限り、  
家族の同意で献眼できます  
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

TEL 076-434-5710

FAX 076-436-0146

E-mail info@toyama-eyebank.com



あなたの善意を待っている人がいます

フリーアナウンサー  
有働由美子

有働由美子

「光」の贈りもの  
献眼で、あなたにもできます



# 献眼者ご芳名

令和3年4月から令和4年3月まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和3年4月	匿名希望	氷見市
4月	匿名希望	富山市
4月	匿名希望	富山市
4月	匿名希望	滑川市
5月	匿名希望	富山市
5月	岡本とみ子様	富山市
6月	匿名希望	富山市
6月	匿名希望	富山市
7月	鈴木 睦子様	魚津市
7月	庄司 タミ様	富山市
8月	武田 澄子様	入善町
9月	匿名希望	富山市
9月	匿名希望	高岡市
9月	小西 洋子様	富山市
9月	匿名希望	射水市
10月	豊本 睦雄様	富山市
10月	吉崎 実様	魚津市
11月	匿名希望	南砺市
11月	白川 富子様	岐阜県
12月	島田 興治様	黒部市
2月	匿名希望	氷見市
2月	匿名希望	立山町
3月	眞田巳代子様	立山町

謹んで哀悼の意を表します

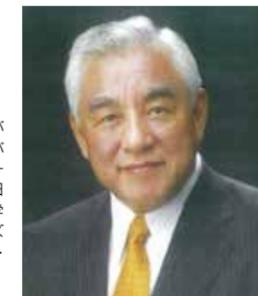
厚生労働大臣感謝状贈呈式につきましては、10月15日アイバンク設立30周年記念式典にて、令和3年4月から令和4年3月まで献眼いただいた23名のご遺族様へ改めまして、ここに御礼申し上げます。

# 記念講演要旨

演題 「アイバンク活動と日本人  
なぜ提供が進まないのかへの一私見」

講師 西田 輝夫 氏  
(山口大学名誉教授、日本アイバンク協会常務理事)

プロフィール  
公益財団法人日本アイバンク協会常務理事・アイバンク協会認定サポーター制度委員長・名誉会員(日本眼科学会・日本角膜学会・日本コンタクトレンズ学会・日本小児眼科学会・日本結合組織学会 他) 医学博士(大阪大学)



人生の流れは大きく「幼少期(未成熟期)」、「青春(成長期)」、「朱夏(活動期)」、「白秋(収穫期)」、「玄冬(老熟期)」の5つに分けられる。平均寿命は1947年の女性54歳、男性50歳から2020年には女性87歳、男性81歳に大きく伸びている。昔は人生50年と言われたが今は白秋期、玄冬期の時代である。

幸福とは「健康であること」「心が満たされていること」「人生の量的な豊かさ」「人生の質的な豊かさ」の4つが備わっていなければならない。人間は五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚)にプラス第六感が備わっている。この五感のなかで視覚は人間で一番大切な感覚で外部情報の80%以上を入手している。ヘレン・ケラー女史は1925年のライオンズクラブ国際大会で「ライオンズの皆さん、どうか暗闇と戦う騎士になって下さい」の訴えが契機となり、ライオンズが視力保護へ力を入れるきっかけとなった。

皆さん外部情報の大部分を担っている視覚について「見えることの意味と見えなくなることへの不安」をよく考えてみてほしい。視覚における角膜の役割は、外界の光を眼内に導く「窓」で、角膜の異常により視力が低下すると、角膜移植術が必要になってくる。移植術は20世紀に医学的にも社会的にも確立された治療法である。

アイバンクは「非営利」「大臣の許可」「わが国での移植医療の大原則」のもと提供者と受容者の橋渡し役を担っている。わが国の角膜移植の現状は

常時待機患者2000人~3000人に対し、国内提供角膜は約1500眼、海外より1500眼の提供をうけている状況で絶対的な提供角膜数が不足している。また「自国で必要な臓器は自国で」の機運が高まっている。

日本における宗教心の流れをみると、「原始神道(自然崇拜)」「儒教(5世紀ごろ)」「仏教(6世紀ごろ)」「キリスト教(1549年ザビエル渡来)」「国家神道(明治時代)」と変遷しており、日常生活でも「七五三(神道)」「地鎮祭(神道)」「結婚式(キリスト教)」「クリスマス(キリスト教)」「葬式(仏教)」と入り乱れている。信仰する宗教をアンケートすると無宗教が60%を占めるが、これは信教の自由により戦後公教育での宗教の禁止が影響し無宗教化したものと思われる。

しかしどの宗教も献眼を禁止していない。宗教というよりも私たちの宗教心として原感覚としてのアニミズムが日本人の心の底辺に流れている。「身体髪膚これを父母に受くあえて毀傷せざるは孝の始めなり」の儒教の心が献眼のブレーキとなっている。私たちは知識として献眼はよく理解しているが、心情としてなきがらに傷がつくの気持ちがある。

私は2016年に妻を亡くし献眼したが、献眼は人生最後の社会貢献として、単に角膜という物体を提供するだけでなく、それを通して光という素晴らしい贈り物を提供し、新しい人生を提供するものである。

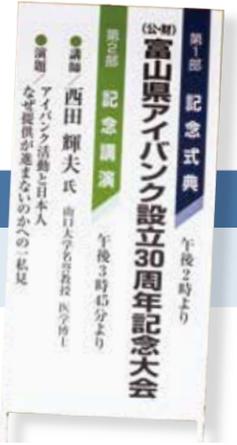
文責: 筏井晴夫

# 設立 30周年記念大会

令和4年10月15日(土) ホテルグランテラス富山(4F瑞雲)

大会テーマ

「見えた!あなたの明るい笑顔!進めたい献眼運動!」



◀ 理事長 大黒幸雄 挨拶



▼ 理事 伊勢豊彦 大会テーマ発表



▲ 富山県知事 新田八郎 祝辞



◀ 遺族様 献花

▼ アイバンク役員一同 献花



◀ 富山県知事より厚生労働大臣感謝状が渡されました。

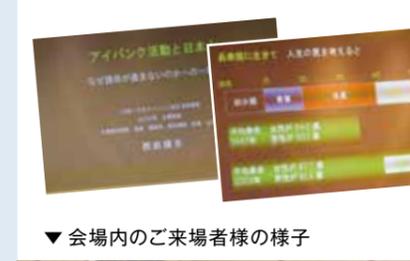


◀ 富山県アイバンク有功者感謝状授与

▼ 記念講師 西田輝夫先生



遺族代表のことは ▶  
松田憲昌様



▼ 会場内のご来場者様の様子



▲ 30周年記念大会シンボル慰霊塔

大会役員より理事長大黒幸雄へ ▶  
献花リースが手渡された



▲ 閉会の辞 森常務

# 献眼者ご遺族の手記

2022年に父・高田眞が献眼

献眼者の  
息子さんから

高田 順一

01



「親子で談笑するありし日の高田眞氏」  
(左)アイバンク名誉理事 故高田眞様 (右)アイバンク名誉顧問 高田順一様

父の遺志を  
かなえることができ、  
安堵しました。

本年7月9日早朝、父・高田眞は97歳の天寿を全うしました。前年の1月に心臓の手術を受け、100歳まで生きると話す何事にも前向きで元気な父でした。

父は仕事を愛して止まない人でした。若いときから家業の製瓶工場で働き、朝鮮動乱後の不景気を機に、販路を求めて大阪に販売拠点を作り、西日本を中心に事業を展開してきました。

そんな父が富山ライオンズクラブに入会し、奉仕活動に参加するようになりました。母と一緒にライオンズクラブの行事に参加し楽しんでいました。ライオンズク

ラブの主要なアクティビティである献眼運動にも関わり、富山県アイバンクの運営に参加するようになりました。そして8年余り理事長を務めさせていただきました。改めて皆様のご支援に感謝申し上げます。

父が亡くなり家に戻った時点で、コーディネーターと連絡がとれました。ほどなく富山大学から医師が来られ処置をしていただきました。

スムーズに父の遺志をかなえることができ、家族として安堵いたしました。

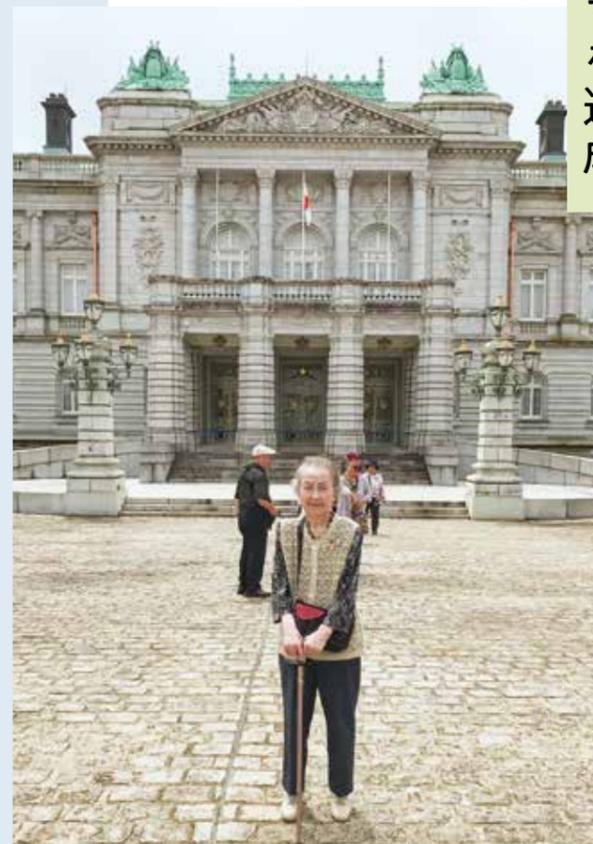
アイバンク設立30周年の式の中で新田八朗富山県知事から厚生労働大臣表彰をいただきました。父の名前を呼びあげるとき、新田知事の声が詰まったように私には感じられ、改めて感動いたしました。

2022年に母が献眼

献眼者の  
息子さんから

真田 宏一

02



人生の最後に、母が望んでいた  
皆さまへの感謝の  
気持ち达成了。

◀2017年8月21日に北陸新幹線開業で家族と東京に旅行に行った際、運良く赤坂迎賓館内の観光ができました。母は脚が不自由だった為、建物内のエレベーターを利用していただきました。

私が献眼について知ったのは、ライオンズクラブ会員の義父から、献眼登録を勧められた時のことでした。それまで献眼について全く知りませんでした。登録の際のしおりや富山県アイバンクだより「光」を見るにつれて、「この事業は、目に障がいのある方が再び視力を回復することができる崇高なこと」と認識するようになりました。

生前、母に私と妻が献眼登録をしていると話をしたとき、年齢制限もなく白内障の手術を受けていても支障がないこと、また、献眼登録の手続きをしなくても献眼できることを話したところ、母も「献眼してもいいよ」と答えてくれました。

平成4年3月22日、92歳の母はこの世を去りました。亡くなる一週間前まで、家族と自宅で食事を共にしておりましたので、突然のことでなかなか現実に向き合うことができませんでした。しかし生前、献眼について話をしておりましたので、亡くなった病室でコーディ

ネーターを通してアイバンクに連絡していただき、病室で手続きをしてもらいました。1時間程ですべて終了し、亡母と一緒に自宅に帰りました。

世の中には生まれつき障がいをもって生まれてきた方がたくさんいらっしゃいます。私の近親者も障がいをもって生まれてきましたが、たくさんの方々の善意の支えで現在は楽しく明るく生活しています。

人は、外部情報の87%を視力で得ているため、目の障がいは、生きていく上で大変困難を伴います。角膜移植により目の不自由な方々に光の贈り物ができ、光の贈り物を受け取られた方々は、社会生活をより楽しく明るく過ごしていただけることと思います。

最後に母の身体はもはやこの世にありませんが、摘出した角膜により光を取り戻した方々の身体で母は生きいます。人生の最後に、母が望んでいた皆さまへの感謝の気持ちを献眼により達成できたと思っております。

Lions Club  
Toyama Showa

## 献眼登録活動について

献眼・献腎・献血・骨髄移植を推進する四献活動



大型商業施設での献眼・献血呼びかけ運動

私自身、アイバンクの存在を知ったのは、ライオンズクラブに入会させていただいてからです。

先日も富山県アイバンク様より、富山昭和ライオンズクラブの例会で献眼登録活動の歴史や活動内容について、詳しく教えていただく機会がありました。

1925年にヘレン・ケラー女子がアメリカオハイオ州で行われた第9回のライオンズクラブ国際大会で記念講演をされて以来、ライオンズクラブの大きな活動として現在も主力事業となっていること。また、日本で初めての献眼者も1957年302地区のガバナー原勝巳氏であったこ

とや、我が334-D地区では1982年に地区内全クラブに献眼登録が呼びかけられて、1986年に富山アイバンクが設立されたことなど、改めてライオンズクラブとして、アイバンクへの支援の継続の大切さを学ぶことができました。

ライオンズクラブでの大切な奉仕活動の一つとして献眼・献腎・献血・骨髄移植を推進する四献活動を行っております。当クラブでも献血と骨髄バンク登録事業は行っておりますが、同様にこれからは献眼の大切さをクラブ内でも共有をして、献眼登録の活動も積極的に推進してまいりたいと考えております。



富山昭和  
ライオンズクラブ

会長 齋藤 富治



Lions Club  
Takaoka Alert

## 富山県アイバンク設立30周年 記念大会で学んだこと



高岡アラート  
ライオンズクラブ

燕昇司 信夫



人生の流れを中国思想の四象で説明

### 人生の流れ

- 青 春：成長期15歳～30歳
- 朱 夏：活動期30歳～60歳
- 白 秋：収穫期60歳～75歳
- 玄 冬：老熟期75歳～90歳

ヒンドゥー教の「四住期」という考え方です。これは理想的な人生の過ごし方というべきもので、人間の一生を「学生期」「家住期」「林住期」「遊行期」の4つの段階に分けて考えます。最後の遊行期は、この世へのいっさいの執着を捨て去って、永遠の自己との同一化に生きようとしたのです。人類は「いかに老いを豊かにするか」ということを考えてきたといえます。「老後を豊かにし、充実した時間のなかで死を迎える」ということ。人生80年時代を迎え、超高齢化社会の現代日本は、人類の目標とでもいうべき「豊かな老後」の実現を目指す先進国になることができるはず。それは「人生の終(しま)い方の活動」としての「終活」というより、前向きな「人生の修め方の活動」としての「修活」と呼ぶべきだと思います。

人間の幸せとは何か

当然、健康そして衣食住が満たされることで

あるが、その他に必要なものとは生きがいである。自分の存在意義であることを学んだ。なぜ、献眼がすまないのか「日本人の持っている宗教のDNAが影響しているのではないか」仏教・キリスト教・神道・自然崇拜…どれも受け入れているが日本人の奥底には言葉で表現できない宗教観があるのではないかと西田輝夫氏は発言された。ライオンズクラブ会員が献眼の意味をしっかりと把握して多くの方々に献眼を敷衍する必要がある。人生最後の奉仕として、富山県アイバンク元理事長、故人井村東司三さんの最後の奉仕活動は『献眼』であった。設立当時のクラブの登録者は100%だったが現在85%である。しかし入会時に必ず登録することを薦めることが大切である。たとえ退会された会員・家族でも献眼登録の意思を継続するであろうと考える。クラブ入会時に『献眼登録』をお願いすることがアクティビティではないだろうか。



## 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式 富山県臓器移植院内コーディネーター連絡会開催

富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式が開催され、アイバンク相談役の中川忠昭氏、渡辺守人氏、両富山県議会議員にご臨席いただき、森弘常務理事・片境事務局員が参加しました。「富山県臓器移植院内コーディネーター」は、臓器移植が円滑に進むように、臓器を提供する人とそのご家族様などとの連絡や調

整をする大切な役割を担います。

県は、2006年度から1年の任期を設けて毎年委嘱しており、県内22の医療機関に勤務する看護師など61人に委嘱状が渡されました。

その後、富山県臓器移植院内コーディネーター連絡会が開催され、「献眼の流れ…」について事務局片境がミニ発表をさせていただきました。



4月22日に富山県民会館にて、委嘱状交付式ならびに連絡会



### ミニ発表

献眼の流れについてや、2021年度の富山県アイバンクでの献眼実績について発表しました。

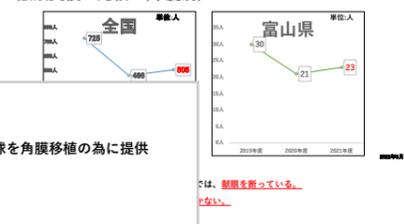
#### 献眼とは…

献眼とは自分の死後、眼球を角膜移植の為に提供することを「献眼」と言います。

#### アイバンクとは…

ライオンズクラブの奉仕活動の一環としてアイバンクが設立され、献眼には富山大学附属病院の眼科医の御協力のもとに活動しております。私たちがアイバンクは移植を待つおられる方と、ご提供して下さる方との橋渡しをしております。

献眼実績の比較 (年度別)



## 医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、富山市民病院において病院症例検討会を行いました。
- 富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、高岡市民病院の院内移植委員会に参加しました。
- 富山大学附属病院災害・救命センターにてミニレクチャーを実施しました。
- 富山県立中央病院にて啓発活動の一環として講演を行いました。



▲救命センターミニレクチャー



▲富山県立中央病院にて

### Information

#### 開催のお知らせ

## 「アイバンク協会認定サポーター講習会」

#### 演題

### 「角膜移植とアイバンク活動について」

医学博士 西田 輝夫 先生

講習会内容は、別紙プログラムをご参照ください。  
講習会費お一人様1,000円を資料代として当日受付にて集金いたします。

- 日時 令和5年3月17日(金)
- 受付時間 午後1時30分～午後1時55分
- 開催時間 午後2時～午後4時
- 場所 富山県民会館8階 バンケットホール
- 住所 富山市桜橋通り3番1号
- TEL 076-432-4111

主催 公益財団法人日本アイバンク協会／公益財団法人富山県アイバンク 共催 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行 後援 富山県

# ご芳志ありがとうございました

## 寄付者 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

一般		個人		敬称略 単位:円	
中川 清一	500,000	百澤千賀子	10,000	木山 隆	3,000
屋根 慎二	60,000	山田 秀三	10,000	久々湊公美	3,000
澤田 寛之	50,000	藤巻 篤子	9,000	斉木 敏夫	3,000
西野 澄	50,000	中山のぶ子	8,000	佐伯 文江	3,000
河島 早苗	30,000	石田 康次	6,000	堺 美奈子	3,000
野村 謹吉	30,000	赤川詩津子	5,000	澤田 壽朗	3,000
筏井 晴夫	20,000	石橋 忠之	5,000	篠崎 宣行	3,000
小寺 千春	20,000	一芻 幸子	5,000	島 憲一	3,000
豊田 耕一	20,000	井上 政雄	5,000	下村 宏和	3,000
西田 勇	20,000	柄崎 美和	5,000	須垣 欣子	3,000
林 秀作	20,000	小川 季子	5,000	鈴木 信子	3,000
中野 忠雄	15,000	真田 律子	5,000	千龍義信・かな子	3,000
愛場 京子	10,000	志鷹 高子	5,000	高木 和夫	3,000
愛場 正利	10,000	竹田 市次	5,000	高野久美子	3,000
有澤 功	10,000	谷野 克巳	5,000	武田 慎一	3,000
石垣 誓子	10,000	田之下和美	5,000	田中由美子	3,000
魚住 久子	10,000	寺崎 壽	5,000	田谷 睦己	3,000
内河 敦子	10,000	中尾 順一	5,000	辻 美代子	3,000
大浦 均	10,000	二口 清子	5,000	出口テル子	3,000
久保 健三	10,000	堀 壽夫	5,000	出口てるみ	3,000
作村佐智子	10,000	溝口恵美子	5,000	寺澤 和美	3,000
笹島 延元	10,000	宮林 信弘	5,000	中川吏永子	3,000
下条 省三	10,000	山沢 美子	5,000	西田 努	3,000
高場 章子	10,000	牧野 武	3,500	野澤 喜一	3,000
竹嶋 一恭	10,000	朝倉 一美	3,000	畑 孝子	3,000
武田 宏	10,000	跡治 幸子	3,000	林 巖	3,000
竹部 俊恵	10,000	穴田 清	3,000	林 春江	3,000
田中 良二	10,000	飯野 順一	3,000	久田 茂光	3,000
富川 嘉久	10,000	幾島かをる	3,000	廣上 成志	3,000
中村美千代	10,000	石黒 寛	3,000	干場寿美子	3,000
西野 澄	10,000	稲場トシ子	3,000	堀 郁夫	3,000
野村 健造	10,000	稲村 栄勝	3,000	前澤 富枝	3,000
畠山 志郎	10,000	上田精弍・憲子	3,000	牧野 信行	3,000
稗苗 良二	10,000	上田 雄一	3,000	間瀬垣文善	3,000
広田 牧子	10,000	内山 照子	3,000	宮本 陽子	3,000
舛谷 専一	10,000	尾山 和子	3,000	室山 若子	3,000
松井久雄・優子	10,000	川村 豊子	3,000	目澤 益子	3,000
村上 果	10,000	岸 一雄	3,000	元野 清光	3,000

森田 明子	3,000	吉田 卓矢	3,000	沼田 敏子	2,000
門前 昌志	3,000	米澤 務	3,000	野中真奈美	2,000
矢木 義人	3,000	和田 亨子	3,000	匿名	2,000
山田 和枝	3,000	匿名	3,000	大嶋 淳子	1,000
山田志津枝	3,000	匿名	3,000	松本恵美子	1,000
吉田 幸子	3,000	笹木 弘子	2,000	若杉 吉成	1,000

一般	法人・団体	敬称略 単位:円	
医療法人社団紫蘭会	500,000	柴田医院	10,000
株式会社北陸電設	200,000	田中眼科医院	10,000
医療法人明世社白井病院	200,000	日商建材株式会社	10,000
株式会社オフィスケイ	30,000	有限会社坂東設備	10,000
片山眼科医院	10,000	辻建設株式会社	5,000

ライオンズクラブ関係		敬称略 単位:円	
富山みなとライオンズクラブ	30,000	黒部ライオンズクラブ	100,000
富山雷鳥ライオンズクラブ	100,000	上市ライオンズクラブ	100,000
八尾婦中ライオンズクラブ	108,000	高岡フラワーライオンズクラブ	100,000
大山ライオンズクラブ	27,000	氷見ライオンズクラブ	80,000
富山西ライオンズクラブ	50,000	となみセントラルライオンズクラブ	50,000
滑川有恒ライオンズクラブ	100,000	新湊ライオンズクラブ	38,000

## 賛助会員 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

個人会員						敬称略 単位:円					
石田ひとみ	小沢 正康	佐賀野昭一郎	寺井 仁	長谷川修博	毛利 良子						
一川 順彦	片口 尚志	作村佐智子	戸澤 秀行	林 篤志	森 弘						
伊藤 光雄	片山 寿夫	笹島 康隆	豊田 葉子	林 貴文	森田 嘉樹						
今井 幹雄	金井 澄子	篠田 和男	鳥崎 真人	針山 健史	山尾 佳史						
今村 知代	鎌谷 克彦	清水 英子	鳥山 博	廣瀬 利行	山崎 和子						
植田 芳樹	上山 恵巳	杉本喜久子	中川 伸一	藤記 尚子	山崎 泰邦						
上野 弘喜	狩野 俊哉	函師 真弓	中川 正人	藤塚由紀子	山崎与四之						
梅田 清一	河原 知昭	高柳 昇	長田 雅子	藤巻 篤子	山下 泉						
大浦 均	刑部 郁子	竹本 毅	中村 孝子	堀 巖	山下 陽子						
太田 茂	串田 正二	竹本 福志	波岡 一子	松倉 正機	米山 六博						
大田 妙子	黒崎 春久	館 奈保子	新田 正昭	水野 敏博	若森 征雄						
大庭 知子	齊藤 周子	谷口 保孝	野尻津喜夫	道原 英克							
奥原喜代司	齊藤 讓一	土田 豊	野村 賢政	宮島 清							

株式会社岩黒製作所  
株式会社押田建築設計事務所  
久保毅税理士事務所  
株式会社黒東アメニティ公社  
サンユウセキュリティ株式会社  
株式会社すがの印刷  
株式会社セイアグリーンシステム  
高瀬公認会計士事務所  
東光運輸株式会社  
株式会社富山県義肢製作所  
富山スガキ株式会社  
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院  
平田眼科医院

株式会社広野  
富源商事株式会社  
株式会社フシキ住設  
株式会社藤井産業  
有限会社北高運輸  
株式会社北陸エンジニアプラスチック  
北陸バンドー株式会社  
マスイエンジニアリング株式会社  
有限会社舩谷解体工業  
丸進商事株式会社  
株式会社丸八  
ミユキ化成株式会社  
株式会社渡辺板金工業

滑川ライオンズクラブ  
滑川有恒ライオンズクラブ

高岡フラワーライオンズクラブ  
となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました

### 募金者 | ご芳名

令和3年4月から令和4年3月

マリエ眼科クリニック	22,159	シンコー運輸倉庫有限会社	12,727
ふうふう亭	15,535	新田眼科	2,320

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方 個人所得稅・個人住民稅
- 個人で富山県外に在住の方 個人所得稅
- 法人の方 法人所得稅

詳しくは  
アイバンクへ  
お問い合わせ  
下さい

## 公益財団法人富山県アイバンク 令和3年度事業報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日

### 公益事業I 眼のあっせん等に関する事業

#### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、12名でした。

#### (2) 眼球あっせん事業

##### ① 眼球のあっせん

●ドナー情報が25名あり、23名から提供を頂きました。

献眼月	年齢	性別	在住	献眼月	年齢	性別	在住
4月	70歳代	男性	氷見市	9月	80歳代	女性	富山市
	40歳代	男性	富山市		90歳代	女性	高岡市
	80歳代	男性	富山市		80歳代	女性	富山市
	70歳代	男性	滑川市		70歳代	男性	射水市
5月	70歳代	女性	富山市	10月	60歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	富山市		80歳代	男性	魚津市
6月	80歳代	女性	富山市	11月	90歳代	女性	南砺市
	70歳代	男性	富山市		90歳代	女性	岐阜県
7月	80歳代	女性	魚津市	12月	80歳代	男性	黒部市
	100歳代	女性	富山市	2月	70歳代	女性	氷見市
8月	90歳代	女性	入善町		60歳代	女性	立山町
				3月	90歳代	女性	立山町

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読および感謝状の伝達を行いました。

●提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜のあっせんを行い、33名の方に角膜移植を、また強膜のあっせんを行い、50名の方に強膜移植が行われました。

##### ② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

#### (3) 普及啓発事業

##### ① 医療従事者への啓発活動

●病院症例検討会を行いました。

●院内移植委員会等に参加しました。

市立砺波総合病院臓器・組織の移植に関する委員会(5月~12月)

脳死下臓器提供に関わる関連団体の連絡会議に参加しました。

3月14日 第2回臓器組織提供委員会(脳死判定委員会)に参加しました。

●啓発活動の一環として講演を行いました。

11月5日 富山県立中央病院にて講演

11月16日 令和3年度移植院内コーディネーター連絡会にて「献眼体制の変更」参加しました。

●富山大学附属病院 医局説明会

7月15日 医局説明会(第一外科医局)

1月20日 医局説明会(災害・救命センター)

富山県立中央病院 (4月~11月・2月)  
富山市民病院 (5月~11月・2月)  
厚生連高岡病院 (4月~11月)  
高岡市民病院 (6月~3月) オンライン参加

②一般県民への啓発活動

●街頭での啓発活動

- 10月23日 にゅうぜん商工フェアまつりんぴっく2021にて献眼パンフレット・風船を配布
- 10月24日 とほ活プロジェクトの一環として富山駅前にて献眼パンフレットを配布
- 11月8日 株式会社北陸電設様にて「献眼について」のお話を行いました。  
献眼パンフレット・富山県アイバンクだよりを配布

③その他

- 4月21日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席しました。
- 6月13日 富山眼科集談会に出席しました。(オンライン参加)
- 8月19日 日本アイバンク協会第2回統計情報委員会Web会議に出席しました。
- 11月23日 富山眼科集談会に出席しました。(オンライン参加)

公益事業2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 広報誌「富山県アイバンクだより27号」を発刊(11,000部)、登録者及び県内関係機関に配布しました。

その他

- 5月28日 高瀬、石村両監事に「令和2年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月8日 令和3年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和2年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「定時評議員招集」について承認されました。
- 6月25日 評議員選定委員会を開催し、第1号議案「評議員任期満了に伴う後任者選任の件」について書面表決により承認されました。  
評議員会を開催し、第1号議案「令和2年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事・監事任期満了に伴う後任者選任承認の件」について書面表決にて承認されました。
- 7月8日 令和3年度第2回理事会を開催し、第1号議案「理事長・副理事長・常務理事の選定」について、第2号議案「アイバンク組織図」について、第3号議案「評議員選定委員の選任」について承認されました。
- 11月18日 大黒理事長、牧副理事長、森常務理事、木村常務理事の立会いのもと、高瀬、石村両監事に「令和3年度中間決算」の監査を受けました。
- 2月25日 第44回全国アイバンク連絡協議会に事務局にて森常務理事がオンライン参加をしました。
- 3月14日 令和3年度理事会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「定例評議委員会の招集の件」、第4号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。
- 3月29日 令和3年度評議委員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。

今年より体制が変わりました

アイバンク事務局に連絡される場合は、**平日(月～金)朝9時～午後5時** までです。

時間外になった場合は、大学病院の眼科医に電話が転送されてしまいますので

**献眼以外の連絡にはご注意ください。**

貸借対照表

令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,527,145	2,387,570	139,575
未収金	440,000	280,000	160,000
流動資産合計	2,967,145	2,667,570	299,575
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	14,198,768	△ 9,292,000
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	13,500,000	13,500,000	0
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
公益事業引当資産	0	3,100,000	△ 3,100,000
記念事業引当資産	3,000,000	3,000,000	0
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	24,756,768	37,148,768	△ 12,392,000
(3) その他固定資産			
什器備品	505,369	899,823	△ 394,454
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	674,907	1,069,361	△ 394,454
固定資産合計(1)(2)(3)	90,431,675	103,218,129	△ 12,786,454
<b>資産合計</b>	<b>93,398,820</b>	<b>105,885,699</b>	<b>△ 12,486,879</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	106,282	116,885	△ 10,603
未払金	1,368,975	1,094,169	274,806
流動負債合計	1,475,257	1,211,054	264,203
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	13,371,661	△ 9,292,000
固定負債合計	4,079,661	13,371,661	△ 9,292,000
<b>負債合計</b>	<b>5,554,918</b>	<b>14,582,715</b>	<b>△ 9,027,797</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	19,850,000	22,950,000	△ 3,100,000
正味財産合計	87,843,902	91,302,984	△ 3,459,082
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>93,398,820</b>	<b>105,885,699</b>	<b>△ 12,486,879</b>

# 公益財団法人富山県アイバンク 相談役・理事・監事名簿

令和3年7月8日現在 名誉顧問 1名・相談役 2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

令和4年7月13日現在 理事 37名・監事 2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーンシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	柴 雅棋	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副校長
理事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	太田 秀夫	テレ通株式会社 相談役
理事	藤井 泰三	株式会社藤井産業 代表取締役
理事	中田 眞法	真言密宗大本山 大岩山日石寺 責任役員
理事	小松 千秋	株式会社北陸珈琲 代表取締役
理事	久保 健三	有限会社山二運輸 代表取締役社長
理事	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
理事	真田 宏一	有限会社フジ企画 代表取締役
理事	原野 博明	サンエー建工株式会社 代表取締役
理事	高田 重信	富山市議会議員
理事	若井 聡志	有限会社サトシ建設 代表取締役
理事	窪田 一誠	株式会社ゴールデン・アグリ代表
理事	筏井 哲治	高岡市議会議員
理事	渡邊 一三	株式会社渡辺板金工業 代表取締役
理事	片山 和行	株式会社北越 代表取締役会長
理事	河本 隆	株式会社河本ウインド 会長
理事	杉村 憲一	小間印刷株式会社 常務取締役
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

# 公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和4年8月1日現在 評議員 35名

氏名	勤務先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役
五百崎 平	いおざき印刷株式会社 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
水口 淳	株式会社LYDIA 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アプリコット 取締役会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役
高平 伸	高新工業株式会社 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
由井 崇	由井崇司法書士事務所
竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
橋本 隆一	橋本商会 代表
関 勝	行政書士関事務所 代表
毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
長原 好成	公益社団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

## 編集後記

今年の表紙は長く続いた富山県アイバンク独自の表紙にかえて、日本アイバンクが使用しているフリーアナウンサーの有働由美子さんポスターを採用し、全国のアイバンクは一つだとの連帯感を持たせました。

今回は10月15日に当財団の30周年式典を挙行し、その記念講演の要旨や当日の様態を掲載しました。西田先生は講演の最後に私事として、奥様を亡くされたとき献眼され「献眼は人生最後の贈り物」であり、残された遺族にとってもさわやかな感情や社会貢献という贈り物をもたらすものであるという言葉が心に強く残りました。

また周年行事やこの広報誌を通じて、献眼活動がもっと県民の皆様に浸透し、待機者が少しでも減少することを祈念いたしまして編集後記といたします。

広報委員会 委員長  
筏井晴夫

第 28 号



富山県アイバンクだより

発行 公益財団法人 富山県アイバンク  
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710  
発行人 大黒 幸雄

第28号/令和4年12月1日

# 光の贈りもの

献眼で、あなたにもできます

2023 December

あなたの善意を  
待っている人がいます

黒柳徹子

黒柳徹子

# 献眼者ご芳名

令和4年4月から令和5年8月31日まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和4年4月	堀 節男 様	高岡市
4月	松田 昭吉 様	黒部市
4月	匿名 希 望	滑川市
5月	匿名 希 望	滑川市
6月	長谷川笑子 様	富山市
6月	内山 寿子 様	富山市
7月	高田 眞 様	富山市
7月	安達 弘章 様	舟橋村
8月	堀田 和雄 様	上市町
9月	境 貞雄 様	砺波市
9月	村田 淳 様	上市町
11月	高井 芳樹 様	上市町
11月	島村宗一郎 様	高岡市
令和5年1月	進藤 秀男 様	高岡市
1月	飛島 いく 様	黒部市
2月	横山 善一 様	南砺市
2月	太田 光昭 様	黒部市
2月	高野 繁雄 様	富山市
3月	清野 淳司 様	富山市
6月	川尻 齐 様	富山市
6月	前吉 洋志 様	射水市
6月	網谷 安洋 様	富山市
8月	勘坂 清治 様	高岡市
8月	大澤美代子 様	魚津市

謹んで哀悼の意を表します

厚生労働大臣感謝状授与式につきましては、10月26日に行いました。

令和4年4月から令和5年3月まで献眼いただいた24名のご遺族様へ改めまして、ここに御礼申し上げます。

# 理事長就任のご挨拶



公益財団法人富山県アイバンク理事長

木村 正明

公益財団法人富山県アイバンクの理事長就任にあたり、この責任ある役割を拝命し、深く感謝申し上げますとともに、大変光栄に思っております。

富山県アイバンクは、献眼してくださる方と移植を待っている方の橋渡しを行っている団体です。つまり角膜移植のための角膜提供者の募集や登録、角膜の採取や保存、角膜の配分や移植手術の支援など、多岐にわたる活動を行っています。

目の病気で苦しむ方々や角膜移植を待ち望む方々に思いを馳せ、亡くなられた方のご遺族のご理解やご遺志により角膜移植をされた方々に対して、最大限の敬意と感謝の気持ちを表明いたします。

その思いを胸に、公益財団法人富山県アイバンクの理事長として、私は次のことに傾注していきたいと考えております。

第一に、富山県内で献眼登録者を増やすことです。現在、富山県では年間約20の方が角膜提供をされていますが、それでもまだ足りません。角膜移植を必要とする方は、全国で約1万人以上おられますが、提供者数は年間約1,500人程度です。このギャップを埋めるためには、一人でも多くの方に角膜提供の意思表示をしていただくことが必要です。富山県アイバンクとして、積極的に啓発活動や教育活動を行い、角膜提供の重要性や意義を広く伝えていきたいと思っております。

第二に、富山県では年間約30件(お一人の献眼により、お二人の方が移植手術を受けられます)の角膜移植手術が行われていますが、それでもまだ不十分です。角膜移植手術は高度な技術と経験が必要な手術です。富山県アイバンクとして、角膜移植手術に関する研修や研究を支援し、医師や施設のネットワークを強化するために、様々な支援をしていきたいと思っております。

第三に、富山県内で角膜提供者や移植者のフォローアップ体制を充実させることです。現在、富山県内では角膜提供者や移植者に対するアフターケアやサポートが十分ではありません。角膜提供者のご遺族は喪失感や孤独感に苛まれたり、移植者は移植後の経過や生活に不安や困難を感じる場合があります。これらの方々に寄り添い、心理的なケアや情報提供などのサービスを提供していきたいと思っております。

最後に、公益財団法人富山県アイバンクは、目の病気で苦しむ方々やそのご家族に希望と光を届けることを使命としています。一人でも多くの方に視力を獲得していただきたい。私は、この使命と目標に沿って、スタッフや関係者と協力して、角膜移植の普及と発展に微力ながら誠心誠意努めてまいります。

どうぞ、皆様のご理解とご協力ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

# 常務理事就任の挨拶にかえて



公益財団法人富山県アイバンク常務理事

## 燕昇司信夫

私は目・眼について基本的な知識もなし、与えられ「光」の恩恵を76年間受け続けている。日常生活で私たちの情報はよく五感から得ていると言われる。視覚83%、聴覚11%、嗅覚3.5%、触覚1.5%、味覚1%という統計がある。先天盲は日本人で1,118人に1人とも言われている。現在私は糖尿病を患っているが糖尿病患者の約20%が失明するとも言われる。

さて、漢和辞典【漢語林】で目に関する部首を調べると75文字、目に関する語彙25、眼に関する語彙14であった。

語彙の中で“目・眼”を使用した小説を思いだした。それは谷崎潤一郎著「春琴抄」の佐助が春琴の「美しさ」を脳裏に永遠に刻むため自らの眼に針を刺して失明する。盲目の愛…

美しさも変化する瞬時がある、心の洗濯をする為に松太枝浜海岸清掃を毎週水曜日に行っている。立山連峰・海と日の出のコラボレーションの風景が微妙に違いを見せる。眼から入る「光」の情報が違うからだろう。

【色と光】印刷物 C75% (シアン)、M68% (マゼンタ)、Y67% (イエロー)、K89% (黒・墨)、この%は黒色を表す。

色を認識する仕組みは、「光」の反射で色を認識している。

レッド・グリーン・ブルーの3つの光は、それぞれ波長が違うので、反射する条件が違います。リンゴを「赤い」と認識できるのは、3色の光のうち、レッドが主に反射されているからです。ちなみに、全ての光を均等に反射した場合、白色と認識され、全ての光を吸収した場合、黒色と認識されます。

16進数カラーコードについて例えば白色は#ffffff、黒色は#000000と表現されます。16の6乗=1677万7216色まで扱うことができます。

着物の仕事では、例えば春の「紅梅色」夏の「葵色」秋の「藍」冬の「枯野」その他、国の天然記念物「とき色」もよく言葉で表します。コード番号は不要、語彙で何百色を共有する世界でした。

# 献眼者ご遺族の手記

2023年に父・進藤秀男が献眼

献眼者の  
息子さんから

進藤 武

01



▲仕事で忙しい父でしたが毎年家族旅行に連れて行ってくれた思い出の一枚です

本当によかった。

父の意思がかなえられて、

「白内障の目でもいいのなら、献眼してもつかえんよ（いいよ）。使えるもんはつかったらいい。」と父が言ったのは、家族が集まっていた日のことでした。

看護師の嫁が移植を行うには自分の思いを家族と話してあることが大事なのだ、一人でも反対したらできないのだと話してくれた時に、父がさりと言った言葉でした。その時、自分は父本人が献眼提供の意思があるのならその通りにしてあげたいと思い、同時に具体的にどうしたらいいかをその時は知りませんでしたので、この意思をかなえるにはどうしたらいいのかなと思いました。この時、弟も居合わせていたので、「おやじがそうしたいのなら」と母と共に同意し、麻痺で動きづらい手で保険証に自分でサインをする父を見守ったことを今でも覚えています。

2023年1月父が亡くなり病院でアイバンクに連絡をしてくれて、翌日アイバンクの方が自宅に来られまし

た。丁寧な説明を聞き、父の意思をみんなが合意していたのでスムーズにサインをして、父の献眼の意思をかなえることができ、よかったなと思いました。献眼後の父の顔を見て、ほっとしたのを覚えています。母や甥・姪（孫）は「仏様のような顔になった」「じいちゃん最後にいいことした、すげー」と言っていました。後日、無事移植が行われたことを聞き、父の意思がかなえられて、本人の思い通り、人の役に立って本当によかったと思いました。

今回の件を通し、私にとって移植はより身近なものとなりました。日本では本人だけでなく、家族の同意も必要ののだと知りました。自分も移植の意思を表示し、家族にもきちんと話しておこうと思います。そして、もっとシンプルに、海外のように、本人の意思が尊重される世の中になればいいと思いました。



入善  
ライオンズクラブ

会長 森島 寿

## 献眼登録活動について



▲ハートの風船は子供たちに大人気



▲献眼・献血のよびかけ

入善ライオンズクラブでは、例年商工会主催イベントの際に献眼登録とアイバンクのPR活動を行っております。又、会員や家族で献眼登録をされておられる方がたくさんおられ会員内でも献眼登録をPRしております。

日本で初めての角膜移植手術を受けられた14歳の少女の詩を紹介します。

「ほんとうにありがとう」

うれしかったのは12才のとき「角膜の手術をすれば見えるようになる」といわれたこと

そして手術後 はじめて母の顔が見えたとき  
涙がとまりませんでした

先生は「それうれし涙だよ」と

病院の窓から一日中盛岡の町なみをみていました

それは何もかも光り輝いて紅葉も、青い空も、雲も、街ゆく人たちも、すべてが新しい感動でした  
眼をくださった方、先生、ほんとうにありがとうございました

見知らぬ人の人生に光を与えること、なんて素晴らしいことでしょう。

この詩を読んだとき、今日まで先輩方がアイバンクへ支援されてきた思いに共感致しました。

ライオンズクラブの大切な奉仕活動の一つとして、献眼登録の活動を活発に積極的に推進していきたいと思っております。



高岡アラート  
ライオンズクラブ

会長 中村 清志

## 献眼登録活動の使命



▲大型商業施設での啓発活動

今年度、高岡アラートライオンズクラブは結成から10年を迎えました。家族会員を含め48名がライオンズ活動に想いをよせ、アクティビティの重点目標の一つを会員全員献眼登録といたしました。100%登録から今は87.5%となり、改めて全員登録を推進めることとした。

登録減少の要因は、どのクラブでもあることですが、会員退会は必然的であり、登録者の減ではない。しかし新会員入会に於いて、畢竟献眼登録の説明不足と怠慢からライオンズクラブ会員でありながら趣旨を理解していないことが原因であると考える。スポンサーは意識的に登録を促す努力が必要である。10周年を迎えるにあたり緊禪一番、献眼登録減少に歯止めを掛けたい。

日本にライオンズクラブが結成されなかった時期、1944年4月にアメリカ・ニューヨークに世界初のアイバンクが設立され、ニューヨークのライオンズクラブは角膜斡旋の活動を展開。その後、アメリカ

の5つのクラブがアイバンクのパンフレットを作って全米のクラブに呼び掛けた。

献眼登録啓蒙活動を行うにあたり、四献活動の一環と考え、献血と献眼登録啓蒙活動を同時に行えば一石二鳥の効果が得ることができる。

2023年9月18日(祝)にクラブ員18名がパンフレット配布と献眼登録の説明を行った。場所はイオンモール高岡、まだまだコロナ禍が収まらないにもかかわらず数名の方の登録を受け付けることができた。しかし、パンフレット配布だが、一瞥するだけで受け取る人は少ない。

献眼登録のお願いで、「献眼とは」を理解して頂く時、少ない会話の一言、一言にその方の考え方を感ずることができた。宗教観・人生観・眷属愛等々が微妙に絡まっているのである。最後にフランスの哲学者の言葉に「人は皆、他者の恩恵を受けており、そんな他者に対して無限の責任を負っている」ことを忘れず惻隱の心でウィ・サーブ。



## 院内移植コーディネーター委嘱状交付式 院内移植コーディネーター連絡会が開催されました

去る4月25日、富山県民会館において富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式が開催され、アイバンク相談役の中川忠昭氏、渡辺守人氏、両富山県議会議員にご臨席いただき、木村常務理事・井沢事務局員・片境事務局員・岡田事務局員が参加しました。「臓器移植院内コーディネーター」は、臓器移植が円滑に進むように、臓器を提供する人とそのご家族様などとの連絡や調整をす

る大切な役割を担います。

県は、2006年度から1年の任期を設けて毎年委嘱しており、県内22の医療機関に勤務する看護師など63人に委嘱状が渡されました。

その後、第1回院内移植コーディネーター連絡会が開催され、「献眼について～連絡から摘出までの流れ～」について事務局片境がミニ発表をさせていただきました。



Information

3月17日(金)開催しました

### 「アイバンク協会認定サポーター講習会」

3月17日(金)富山県民会館8階バンケットホールにて「アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催いたしました。(アイバンク協会認定サポーター制度とは、アイバンク業務を補助するアイバンクサポーターの認定と役割を定め、角膜等の移植の推進に貢献することを目的としております。)

新型コロナウイルス感染症拡大により延期と

なっていた富山県では、去る2017年3月に講習会を開催して以来、5年振りの開催となりました。講師には日本アイバンク協会常務理事の西田輝夫先生をお迎えし、「角膜移植とアイバンク活動について」ご講演していただきました。各ライオンズクラブメンバー様・富山県院内コーディネーター様の79名の方々にご参加していただきました。

主催 公益財団法人日本アイバンク協会／公益財団法人富山県アイバンク 共催 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行 後援 富山県

# ご芳志ありがとうございました

## 寄付者 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

一般		個人		敬称略 単位：円	
高田 順一	3,000,000	畠山 志郎	20,000	島村延見子	5,000
笠島 學	500,000	森 弘	20,000	堀 壽夫	5,000
田谷 睦己	200,000	磯野 敏雄	10,000	伊藤 光雄	3,000
木村 正明	120,000	大浦 均	10,000	川村 豊子	3,000
高瀬 清春	110,000	神嶋 利夫	10,000	熊本 新一	3,000
田保 雅由	100,000	河本 隆	10,000	辻 美代子	3,000
牧 亨	100,000	椎名 久子	10,000	中井 盛博	3,000
屋根 愼二	60,000	中尾 順一	10,000	村本 勝夫	3,000
西田 勇	30,000	野村 健造	10,000	矢郷 大志	3,000
野村 謹吉	30,000	舛谷 専一	10,000	山岸 絹代	3,000
筏井 晴夫	20,000	村上 果	10,000	脇本 久雄	3,000
小寺 千春	20,000	藤卷 篤子	9,000	門前 昌志	1,500
豊田 耕一	20,000	小川 季子	5,000		

一般		法人・団体		敬称略 単位：円	
株式会社北陸電設	200,000	日商建材株式会社	20,000		
防災電設株式会社	100,000	株式会社アルト	10,000		
株式会社広野	50,000	斉藤眼科医院	3,000		

ライオンズクラブ関係		敬称略 単位：円	
富山みなとライオンズクラブ	42,000	高岡アラートライオンズクラブ	10,000
富山神通ライオンズクラブ	80,000	2R2Zライオンズクラブ	80,000
滑川ライオンズクラブ	120,000	新湊ライオンズクラブ	35,000

## 賛助会員 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

個人会員						敬称略
石田ひとみ	小沢 正康	作村佐智子	豊田 葉子	林 貴文	森 弘	
一川 順彦	片口 尚志	篠田 和男	鳥崎 真人	針山 健史	森田 嘉樹	
伊藤 光雄	片山 寿夫	清水 英子	鳥山 博	廣瀬 利行	山尾 佳史	
今井 幹雄	金井 澄子	杉本喜久子	中川 伸一	藤記 尚子	山崎 和子	
今村 知代	鎌谷 克彦	冏師 真弓	中川 正人	藤塚由紀子	山崎 泰邦	
植田 芳樹	上山 恵巳	高柳 昇	長田 雅子	藤卷 篤子	山崎与四之	
上野 弘喜	狩野 俊哉	竹本 毅	中村 孝子	堀 巖	山下 泉	
梅田 清一	河原 知昭	竹本 福志	中山 貴弘	増井 修	山下 陽子	
大浦 均	刑部 郁子	館 奈保子	波岡 一子	松倉 正機	米山 六博	
太田 茂	串田 正二	田中由美子	新田 正昭	水野 敏博	若森 征雄	
大田 妙子	久保啓二郎	谷口 保孝	野尻津喜夫	道原 英克	渡邊 一三	
大塚 光哉	黒崎 春久	土田 豊	野村 賢政	宮腰 晃央		
大庭 知子	斉藤 周子	寺井 仁	長谷川修博	宮島 清		
奥原喜代司	齊藤 讓一	戸澤 秀行	林 篤志	毛利 良子		

株式会社岩黒製作所  
 株式会社押田建築設計事務所  
 久保毅税理士事務所  
 株式会社黒東アメニティ公社  
 サンユウセキュリティ株式会社  
 株式会社すがの印刷  
 株式会社セイアグリーシステム  
 高瀬公認会計士事務所  
 東光運輸株式会社  
 株式会社富山県義肢製作所  
 富山スガキ株式会社  
 医療法人紫蘭会光ヶ丘病院

平田眼科医院  
 株式会社広野  
 富源商事株式会社  
 株式会社藤井産業  
 株式会社北陸エンジニアプラスチック  
 北陸バンドー株式会社  
 有限会社舩谷解体工業  
 丸進商事株式会社  
 株式会社丸八  
 ミユキ化成株式会社  
 有限会社北高運輸

滑川ライオンズクラブ  
 高岡フラワーライオンズクラブ

となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました

### 募金者 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

#### 一般

敬称略 単位：円

富山県アイバンク設立30周年記念大会	105,433	認定サポーター講習会募金箱	2,570
片山眼科医院	6,934	第一イン新湊	2,086
丹保病院	6,097	株式会社アドプロ	1,610
医療法人社団ますだ眼科医院	3,806		

#### ライオンズクラブ関係

敬称略 単位：円

氷見ライオンズクラブ	41,816	高岡アラートライオンズクラブ	4,374
------------	--------	----------------	-------

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方      個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方      個人所得税
- 法人の方      法人所得税

詳しくは  
アイバンクへ  
お問い合わせ  
下さい

# 公益財団法人富山県アイバンク 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 公益事業1 眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、27名となりました。

### (2) 眼球あっせん事業

#### ① 眼球のあっせん

● 19名の方から提供をいただきました。

献眼月	年齢	性別	居住地
R4 4月	80歳代	男性	高岡市
	90歳代	男性	黒部市
	60歳代	男性	滑川市
5月	80歳代	男性	滑川市
6月	90歳代	女性	富山市
	70歳代	女性	富山市
7月	90歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	舟橋村
8月	60歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	居住地
9月	70歳代	男性	砺波市
	50歳代	男性	上市町
11月	80歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	高岡市
R5 1月	70歳代	男性	高岡市
	100歳代	女性	黒部市
2月	80歳代	男性	砺波市
	80歳代	男性	黒部市
	70歳代	男性	富山市
3月	40歳代	男性	富山市

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読及び感謝状の伝達を行いました。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。
- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜・強膜のあっせんを行い25名の方に角膜移植を、113名の方に強膜移植が行われました。

#### ② 移植希望者の募集および登録

● 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

### (3) 普及啓発事業

#### ① 医療従事者への啓発活動(令和4年4月1日～令和5年3月まで)

● 病院症例検討会を行いました。

富山県立中央病院  
富山市民病院  
厚生連高岡病院  
高岡市民病院

#### ② 医療従事者へのミニレクチャーを行いました。

- 6月12日 高岡市民病院にて「献眼の流れについて」と題し発表を行いました。
- 11月11日 富山県立中央病院にて「献眼について」と題しミニレクチャーを行いました。
- 11月15日 高岡市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 11月29日 済生会高岡病院にて「コロナ禍の献眼」と題し発表を行いました。
- 1月26日 富山市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 3月13日 富山まちなか病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。

#### ③ 院内移植委員会等に参加しました。

- 市立砺波総合病院臓器・組織の移植に関する委員会に参加しました。
- 院内コーディネーター連絡会に参加しました。(R4 / 4月・12月、R5 / 3月)
- 10月21日 脳死下臓器提供に関わる関連団体の連絡会議に参加しました。
- 12月9日 富山県立中央病院にて臓器提供委員会に参加しました。
- 2月14日 富山市民病院にて臓器組織提供委員会(脳死判定委員会)に参加しました。
- 3月20日 厚生連高岡病院にて臓器提供委員会に参加しました。

#### ④ 啓発活動の一環として講演を行いました。

- 5月18日 伏木ライオンズクラブ・新湊ライオンズクラブ合同例会にて「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
- 8月17日 氷見ライオンズクラブ例会にて

- 9月14日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。  
高岡アラートライオンズクラブ例会にて
- 12月5日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。  
富山昭和ライオンズクラブ例会にて
- 2月1日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。  
小杉ライオンズクラブ例会にて
- 2月15日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。  
富山みなとライオンズクラブ例会にて
- 3月8日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。  
富山東ライオンズクラブ例会にて

#### ⑤一般県民への啓発活動

##### 街頭での啓発活動

- 2月25日 入善ラーメン祭りにて献眼パンフレット・風船を配布

#### ⑥その他

- 4月22日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席
- 6月12日 富山眼科集談会に出席(オンライン参加)
- 2月17日 日本アイバンク協会第2回統計情報委員会Web会議に出席
- 3月17日 日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催

●令和4年9月4日 前理事長・名誉理事の故高田眞氏を偲んで、オークスカナルパークホテル富山にてお別れの会が執り行われ、アイバンク関係者(役員・事務局)、ライオンズクラブメンバー等と数多くの方が参列されました。

## 公益事業 2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報・NEWS LETTER」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 富山県アイバンク設立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊(2,000部)、献眼者ご遺族及び富山県内ライオンズクラブ、県内関係者へ配布しました。
- (3) 広報誌「富山県アイバンクだより28号」を発刊(2,000部)、登録者及び県内関係機関に配布しました。

### その他

- 6月8日 高瀬、石村両監事に「令和3年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月14日 令和4年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「定時評議員招集」について、第3号議案「アイバンク組織図」について、第4号議案「設立30周年記念式典」について承認されました。
- 6月30日 評議員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事・監事任期満了に伴う理事選任承認の件」について第3号議案「アイバンク組織図」について第4号議案「設立30周年記念式典」について承認されました。
- 7月13日 令和4年度第2回理事会を開催し、第1号議案「アイバンク組織図」について、第2号議案「30周年記念式典の組織について」承認されました。
- 10月15日 富山県アイバンク設立30周年記念大会が開催されました。
- 2月25日 第44回全国アイバンク連絡協議会に事務局員がオンライン参加をしました。
- 3月3日 令和4年度理事会を開催し、第1号議案「令和4年度修正収支予算(案)承認の件」について、第2号議案「令和5年度事業計画(案)及び予算(案)承認の件」について、第3号議案「設立30周年記念大会決算報告承認の件」について、第4号議案「定例評議員会の招集の件」について承認されました。
- 3月9日 令和4年度評議委員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。

### 昨年より体制が変わりました

アイバンク事務局に連絡される場合は、**平日(月～金)午前9時～午後5時**です。

時間外になった場合は、大学病院の眼科医に電話が転送されてしまいますので

**献眼以外の連絡にはご注意ください。**

# 貸借対照表

令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	5,708,985	2,527,145	3,181,840
未収金	600,000	440,000	160,000
流動資産合計	6,308,985	2,967,145	3,341,840
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	4,906,768	0
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	10,500,000	13,500,000	△ 3,000,000
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
公益事業引当資産	0	0	0
記念事業引当資産	0	3,000,000	△ 3,000,000
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	18,756,768	24,756,768	△ 6,000,000
(3)その他固定資産			
什器備品	2,998,009	505,369	2,492,640
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	3,167,547	674,907	2,492,640
固定資産合計(1)(2)(3)	86,924,315	90,431,675	△ 3,507,360
<b>資産合計</b>	<b>93,233,300</b>	<b>93,398,820</b>	<b>△ 165,520</b>
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
預り金	116,303	106,282	10,021
未払金	1,245,630	1,368,975	△ 123,345
流動負債合計	1,361,933	1,475,257	△ 113,324
2.固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	4,079,661	0
固定負債合計	4,079,661	4,079,661	0
<b>負債合計</b>	<b>5,441,594</b>	<b>5,554,918</b>	<b>△ 113,324</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	13,850,000	19,850,000	△ 6,000,000
正味財産合計	87,791,706	87,843,902	△ 52,196
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>93,233,300</b>	<b>93,398,820</b>	<b>△ 165,520</b>

# 公益財団法人富山県アイバンク 相談役・理事・監事名簿

令和5年12月1日現在 名誉顧問 1名・相談役 2名・理事 37名・監事 2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

役職	氏名	勤務先
理事長	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	燕昇司信夫	
名誉理事	大黒 幸雄	
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	竹野 博和	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理事	村上 浩司	北陸電気システム株式会社 代表取締役
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	高田 重信	富山市議会議員
理事	若井 聡志	有限会社サトシ建設 代表取締役
理事	窪田 一誠	株式会社ゴールデン・アグリ 代表
理事	筏井 哲治	高岡市議会議員
理事	渡邊 一三	株式会社渡辺板金工業 代表取締役
理事	片山 和行	株式会社北越 代表取締役会長
理事	河本 隆	株式会社河本ウインド 会長
理事	杉村 憲一	
理事	駒見 博信	城南商事株式会社 代表取締役
理事	清水 宏篤	有限会社しみず 代表取締役
理事	本田 繁	株式会社本田工務店 代表取締役
理事	山道 樹里	株式会社ビルト・プレイズ 代表取締役
理事	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
理事	米林 清一	有限会社ユアライフ総合保険 代表取締役
理事	岡崎 誠	株式会社オカザキ工業 代表取締役
理事	八嶋祐太郎	射水ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役社長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

# 公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和5年12月1日現在 評議員 35名

氏名	勤務先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役
五百崎 平	いおぎ印刷株式会社 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役(県議会議員)
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アプリコット 取締役会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役
笨畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役
藤井 義成	藤井石油株式会社 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
高緑 勲	有限会社高緑自動車 代表取締役
由井 崇	由井崇司法書士事務所 代表
竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
橋本 隆一	橋本商会 代表
関 勝	行政書士関事務所 代表
毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

## 編集後記

「富山県アイバンクだより」の今年の表紙を飾るのは黒柳徹子さんです。タレントとして長くテレビで活躍され、この度その続編も刊行されるという『窓ぎわのトットちゃん』の著者でもあります。黒柳さんは今年90歳ですが、まことにお元気です。見習いたいものです。

さて、国内の献眼者数は2010年度の1,077人以後、半減していて2021年度は505人となりました。富山県も同様です。アイバンクの設立母体であるライオンズクラブの活動力の低下と軌を一にしています。院内コーディネーターの活躍で著しい減少をkarouじて防いでいますが、幸いなことに今年は活力のある60代の方が理事長に就任されました。

先日県議会初当選の若い議員にアイバンクのことを話したところ、献眼の登録方法を知らないというのでPR不足を実感しました。小学校で盲目体験の授業があったらと思うこの頃です。

PR部長 畠山志郎

第 29 号



富山県アイバンクだより

第29号/令和5年12月1日

発行 公益財団法人 富山県アイバンク  
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710  
発行人 木村 正明

**献眼は  
登録していなくても  
できます**

ご本人が拒否の意思を  
示していない限り、  
家族の同意で献眼できます  
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

TEL 076-434-5710

FAX 076-436-0146

E-mail [info@toyama-eyebank.com](mailto:info@toyama-eyebank.com)



# 光の贈りもの

献眼で、あなたにもできます

2024 November

アイバンクキャラクター  
「アイちゃん」



あなたの善意を  
待っている人がいます

# 献眼者ご芳名

令和5年9月から令和6年3月まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和5年9月	横井裕美子 様	富山市
10月	匿名 希 望	富山市
11月	濱野 信彌 様	富山市
12月	押川 稔 様	富山市
12月	織田 久雄 様	立山町
12月	荻島 雅洋 様	神奈川県
令和6年1月	宮本 利一 様	射水市
1月	下村 忍い子 様	高岡市
3月	北 寛子 様	富山市

## 謹んで哀悼の意を表します

令和5年9月から令和6年3月まで献眼いただいた9名のご遺族様へ改めまして、ここに感謝申し上げますとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 三百字の遺言 献眼へのメッセージⅡ

### 立山連峰を見て感動を

笠島 學（高岡ライオンズクラブ）

献眼というと、まず井村東司三元理事長のことを思い出します。同じ医療人として、病に冒された先生を、最期は病院で私がお世話できたのは幸運でした。戦友が殆ど死亡した南方で戦ったことやマラリア熱が流行したことなどを、ユーモアを交えて淡々と話されたのが印象的でした。一人は男性に、一人は女性に献眼したいと希望され、その通りになり、先生は今も我々を見つめておられます。

人は死を避けられませんが、角膜は百歳を超えても移植できると言われていています。私の角膜で、光を取り戻すことができる人がいたら素晴らしいことです。老若男女は問いません。立山連峰を見て感動していただければ、と思っています。

## ご挨拶



公益財団法人富山県アイバンク  
理事長

木村 正明

令和5年7月に公益財団法人富山県アイバンクの理事長に就任し、早1年余が過ぎました。平素より、当アイバンクの活動に対しまして格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

ここ数年は新型コロナウイルス等の影響により、献眼登録者の減少が続いておりますが、皆様の温かいご支援のおかげで、私共は引き続き視力を失った方々に光を届ける活動を継続することができております。誠に有難うございます。特に、医療従事者の方々の献身的なご尽力には、深く感謝申し上げます。

当法人は、角膜などの移植手術による視力障害者の視力回復のために眼球を提供すること（献眼）及び眼球提供を受けることの双方のあっせんを行うとともに、献眼、角膜移植及び眼の衛生に関する普及、啓発を図ることを通して、富山県民の皆様の健康及び福祉の向上に寄与することを目的としています。

これからも私共はこの目的を達成するために、献眼者の募集・登録に関する事業、提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに関する事業等の活動を強化推進していく所存でございます。

1925年、三重苦のヘレン・ケラー女史がアメリ

カのオハイオ州シダーポイントで開催されたライオンズクラブ国際大会に出席してスピーチを行いました。そのスピーチの中でヘレン・ケラー女史は、「ライオンズの皆さん、見える目を持ち、聞こえる耳を持ち、力強く勇敢で親切なあなた方をお願いします。ぜひ盲人のために暗闇と闘う騎士になってください。」と、世界中のライオンに向かって訴え掛けました。ライオンズクラブでは、この求めに応じ、活動の中に「失明予防を目的とした視力プログラム」を新たに加えました。1971年には、ライオンズクラブ国際協会は毎年6月1日を「ヘレン・ケラー・デー」と決めました。皆さんは、このヘレン・ケラー女史のように自分の目が見えなくなることが想像できるでしょうか。健常者であることに改めて感謝の念が湧きます。

このようなライオンズクラブの視力プログラムを具現化した最たるものとして、1991年のアイバンク設立の原点に想いを馳せ、今後も富山県アイバンクは病気やケガで視力を失った方とドナーとの橋渡しをして参ります。より多くの方々に、当アイバンクの重要性をご理解頂き、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

# ライオンズクラブとアイバンク運動



ライオンズクラブ国際協会334-D地区  
地区ガバナー

杉木 徹 (砺波ライオンズクラブ所属)

1925年、アメリカ・オハイオ州で開催された第9回ライオンズクラブ国際大会の記念講演に招かれた三重苦の聖女・ヘレン・ケラー\*<sup>1</sup>女史が、全世界から集まったライオンズメンバーに向かって「私のような不幸な人間が再びこの世に現れないように、皆さまのお力によって、失明の予防と盲人の援護をお願いしたいのです。あなたのランプの灯をもう少し高く掲げてください！ 見えな

闇を切り開く盲人の騎士となれ」このヘレン・ケラー女史のことに即応し、以来、ライオンズクラブは盲人用の「白い杖」\*<sup>2</sup>を世界に普及させてきました。アイバンク運動もまた然りです。

徐々に増加傾向にあった角膜提供者数ですが、新型コロナの影響を受け、熱心に活動されていた地域でもその数が激減していると聞いています。多くの皆様の協力によりこれまで以上に活動の勢いが増していくことを切に願っています。

\* 1 「素晴らしいチャンスと出会えるのは、気まぐれな女性との出会いと同じだ」という伝え話をあなた方は、聞いたことがあるでしょう。

中略

我々がお金よりもっと欲しいのは「思いやり」です。

贈り主の同情と興味がない贈り物は空っぽです。

もしあなたが「思いやり」をプレゼントしてくれるなら、

もしあなた方と私によって、この偉大な国の人々が「思いやり」をプレゼントしてくれるようになるなら、

盲人が本当に盲目に打ち勝つでしょう。

(ライオンズクラブ国際協会にてヘレン・ケラーのスピーチを抜粋)



\* 2 1930年、Lジョージ・Aボナム（イリノイ州ピオリアLC会長）はある日繁華街を歩いているとき、一人の視覚障害者が交通ラッシュの道路を横断しようとして、立ち往生しているのを目撃した。「目が不自由なのだと、ドライバーに知らせる方法が何かあるはずだ…」

そのとき白い杖を思いついた。



# 座談会

## 献眼率の向上を目指して



### とき

2024年6月19日（水）

### ところ

オークスカナルパークホテル富山

<b>出席者</b>	富山大学附属病院 病院長（富山大学医学薬学研究部眼科学講座 教授） 林 篤志 様
	富山県アイバンク 理事長（第5代） 木村 正明
	富山県アイバンク 常務理事 森 弘
<b>司 会</b>	富山県アイバンク 常務理事 燕昇司信夫
<b>傍聴者</b>	富山県アイバンク事務局 林 圭子・岡田 裕子

### ライオンズとアイバンクについて

**司 会** 今日は大変お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。「献眼率の向上を目指して」をテーマにお話をさせていただければと思います。

**木 村** ライオンズクラブの組織は社会奉仕団体であります。奉仕活動の主要事業の一つとして視力ファースト事業の中から、献眼登録推進運動を



実践してきました。このプログラムは、ライオンズクラブ国際協会のメインアクティビティでもあります。事業の多様化によりアイバンクに対する認識が希薄になっている現状に危機感を持っています。

**林教授** ライオンズクラブ活動には感謝です。とてもありがたい存在であります。これからアイバンクは献眼活動をどのような形で進めていかれるか分かりませんが、献眼登録者をどう増やしていくか、同時に献眼提供者をどう増やしていくかでしょうね。

**木 村** 献眼登録が実際に献眼に結びつくためにはどのように成果をあげるのか、大変難しい問題です。献眼登録への意識が下がっている現況から、今一度「光の贈りもの」のPRを強く行わなければならないと考えます。まずは県内各ライオンズクラブには、会員に献眼登録率100%を目標にし

ていただき、同時に一般の方々に如何にご理解を  
いただくかということでしょう。

**林教授** 各病院の院内コーディネーターの協力も  
必要であります。当然主治医もその協力は医療従  
事者としての責務だと考えています。

**木村** 先ほどの献眼提供の話ですが、成果を得  
る方法としてアイバンクで作製したマグネットホ  
ワイトボードがあります。私事ですが、このボ  
ードに私が亡くなったらアイバンクに連絡すると書  
いて冷蔵庫に貼っています。それと最近、マグ  
ネットで作製した献眼連絡も貼ってあります。

**林教授** 家族の目につくところに貼っておくこ  
とはよいと思います。

献眼は家族の理解  
が無ければできま  
せんね。日本アイ  
バンク協会が出し  
ている漫画の冊子  
「～同じ空を眺め  
て～」は、とても  
分かりやすく、読  
みやすい、この冊  
子を啓発に配った  
らよいと思います。



**森** 富山県アイバンクの設立を辿れば、1986年  
(昭和61年) 1リジョンと2リジョン合同でアイ  
バンク設立準備委員会ができました。そして1991  
年(平成3年)に、富山県から1,000万円、富山  
県ライオンズクラブ奉仕銀行から2,000万円とガ  
バナーによる声掛けにより集めた2,000万円の合  
計5,000万円を基本財産として財団法人富山県ア



イバンクが発足しました。以来、長年にわたり献  
眼登録推進に取り組んできました。時の流れと  
PR不足にともない、アイバンクに対する認識が  
無くなっているのではないのでしょうか。このこ  
とは、大部分を寄附金により運営されているアイ  
バンクの財政面からとらえてみても、1998年(平  
成10年度)に14,400,000円ほどあった寄附金が、  
2023年(令和5年度)では3,700,000円に減少して  
います。

**木村** それは設立当時の県内のライオンズ会員  
は2,000名を超えていて、現在は1,200名を下回っ  
ています。その観点からすれば、寄附金の減少も  
やむを得ないところはありますね。

**森** 新しいライオンズクラブ会員にも富山県アイ  
バンクを今一度PRする必要がありますね。静岡県  
小山ライオンズクラブは「己に誇りをもって光と  
愛の架け橋を」をスローガンに、行政と連携し、  
今迄1,500人以上の献眼者があると聞いています。

**林教授** ライオンズクラブとアイバンクの関係性が  
分かるパンフレットをつくられてはどうでしょうか。





**森** 新型コロナウイルス感染症の発症により延期となっていた、アイバンクサポーター講習会を啓蒙活動の一環として毎年開催していく方法で考えてもよいですね。

### 献眼は本人の意思を尊重

**司 会** 待機患者がおられる中、角膜移植はどのようにされているのですか？

**林教授** 角膜移植を待っておられる待機患者は順番待ちの状態です。また、家族が優先的にできることとなっています。待機患者にとっては角膜移植は垂涎の的ですよ。

**森** 私の経験から、ライオンズクラブメンバーで献眼登録をさせていただいた方が亡くなられたとき、深い悲しみの中、家族を前にして「献眼」と、なかなか言えませんでした。言うまでもなく、献眼登録をされていても、家族の同意が無ければ献眼

に結びつかないことから、当事者が生存中にしっかりと意思を伝えておくことが肝要と思いました。

**林教授** 本人の希望を尊重することがとても大事になります。また、家族の理解が特に重要になります。例えば腎臓移植は少なく、亡くなってから、という意味では他の臓器と違って献眼は伝えやすいです。今の若い人たちは、理解して納得しないと動きませんね。納得できることはできる。納得できないことはできない。この登録申込用紙の表紙の言葉「光の贈りもの」は角膜手術をおえられた患者さんは、皆さん「光を取り戻した」と言っていわれます。この献眼活動により、角膜を提供してくれるところは、ライオンズクラブ以外に無いと思っています。皆様大変感謝しています。

**木 村** ライオンズクラブにおいて献眼登録が最近、若干停滞していましたが、先生のお言葉から「よし、やらなければ」という気持ちになり、とても勇気づけられました。まず、身内のライオンズクラブに、そしてそれから一般の人たちに呼びかけることですね。分母の献眼登録者を増やすことができれば、献眼者も増えると思います。今日は沢山の貴重なお話を伺うことができ、本当に良かったです。今後のアイバンク奉仕活動の糧にして頑張っていきます。

**司 会** 本日は貴重なお話をさせていただき、ありがとうございました。



## 富山大学附属病院眼科の先生方のご紹介

各医師が眼科における各専門分野をもち、専門的知識を生かした診療を行っています。眼科のすべての専門分野をカバーするため、角膜・前眼部、小児・斜視弱視、緑内障、ぶどう膜、網膜硝子体、神経眼科、眼瞼・眼窩・眼形成、涙道の各専門領域を診療しています。

また、大学病院の特色を生かして内科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻科などと緊密に連携して高度医療を行っています。



診療科長・教授  
**林 篤志先生**  
専門：網膜硝子体、  
白内障、眼科全般



診療副科長・診療教授  
**柳沢秀一郎先生**  
専門：網膜硝子体



診療准教授  
**柚木 達也先生**  
専門：眼瞼、眼窩、  
形成、白内障、涙道



診療准教授  
**三原 美晴先生**  
専門：斜視弱視、  
小児眼科、色覚



診療講師  
**上田 朋子先生**  
専門：網膜硝子体、  
白内障



診療講師  
**宮腰 晃央先生**  
専門：角膜前眼部、  
白内障



診療講師  
**中村 友子先生**  
専門：ぶどう膜炎



助教  
**大塚 光哉先生**  
専門：緑内障  
神経眼科、眼科一般



病院助教  
**石田 聖朗先生**  
専門：網膜硝子体



病院助教  
**新田 康人先生**  
専門：眼科一般、  
緑内障



医師  
**片山 法子先生**  
専門：眼科一般、小児眼科、  
斜視弱視、色覚



医師  
**福島 正樹先生**  
専門：眼科一般、  
網膜硝子体



医師  
**谷口 綾先生**  
専門：眼科一般、  
角膜前眼部



医師  
**武田 様子先生**  
専門：眼科一般



医師  
**畑 恵里先生**  
専門：眼科一般



診療指導医  
**尾崎 弘典先生**  
専門：神経眼科、  
網膜変性



臨床准教授  
**東條 直貴先生**  
専門：緑内障



富山西  
ライオンズクラブ

会長 小林 大助

## 献眼啓発活動



◀献眼・献血のよびかけ

富山西ライオンズクラブはメンバー及び家族メンバーへの献眼登録の推進と、クラブの節目の年に富山県アイバンクへ寄付をさせて頂いております。

今回、クラブの会長を拝命するにあたり、ライオンズクラブとアイバンク運動との歴史に関して学ぶべきであると考え、ネット等を調べると下記のような記載がありました。

日本では1958年4月「角膜移植に関する法律」が公布され、角膜移植手術が公認されたが、それまで、この手術は「刑法」の死体損壊罪に抵触するものとされていた。1957年10月、岩手医大の今泉亀撤教授が死亡者の角膜を地元の岩手県立盲学校の生徒に移植し、手術は成功したが、これが「刑法」第190条の罪になるのではないか、と報道された。

この告発記事が発端となって角膜移植に関する法律が国会で審議されることになったわけだが、その同じ57年、302地区ガバナーだったL原勝巳が、岡山労災病院に死後の献眼を申し出

ている。

岡山では、1961年、当時の県知事だった岡山ライオンズクラブのL三木行治が献眼登録し、それが岡山県での正式登録第1号となった。このことに賛意を表明し、同じ岡山県の金光ライオンズクラブでは会員と家族、それに知人7人を加えた計62人が、その年の9月に岡山大学医学部に集団で登録して、日本のライオンズクラブとしては初の会員全員登録を実現させた。

1963年10月、慶応義塾大学病院と順天堂大学病院に日本初のアイバンクが設立され、同じ年に大阪でもアイバンクがスタートした。翌年、岩手医大にもアイバンクが設立され、東京では読売光と愛の事業団のアイバンクがスタートした。とあります。

今まではこのような背景を知らずに活動を行ってきましたが、今後は先輩方の勇気に敬意を表しクラブの大事な奉仕活動の柱としてこれまで以上に献眼活動や寄付を推進していきたいと思っております。



高岡  
ライオンズクラブ

会長 折橋 毅一

## 献眼登録推進運動のこれから



▲献眼登録啓蒙活動



▲献眼登録啓蒙活動

富山県アイバンクの設立以来、各ライオンズクラブは献眼登録推進運動において重要な役割を果たしてきました。例会では、アイバンク関係者を講師に招き、活動内容や現状、問題点について学ぶ機会を設け、また、街頭での献血運動の際には、献眼登録の啓発も積極的に行っています。

これからは、ライオンズクラブ会員、献血会場来場者にとどまらず広く市民の皆様にもこの活動を知ってもらうことが重要で、地域のイベントやセミナーなどで啓発活動を企画するべきであるとの提案を受けました。パンフレットやポスターの配布、講演会の企画など、多様な手法を用いて意識を高める取り組みを進めることが有効であると思われます。

献眼登録がうまく機能するためには、情報提供や相談窓口の開設にも力を入れる必要があります。地域の住民が献眼登録に関する適切な情報を得られるようにサポートし、協力体制を構築していくのが望ましく、今後の献眼登録活動の柱の一つとなるはずです。

それ以外にも、地域の医療機関との連携も重要視しており、病院や眼科クリニックでの啓発イベントや、医療スタッフへの研修や情報提供など、医療関係者も巻き込んで積極的に取り組む機会があれば理想的です。

これからも地域の皆様の支援と協力を得ながら、献眼登録数の増加や多くの人々の視力回復に貢献していく所存です。

# 開眼者ご家族の手記

2003年に娘が開眼

開眼者の  
お母様から

匿名

01

過報告は「大変貴重な話」だと言っていただきました。改めて献眼していただいた方、ご家族に感謝しています。

娘は移植後、眼鏡を使用し視力回復の治療をしていました。眼の病気にもならず、中学に入学してからは眼鏡を使用しなくなり治癒いたしました。勿論、視力の低下なく裸眼での生活を楽しんでいます。車の免許、バイクの中型免許を取り、ドライブ、ツーリング等を楽しんでいます。

時世は変わり、カラーコンタクトレンズをしておしゃれを楽しんでいます。(笑い)

そんな娘も歯科衛生士として働き、8月に結婚いたしました。現在この様な生活ができる事を心から僥倖に感謝しています。本当にありがとうございました。



# 献眼者ご遺族の手記

知人の訃報に接しました。亡くなられた知人は、生前より家族だけでなく地域社会の方々と交流を深められていました。

その知人の葬儀に参列した時に彼が献眼されたことを知り、最期の社会奉仕を実践されたことに感動を憶えました。亡き知人の二つの目が美しい日本を見て生き続けることができるでしょう。また、彼の母も献眼され、世代を超えての献眼を実践されたことは、とても素晴らしいことです。

私の母は平成20年6月3日に亡くなり107歳の大往生でした。昭和57年に献眼登録していたことが脳裏をかすめ、アイバンクに献眼したい旨を連絡しました。眼球の摘出処理のあと、エンゼルメイクをしていただき、生前の良き凛とした美しい姿を見ることができました。母の角膜を受け継いだ方から心揺さぶる文字の数々「はっきりものが見えるようになってこんな嬉しいことはありません」とのお手紙をいただき私にとっては掛け替えのないものとなり、その手紙を今も時々、読み返しており大切



▲外でのティータイムを楽しむ母



▲母との思い出

にとってあります。母が亡くなった年のお正月、平成21年の新年歌会始のお題「生」の入選作を偶然知り、私の母への想いと重なり感動いたしました。その俳句をご紹介します。作者は栃木県在住の阿久津照子さん。但し2023年89歳で永眠されました。

入選作 **角膜は賜はりしもの今日よりは  
ふたつの生を生きむと思ふ**

この歌を聴き献眼した時のシチュエーションが蘇り、春が来て桜が咲くころ、母の目はどこの桜を見ているのだろうか。今頃、春夏秋冬の美しい日本の景色を愉しんでいることでしょう。

2008年に母が献眼

献眼者の  
娘さんから

長田 雅子

(富山県入善町)

02

## 院内移植コーディネーター委嘱状交付式 院内移植コーディネーター連絡会が開催されました

去る4月24日、富山県民会館において富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式が開催され、アイバンク相談役で富山県議会議員の中川忠昭氏にご臨席いただき、木村理事長、岡田事務局員が参加しました。「臓器移植院内コーディネーター」は、臓器移植が円滑に進むように、臓器を提供する人とそのご家族様などの連絡や調整をする大切な役割を担います。

県は、2006年度から1年の任期を設けて毎年委嘱しており、県内22の医療機関に勤務する看護師など60人に委嘱状が渡されました。

その後、第1回院内移植コーディネーター連絡会が開催され、「献眼について～連絡から摘出までの流れ～」について事務局岡田がミニ発表をさせていただきました。



## 報道機関をとおしての広報活動



北日本新聞 2023年12月10日(日) 掲載



富山新聞 2024年10月11日(金) 掲載

この掲載記事によって献眼登録について、数件の問い合わせがありました。

# ご芳志ありがとうございました

## 寄付者 | ご芳名

令和5年4月～令和6年3月

一般		個人		敬称略 単位：円	
木村 正明	100,000	小寺 千春	20,000	鈴木順次・静枝	5,000
牧 亨	100,000	豊田 耕一	20,000	堀 壽夫	5,000
道井 秀樹	100,000	畠山 志郎	20,000	井田 勝幸	3,000
屋根 慎二	60,000	森 弘	20,000	島村延見子	3,000
樋口 常保	50,000	大浦 均	10,000	中井 盛博	3,000
伊藤 光雄	30,000	神嶋 利夫	10,000	五百崎 平	1,500
野村 謹吉	30,000	北川 明子	10,000	今井 節子	1,500
筏井 晴夫	20,000	一芻 幸子	10,000		
燕昇司信夫	20,000	笹木 弘子	5,000		

一般		法人・団体		敬称略 単位：円	
株式会社北陸電設	200,000	セントラルメディカル株式会社	30,000		
防災電設株式会社	110,000	日商建材株式会社	10,000		

ライオンズクラブ関係		敬称略 単位：円	
富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000	立山ライオンズクラブ	100,000
富山セントラルライオンズクラブ	126,000	2R2Zライオンズクラブ	80,000
八尾・婦中ライオンズクラブ	50,000	新湊ライオンズクラブ	30,000

## 賛助会員 | ご芳名

令和5年4月～令和6年3月

個人会員						敬称略
青木 英勝	片山 寿夫	清水 英子	戸澤 秀行	林 篤志	森 弘	
石田ひとみ	金井 澄子	杉本喜久子	豊田 葉子	廣瀬 利行	森田 嘉樹	
伊藤 光雄	鎌谷 克彦	関師 真弓	鳥崎 真人	藤記 尚子	山尾 佳史	
今井 幹雄	上山 恵巳	高田 雄太	鳥山 博	藤塚由紀子	山崎 和子	
今村 知代	狩野 俊哉	高橋 翔吾	中川 伸一	藤巻 篤子	山崎 泰邦	
植田 芳樹	河原 知昭	高峯 万緒	中川 正人	堀 巖	山崎与四之	
上野 弘喜	刑部 郁子	高柳 昇	長田 雅子	堀 津良志	山下 泉	
梅田 清一	串田 正二	竹本 毅	中村 孝子	増井 修	山下 陽子	
大浦 均	黒崎 春久	竹本 福志	中山 貴弘	松倉 正機	米山 六博	
大田 妙子	斉藤 周子	館 奈保子	波岡 一子	水野 敏博	若森 征雄	
大庭 知子	齊藤 譲一	田中由美子	新田 正昭	道原 英克	渡邊 一三	
奥原喜代司	作村佐智子	谷口 保孝	野尻津喜夫	宮腰 晃央	匿名2名	
小沢 正康	笹島 康隆	土田 豊	野村 賢政	宮島 清		
片口 尚志	篠田 和男	寺井 仁	長谷川修博	毛利 良子		

株式会社岩黒製作所  
 株式会社押田建築設計事務所  
 久保毅税理士事務所  
 株式会社黒東アメニティ公社  
 サンユウセキュリティ株式会社  
 株式会社すがの印刷  
 株式会社セイアグリーシステム  
 高瀬公認会計士事務所  
 東光運輸株式会社  
 株式会社富山県義肢製作所  
 富山スガキ株式会社

医療法人紫蘭会光ヶ丘病院  
 平田眼科医院  
 株式会社広野  
 富源商事株式会社  
 株式会社藤井産業  
 株式会社北陸エンジニアプラスチック  
 北陸バンドー株式会社  
 有限会社舂谷解体工業  
 丸進商事株式会社  
 株式会社丸八  
 ミユキ化成株式会社

富山セントラルライオンズクラブ  
 滑川ライオンズクラブ

高岡フラワーライオンズクラブ  
 となみセントラルライオンズクラブ

## 募金ありがとうございました

### 募金者 | ご芳名

令和5年4月～令和6年3月



一般

敬称略 単位：円

医療法人大城眼科医院	43,805	中川眼科医院	10,128
あさひ総合病院	16,155	ほり眼科クリニック	9,508
ヤマ自動車株式会社	13,178	北陸バンドー株式会社	5,073
山崎眼科医院	12,250		

ライオンズクラブ関係

敬称略 単位：円

富山みなとライオンズクラブ	12,000	氷見ライオンズクラブ	21,000
高岡アラートライオンズクラブ	7,036		

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方      個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方      個人所得税
- 法人の方      法人所得税

詳しくは  
アイバンクへ  
お問い合わせ  
下さい

# 公益財団法人富山県アイバンク 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 公益事業1 眼のあっせん等に関する事業

### (1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、38名となりました。

### (2) 眼球あっせん事業

①眼球のあっせん 14名の方から提供をいただきました。

献眼月	年齢	性別	所在地	献眼月	年齢	性別	所在地
R5 6月	60歳代	男性	富山市	11月	70歳代	男性	富山市
	50歳代	男性	射水市	12月	70歳代	男性	富山市
	60歳代	男性	富山市		70歳代	男性	立山町
8月	60歳代	男性	高岡市	R6 1月	60歳代	男性	神奈川県
	80歳代	女性	黒部市		70歳代	男性	射水市
9月	60歳代	女性	富山市	3月	90歳代	女性	高岡市
10月	90歳代	女性	富山市		80歳代	女性	富山市

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読及び感謝状の伝達を行いました。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。
- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜・強膜のあっせんを行い24名の方に角膜移植を、76名の方に強膜移植が行われました。

### ②移植希望者の募集および登録

- 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

### (3) 普及啓発事業

#### ①医療従事者への啓発活動（令和5年4月1日～令和6年3月まで）

- 病院症例検討会を行いました。

富山県立中央病院  
富山市民病院  
厚生連高岡病院  
高岡市民病院

#### ②医療従事者へのミニレクチャーを行いました。

- 4月25日 第1回院内移植コーディネーター連絡会「献眼について」と題し発表を行いました。
- 6月29日 済生会高岡病院にて「献眼について・事例紹介」と題し発表を行いました。
- 7月7日 富山県立中央病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 10月4日 富山市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 10月27日 厚生連高岡病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 11月7日 富山大学附属病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 11月29日 富山県立中央病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 12月6日 富山赤十字病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 12月13日 高岡市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。

#### ③院内移植委員会等に参加しました。

- 市立砺波総合病院臓器・組織の移植に関する委員会に参加しました。
- 厚生連高岡病院臓器提供委員会に参加しました。
- 富山県立中央病院にて臓器提供委員会に参加しました。
- 院内コーディネーター連絡会に参加しました。（R5／4月・8月・10月、R6／3月）
- 7月4日 富山市民病院にて臓器組織提供委員会（脳死判定委員会）に参加しました。
- 9月25日 高岡市民病院にて臓器組織・移植委員会に参加しました。
- 10月24日 富山大学附属病院にて臓器移植に関する委員会に参加しました。

#### ④一般県民への啓発活動

##### 街頭での啓発活動

- 7月30日 氷見ライオンズクラブ 献眼啓発ポスター掲示
- 8月14日 滑川ライオンズクラブ 献眼啓発パンフレットを配布
- 9月18日 高岡アラートライオンズクラブ イオンモール高岡にて献眼啓発パンフレット・献眼登録申込書を配布
- 9月24日 富山南ライオンズクラブ ファボーレにて献眼啓発パンフレットを配布

- 10月9日 黒部ライオンズクラブ 献眼登録啓発活動
- 10月15日 上市ライオンズクラブ「大岩茗荷谷山探勝ウォーク」にて献眼啓発パンフレットを配布
- 10月22日 入善ライオンズクラブ共催 入善まつりんびっく2023にて献眼啓発パンフレット・風船を配布
- 11月6日 滑川ライオンズクラブ 献眼啓発パンフレットを配布
- 11月19日 富山南ライオンズクラブ ファボーレにて献眼啓発パンフレットを配布
- 11月23日 氷見ライオンズクラブ 献眼啓発ポスター掲示
- 11月23日 上市ライオンズクラブ「つるぎフェスティバルin上市2023」にて献眼啓発パンフレットを配布
- 1月21日 富山みなとライオンズクラブ ファボーレにて献眼啓発パンフレットを配布
- 2月18日 富山雷鳥ライオンズクラブ ファボーレにて献眼啓発パンフレットを配布
- 2月24日 高岡フラワーライオンズクラブ イオンモール高岡にて献眼啓発パンフレットを配布
- 2月24、25日 入善ライオンズクラブ共催 入善ラーメンまつりにて献眼啓発パンフレット・風船を配布
- 3月31日 氷見ライオンズクラブ 献眼啓発ポスター掲示

#### ⑤その他

- 4月25日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席
- 6月11日 富山眼科集談会に出席
- 12月6日 北日本新聞社来局 木村理事長の取材
- 12月18日 北日本新聞社来局 事務局コーディネーター岡田の取材

●令和6年2月8日 監事・故高瀬清春氏を偲んで、オークスセレモニーホール富山にてご葬儀が執り行われ、アイバンク関係者（役員・事務局）、ライオンズクラブメンバーの方々が参列されました。

## 公益事業2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報・NEWS LETTER」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 富山県アイバンクポスターを発刊（1,500部）、富山県内ライオンズクラブ、県内関係者へ配布しました。
- (3) 広報誌「富山県アイバンクだより29号」を発刊（2,000部）、登録者及び県内関係機関に配布しました。
- (4) 10月10日の眼の愛護デーに北日本新聞・富山新聞に新聞広告を掲載しました。（掲載日：10/9）

#### その他

- 5月24日 高瀬、石村両監事に「令和4年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月13日 令和5年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和4年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事選任の件」について、第3号議案「評議員選定委員1名辞任に伴う後任者承認の件」について、第4号議案「定例評議員及び評議員選定委員の招集の件」について承認されました。
- 6月29日 評議員選定委員会を開催し、「評議員2名辞任に伴う後任者選定の件」について承認されました。評議員会を開催し、第1号議案「令和4年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事の任期満了に伴う理事の選任について承認を求める件」について、第3号議案「アイバンク組織図」について、第4号議案「設立30周年記念式典」について承認されました。
- 7月10日 令和5年度第2回理事会を開催し、第1号議案「理事長、副理事長及び常務理事などの役員選定の件」、第2号議案「アイバンク組織図」について承認されました。
- 9月8日 スタッフ委員会・広報委員会（PR部）を開催し、第1号議案「令和5年度啓発用ポスターの件」について、第2号議案「アイバンクだより29号発行の件」について、第3号議案「東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会開催の件」について承認されました。
- 9月29日 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会および評議員会に森常務理事が出席し、昨年度の事業報告ならびに決算報告を行い、本年度の助成協力をお願いしました。
- 10月26日 富山県庁特別室にて、厚生労働大臣感謝状伝達式を開催しました。令和4年8月から令和5年8月までに献眼されました16名のご遺族に対して富山県厚生部長有賀玲子様より「厚生労働大臣感謝状」が伝達されました。伝達式終了後、富山県民会館にてご遺族の方と懇談会を行いました。
- 11月28日 3年ごとに実施される富山県の立入調査があり、木村理事長、磯野副理事長、牧副理事長、森常務理事、燕昇司常務理事、事務局井沢、岡田が立合い、大きな指摘事項なく終了しました。
- 2月2日 第46回全国アイバンク連絡協議会に、木村理事長、森常務理事、事務局井沢、岡田が出席しました。
- 3月8日 令和5年度理事会を開催し、第1号議案「令和5年度事業報告及び修正予算（案）承認の件」について、第2号議案「令和6年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件」について、第3号議案「評議員選定委員後任者選定承認の件」について、第4号議案「定時評議員委員会開催の件」について承認されました。
- 3月28日 令和5年度定時評議員委員会を開催し、第1号議案「令和5年度事業報告及び修正予算（案）」承認の件について、第2号議案「令和6年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件」について、第3号議案「死亡1名に伴う監事後任者選任承認の件」について承認されました。

# 貸借対照表

令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,948,599	5,708,985	△ 2,760,386
未収金	640,000	600,000	40,000
流動資産合計	3,588,599	6,308,985	△ 2,720,386
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	4,906,768	0
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	10,500,000	10,500,000	0
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
記念事業引当資産	600,000	0	600,000
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	19,356,768	18,756,768	600,000
(3)その他固定資産			
什器備品	2,661,867	2,998,009	△ 336,142
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	2,831,405	3,167,547	△ 336,142
固定資産合計(1)(2)(3)	87,188,173	86,924,315	263,858
<b>資産合計</b>	<b>90,776,772</b>	<b>93,233,300</b>	<b>△ 2,456,528</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	195,323	116,303	79,020
未払金	1,698,371	1,245,630	452,741
流動負債合計	1,893,694	1,361,933	531,761
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	4,079,661	0
固定負債合計	4,079,661	4,079,661	0
<b>負債合計</b>	<b>5,973,355</b>	<b>5,441,594</b>	<b>531,761</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	14,450,000	13,850,000	600,000
正味財産合計	84,803,417	87,791,706	△ 2,988,289
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>90,776,772</b>	<b>93,233,300</b>	<b>△ 2,456,528</b>

# 公益財団法人富山県アイバンク 名誉顧問・相談役・理事・監事名簿

令和6年11月1日現在 名誉顧問1名・相談役1名・理事36名・監事2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員

役職	氏名	勤務先
理事長	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	燕昇司信夫	
名誉理事	大黒 幸雄	
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役会長
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	高畑 淳一	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事・事務局長
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	齋藤 博	萩浦工業株式会社 代表取締役会長
理事	村上 浩司	北陸電気システム株式会社 代表取締役
理事	大井 陽司	富山県議会議員
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	駒見 博信	城南商事株式会社 代表取締役
理事	清水 宏篤	有限会社しみず 代表取締役
理事	本田 繁	株式会社本田工務店 代表取締役
理事	山道 樹里	株式会社ビルド・プレイズ 代表取締役
理事	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
理事	米林 清一	有限会社ユアライフ総合保険 代表取締役
理事	岡崎 誠	株式会社オカザキ工業 代表取締役
理事	八嶋祐太郎	射水ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役社長
理事	柏谷 公敏	サンユウセキュリティ株式会社 代表取締役
理事	岡畑康一郎	応宰工業株式会社 代表取締役
理事	亀田総吉郎	株式会社建築設計室21 代表取締役
理事	濱野 正治	株式会社ホンダカーズ高岡 代表取締役
理事	松坂 稔	松坂商店 代表
理事	才川 昌一	南砺市議会議員
理事	上野 基巳	株式会社イリス 代表取締役会長
理事	川原 基宏	北陽商事株式会社・株式会社北陸燃商 代表取締役
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役
監事	三井 隆夫	中央薬品株式会社 取締役常務執行役員

# 公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和6年11月1日現在 評議員34名



## 編集後記

「富山県アイバンクだより」の今年の表紙を飾るのはアイバンクキャラクターの「アイちゃん」です。この広報の目的は広く「アイバンク 献眼登録及び献眼者の普及率向上」です。

さて、国内の献眼者数の減少は勿論富山県に於いても同様の傾向であります。

今年の「アイバンクだより」は一年間の富山県アイバンクの活動を中心に載せてあります。一つは組織としての報告事項、もう一つはアイバンク関係の新しい情報提供を載せてあります。

特集ではありませんが富山大学附属病院病院長の林篤志様と富山県アイバンク関係者との座談会でアイバンクの現状について意見交換が行われました。

ライオンズクラブとアイバンクとの関係について設立当時の「会員は献眼活動に熱情の坩堝と化した」を再現したいものです。一人でも多くの方々にご理解を頂きたいと思えます。

広報委員長 燕昇司 信夫

氏名	勤務先
河上 真弥	河上金物株式会社 専務取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役
五百崎 平	いおざき印刷株式会社 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役 (県議会議員)
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アプリコット 取締役会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役
藤井 義成	藤井石油株式会社 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
由井 崇	由井崇司法書士事務所 代表
竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
橋本 隆一	橋本商会 代表
関 勝	行政書士関事務所 代表
毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

第 30 号



富山県アイバンクだより

第30号/令和6年11月1日

発行 公益財団法人 富山県アイバンク  
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710  
発行人 木村 正明

**献眼は  
登録していなくても  
できます**

ご本人が拒否の意思を  
示していない限り、  
家族の同意で献眼できます  
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

**FAX 076-436-0146**

**E-mail info@toyama-eyebank.com**

ホームページ▶

